

区内保育園等あり方基本方針（素案）に対するご意見と区の考え方

■意見募集期間 令和5年12月12日（火）～令和6年1月10日（水）

■提出人数 129人

■意見数 243件

1. 意見趣旨および回答

NO	分類	意見趣旨	回答	意見番号
1	基本方針策定	本素案に関する経緯やメンバー構成等が不明であり、審議体制や簡単な経緯等、内容を整えていただきたい。	『品川区内保育園等あり方基本方針』については、令和4年度に、子ども未来部の部長を委員長にして、子ども未来部の課長4名、区立保育園長代表をメンバーに年4回のPTを開催し、令和5年度には上記メンバーおよび、企画部の課長2名、福祉部の課長1名、外部有識者1名をメンバーに加え、年4回の検討委員会を開催し、その中で方針の検討を行ってまいりました。	8
2	基本方針策定	子ども誰でも通園制度など国の動きもあるため、基本方針も定期的なブラッシュアップをお願いしたい。	国などの動きや新たな制度にも対応し、より多様な保育ニーズに対応可能となるよう、必要に応じて見直しを行ってまいります。	30
3	基本方針策定	保育園の利用者数減少の要因分析の記載がない。分析せず方針を立てることに疑問。	保育園利用者の減少については、今後とも人口動態の変化を分析し将来予測を立て、必要に応じて見直しを行いながら検討してまいります。	35
4	基本方針策定	保育士の数も減少するため、保育園の在り方だけで検討するのではなく、障害者施設と複合化するなど、多機能化、複合化した施設整備を検討すべき。	区立保育園はシルバーセンターや図書館など、現在でも複合施設として機能している園が多数ございます。いただいたご意見を参考にし、今後の区立保	35

			育園の再整備の際には、必要な機能性も考慮し計画してまいります。	
5	基本方針策定	就労していない児童の居場所を他に作っていくほうが良いともいえるが、そのほかの居場所についての検討すらしていない。例えば、保健センターや児童センターなど。また、認可園と認証園のメリット、デメリットの分析もない。結論ありきの基本方針は、再度、分析からやり直すことを提案する。	児童センター等においても、ライフステージに応じた居場所づくりの一貫としての育児支援を実施しているところがございます。 いただいたご意見を参考に、さらなる子育て支援の充実に努めてまいります。	45
6	基本方針策定	本素案は、誰が作ったものなのか。「区立保育園等あり方検討委員会」のメンバーは誰か。	『品川区内保育園等あり方検討委員会』については、子ども未来部の部長を委員長にして、子ども未来部の課長4名、企画部の課長2名、福祉部の課長1名、区立保育園長代表2名、外部有識者1名をメンバーに年4回の検討委員会を開催し、方針の検討を行ってまいりました。	49
7	基本方針策定	パブリックコメントを求めているが、方針を読んでもわからないことばかりであるため、意見を求める前に、説明会の開催を求める。	令和4年度には庁内PT、令和5年度は検討委員会において内容を検討し、広く区民の意見を反映させるためパブリックコメントを実施しています。説明会の開催は行う予定はございません。	49
8	基本方針策定	子どもたちが健やかに育つために乳幼児期の生活に必要なもの、低賃金・長時間労働のもと、保育園を必要とする保護者の願い、保育園職場で働く保育士職員の願い、などについてアンケートを取り検討しなおすことが必要。	現時点でのアンケートを実施する予定はございませんが、基本方針の策定後にも、必要に応じて事業内容の見直しを行ってまいります。	49
9	基本方針策定	保育行政として保育の位置づ	公立保育園については、今後と	70

		<p>けが明確になっていない。保育園は子供の発達を知る専門性を学んでいる保育士による日中の活動と父母の家庭との連携で子育てを充実させる仕事である。この細やかな仕事は各園が一人一人の園児に寄り添って父母と対等な関係で信頼を深めて保育を進めてゆく事が基本である。保育士による創造性は子供の発達にとって将来の人間形成の基礎をも作って行く重要性を担っている。また保育の実践から学び合うことも重要で、保育士の労働の中に含まれなければならない。現実の姿として現場はこのような実践交流の余裕は持てていないような忙しさで保育士が足りていない。公立の保育園がこのような実態であるが、民間はどのようになっているか。決して良い環境良い労働条件とは言えない。保育の実態を反映せず、品川区の子供達を健全に育てて行く確信を示さず、予算削減の為、公立保育園を削減するのではなく、改めて作り直すことを求める。</p>	<p>も品川区の保育の中核を担う存在であり、拠点園6園、サポーター園13園のほか必要数を存続させてまいります。さらに、定員に余剰が出ている地域の定員を見直し、定員に余裕のある保育運営を行うことで、職員負担の軽減を図り、より質の高い保育の提供を行ってまいります。なお、これまでも私立保育園に対して、国等の補助に加え区独自の補助も行っており、待遇の改善に努めてまいりました。引き続き、働きやすい環境づくりのため、必要に応じた私立保育園への支援を継続してまいります。</p>	
10	基本方針策定	<p>基本方針（素案）には反対。保育園を減らすのではなく、今だからこそ保育環境を整え、子育て支援の強化、「子どもを産み育てやすい品川」をつくるべき。</p>	<p>区立保育園については定員を見直し、定員に余裕のある保育運営を行うことで、職員負担を軽減し、よりよい保育環境の整備を行ってまいります。そのために必要な施設数を存続させ、多様な保育ニーズに対応するため、子育て支援の強化を図ってまいります。</p>	71

11	基本方針策定	区民によく周知せず疑問も多い中、短期間で決めるのは民主的とは言えない。	このたび基本方針の素案ができましたので、パブリックコメントを実施し広く区民のみなさまにご意見を伺い基本方針を策定いたします。策定後についても、様々な保育ニーズに応えられるよう、内容の効果検証・見直しを行ってまいります。	85
12	基本方針策定	子どもの人口推移や需要見込みだけで、保育園数等を決めるのは軽率。子ども達の環境、保護者が困っていること、働き方の変化などの問題を整理したうえで、あり方の検討が必要。	区内の乳幼児人口の推移のみで判断するものではございません。定員の余剰分については、定員の見直しを行い、余裕のある職員数・保育スペースで保育運営を行うことで、様々な社会的要因による保育需要に対応できるよう検討してまいります。	85
13	基本方針策定	品川区は、小中学校の給食費の負担をなくし、子どもの医療費無料化では高校生まで対象を広げる等、子育て世帯の支援に力を入れていると思う。その品川で今慌てて、この方針を策定することは必要か。このような基本方針案が出されていることさえ知らない区民がほとんどの中、1ヶ月しかないスケジュールの意見募集では全く足りない。広く区民に知らせて、意見を聞いてほしい。方針の内容を丁寧に説明し、質問時間も設けた双方向性の説明会も開いてほしい。	このたび基本方針の素案がまとまりましたので、広く区民のご意見を伺うためにパブリックコメントを実施しました。説明会については開催する予定はございませんが、策定後の基本方針については、内容の効果・検証をしていく中で、必要に応じた見直しを行い、様々な保育ニーズに対応できるよう子育て支援の充実を図ってまいります。	101
14	基本方針策定	区民の声をパブコメではなく広く聴いてほしい。	このたび基本方針の素案がまとまりましたので、広く区民のご意見を伺うためにパブリックコメントを実施しておりま	110

			す。なお、策定後の基本方針については、内容の効果・検証をしていく中で、必要に応じた見直しを行い、様々な保育ニーズに対応できるよう子育て支援の充実を図ってまいります。	
15	基本方針策定	基本方針（素案）は広く区民に知らせていない。またまた保育の需要は高い。じっくりと区民の意見を聞いてからでも間に合うのでは。	このたび基本方針の素案がまとまりましたので、広く区民のご意見を伺うためにパブリックコメントを実施しております。策定後の基本方針については、内容の効果・検証をしていく中で、必要に応じた見直しを行ってまいります。	119
16	基本方針策定	基本方針素案について反対。短い期間で作成せず、区民にしっかり説明会を開いてほしい。	このたび基本方針の素案がまとまりましたので、広く区民のご意見を伺うためにパブリックコメントを実施しております。説明会については開催する予定はございませんが、策定後の基本方針については、内容の効果・検証をしていく中で、必要に応じた見直しを行い、様々な保育ニーズに対応できるよう子育て支援の充実を図ってまいります。	120
17	基本方針策定	資料が一般の区民にはわかりにくい。	ご意見として承ります。	124
18	区立保育園の状況	区立保育施設を取り巻く社会情勢の大きな変化とは何か。	未就学児の人口動態、保護者の働き方、国等の保育施策などの変化から、多様な保育ニーズが生まれています。	49
19	民間保育園の状況	現在民間園数は区立の倍強と多くなっているが、ビルの一角や幹線道路沿いに開設され庭はもちろん玄関前の待機スペースもせまい場所も多くある。	民間園においては、限られた敷地・施設規模の中で、必要な基準を満たし運営を行っているところです。そのうえで、環境整備を行う際には、必要に応じて区からも補助を行っており	63

			ます。引き続き、民間園の環境整備への支援を継続してまいります。	
20	民間保育園の状況	株式会社の保育園が多いですが、人件費率や職員配置、保育教材や園の方針を区として把握しているか。子どもを育てる場において利益を目的とする営利企業の参入はなじまない。適切な配置で運営を行っているのか、求職の内容はどうか等、区としての厳しいチェックをお願いしたい。	公設民営保育園の財務情報等は確認し、区ホームページで公表しております。引き続き、適正な職員配置を安定して行えるよう確認を継続してまいります。	92
21	民間保育園の状況	保育園をめぐるのは保育士の低賃金が社会問題になっている。私立保育園においてはその割には低賃金、「大変でやっつけられない」という事が実態ではないか。法人の保育園については子どもの定数が満たなければ直接運営費が足りなくなる。土曜保育の補助金が安定して出ないなど大変な実態もある。株式会社の保育園においては運営費の私的流用や保育士の賃金が経営者が変わるごとに低くなっていく、などの問題も起きている。	保育士の処遇改善については、国による公定価格の引き上げや、東京都の各種処遇改善策、区独自の運営費助成等の支援が行われておりますが、今後も引き続き保育士の処遇改善に努めてまいります。また、保育園の定員割れについては、空きスペースを活用した一時預かり事業や、未就園児の定期預かり事業等の事業を実施することや、保育園の多機能化に資する支援を実施することにより、保育園の機能強化を図ることによる経営の安定化ができるように努めてまいります。	95
22	民間保育園の状況	私立保育園の現状は、保育士不足で日々の保育運営もぎりぎりの状況で保育にあたっている。私立保育士の給与とはいえば、一般企業から見てもかなり低い。子どもの命を預かる責任ある仕事はやりがいはあるが、その責務と保護者支援等に悩み	保育士の処遇改善については、国による公定価格の引き上げや、東京都の各種処遇改善策、区独自の運営費助成等の支援が行われております。引き続き経営安定化への支援や保育士の処遇改善を行ってまいります。	118

		頑張っている方もいるが、限界を感じて諦めてしまう方もいる。長く働き続けて欲しいと願っているが、保育園は大変というイメージがあり、担い手がいない現状。私立保育園は運営が滞ってしまえば閉園せざるを得ない。		
23	保育需要の動向	再開発による新築マンション建設が進んでおり、それを見込むと「需要減少・定員余剰」ではない。4月の時点ではどこの園も余裕があるが、年度中に入園する子供たちがあり年度末になるとどこも定員0になる。試算の見直しをお願いしたい。	保育需要の見込みについては、統計上の人口推移や直近の実績のみで判断するものではなく、再開発などによる人口流入も考慮し、必要な施設数・定員を設定してまいります。	33
24	保育需要の動向	コロナでの産み控えや都心からの転出等もあり、ここ数年の人口動態で今後を決めるのには無理があり、減少傾向にあると判断するのは時期尚早。5年後くらいに再度見直しをする前提と織り込んだ方が良い。	人口の推移に関しては、今後とも傾向を見ながら、様々な社会的要因などにも判断材料にして、必要に応じて見直してまいります。	34
25	保育需要の動向	区は数年来待機児童ゼロ、保育園は足りていると主張しているが、希望の保育園に入れず不承諾通知を受け取った人数は、2023年4月1日現在714人。認証保育園利用者、育休中、兄弟同一園希望の転園など希望する許可保育園入園できず、本来ならば待機児とカウントされるべき714人をゼロとするのはやめるべき。 区立保育園448人(0歳～2歳は209人、3歳以上は239人)定員余剰と示されているが、この数字は4月1日現在の	待機児童数とは、認可保育園に申し込みを行い不承諾となった方のうち、認証保育所など認可保育園以外の施設に内定された方や、転園を希望されている方、その他保護者の私的理由等で入園できなかった人数を引いたものとなります。これは国の定義している内容に基づいて公表している数値となります。 4月1日時点での定員余剰数のみをもって、今後の施設数や定員の見直しを行うものではございません。その後の転園数や	49

		<p>ものであり、本方針を出した12月1日現在は、306人(0歳から2歳は49人、3歳以上は257人)と乳児は大幅に減少している。9か月の間に転入、引っ越し、誕生児など受け入れたためであり、翌年3月まで各年齢に空きは当然必要。4月1日現在の数字をもって定員余剰との考えは間違いではないか。</p>	<p>途中入園数も見込んだうえで検討してまいります。</p>	
26	保育需要の動向	<p>保育の量の見込みは減少すると記載あるが、2041年までは増え続けると資料にあり、区内マンション建設増加による子育て世帯の増加は年少人口増加と予測が妥当ではないか。</p>	<p>これまでの保育園在籍数の減少などから、保育需要は減少傾向と考えておりますが、今後の再開発やマンション建設における急な人口流入に対しては、区立保育園の定員に余裕のある保育運営を行う中で、余裕(バッファ)を活用し、必要な受け入れに対応してまいります。</p>	49
27	保育需要の動向	<p>保育園を国や社会情勢の大きな変化などの為に・・とあるが、具体策になると区立保育園を縮小する。民間園とする目的となる。またその目的となる内容の多くが、人口減少による待機児童減少予想が主になっている。</p>	<p>社会情勢の変化などによる多様な保育ニーズに対応するため、区立保育園が今後とも区全体の保育の中核を担う存在として、区全体の保育の質の維持・向上を図るため、拠点園6園、サポーター園13園のほか、必要施設数を存続させてまいります。また、今後の保育需要の動向については、乳幼児人口や待機児童数減少だけでなく、多様な保育ニーズに対応可能となるよう、施設数・定員の設定を検討してまいります。</p>	63
28	保育需要の動向	<p>待機児がなくなっていると定数を削減してゆく理由を挙げているが公立保育園に入園を</p>	<p>公立保育園については、今後とも品川区の保育の中核を担う存在であり、拠点園6園、サポ</p>	70

		希望しても入れなかった子どもが714人もいた、公立園を希望しても入れなかった親子は小さな保育園にやむなく通っているのであって、庭のない保育園を行政が良しとするのは品川区の子育て環境に責任を持つ行政として意識が低い。	一ター園13園のほか必要数を存続させてまいります。また私立保育園についても、よりよい保育のための環境整備に対して、国や都の補助金等を積極的に活用し、必要な支援を継続してまいります。	
29	保育需要の動向	区は「待機児2年連続解消」というが、不承諾数が714人あり「フルタイム共働き」でも入れない実態がまだまだある。	ご意見として承ります。	91
30	保育需要の動向	「2023年4月の入園申請状況等について」が示しているように、「不承諾数」は714件にのぼる。つまり、申請したにも拘わらず、入所できなかった数である。「区立保育園施設の定員に対しても余剰が発生している」というが事実と異なるのではないか。	各地域ごとの定員に余剰が発生しているのは事実でございます。ただし、今後とも地域ごとに必要な保育需要に対応できるよう施設数・定員を検討してまいります。	93
31	保育需要の動向	就学前人口は減少するという予想があったとしても、保育園の需要は急速に減少することは無いと考える。	区立保育園では、今後定員に余剰のある地域から定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営を行う中で、その後の様々な要因による保育需要の変化に対応できるよう施設数を確保してまいります。	101
32	保育需要の動向	保育園数に余剰があるとのことだが、地区により、特に0～2歳児については入園が叶わないことも多く改善してほしい。地域ごとに統計をとることも必要。	保育需要については、区全体を6地区に分けた『品川区子ども・子育て支援事業計画』に基づき、地区ごとの必要施設数や定員の設定を計画し引き続き対応してまいります。	104
33	保育需要の動向	保育の需要が落ち着くと、学童保育の需要が増えるのではないか。所管が異なるのでハードルは高いと思うが、融通性のあ	区立保育園を再整備する際には、今後の保育需要の減少を考慮し、他のこども施設として転用することも踏まえて施設整	105

		る建物になれば学童保育への転用の可能性もあるのではと思う。	備を検討してまいります。	
34	保育需要の動向	品川区の内の保育施設を取り巻く社会情勢は、大きく変化しているとあるが、地域広場を担当している立場で、保護者の声を聴くと、希望する保育園に入れない場合、転園希望を出し保育園の施設見学をして選んでいる状況がある。そういう点でもまだ十分とは言えない。	区立保育園については、今後は定員に余剰のある地域において、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営を行ってまいります。そのうえで必要な施設数についても検討してまいります。	118
35	保育需要の動向	定員については、中長期的な視点で判断し、慎重に精査してほしい。	区立保育園における定員の見直しについては、定員に余裕のある保育運営を行えるよう、また今後の保育需要の変化に対応できるよう検討してまいります。	126
36	区内保育の課題	公立保育園と私立の保育園の役割が明確でないため、課題として記載されている内容の意味が解らない。新しい事業に対しては、保育の質を確保する基準や私立保育園の質ガイドラインが必要。	区全体の必要な保育需要に対応していくためには、公立保育園が中心となって私立保育園も含め、今後の多様な保育ニーズに対応していく必要があります。そのため、基本方針で区立保育園の機能・役割を定め、私立保育園との連携を強化し、区全体の保育の質の維持・向上を図ってまいります。 また、品川区の保育・教育は、「のびのび育つしながわっこ」をガイドラインとして公私立問わずに行っており、保育園に対する指導検査や運営支援をとおして、今後も保育の質を確保してまいります。	49
37	職員体制 定員の見直し	どこの保育園に預けても子どもの最善の利益を保障する質と量を確保することが重要。今	定員の余剰分について、定員の見直しを行い、国や都の基準よりも定員に余裕のある保育運	49

		求められている課題は、大変遅れている国の面積基準と職員配置基準の改善を国に求めること、区基準で補うこと。劣悪な一人あたりの面積改善をおこなう定員見直しを求める。	営体制にすることで、これまでの保育運営における負担を改善してまいります。職員負担を軽減し、よりよい保育の質の向上を図ってまいります。	
38	待機児童対応	待機児童に当たる場合はオアシスルーム利用についても助成金を希望する。ベビーシッターやその他保育施設には空きがなく助成金があっても利用できない状況。	これまで、総合的な待機児童対策を実施してまいりましたが、今後は、子育てに係る負担軽減をより一層進めていきたいと考えております。その中で、助成金をより受けやすくするために、ベビーシッターの確保について東京都と意見交換をする等、より多くのご家庭が保育サービスを利用できる環境整備に努めてまいります。	44
39	待機児童対応	定員余剰、未就学児減少など記載があるが現実問題不承諾になり、他保育施設空きなしで利用不可、になるケースもある。定員余剰にともなう保育士の余剰、余剰スペースがある場合待機児童が発生する地域への保育士の移動などを希望。	区立保育園においては、年1回の人事異動の際に地域の保育需要や特性に合わせて、人員配置を行っております。また、今後の区立保育園においては、必要に応じて適宜応援体制をとるなど、今後とも適正配置に努めてまいります。	44
40	保育の質	区立保育園に通わせているが、保育の質に満足している。	区では、保育・教育のガイドラインとして『のびのび育つしながわっこ』を策定し、保育の質の維持・向上に努めてまいりました。引き続き、保育の質の低下を招かないよう努め、さらなる保育の質の向上を図ってまいります。	5
41	保育の質	保育士の負担軽減や処遇改善等是对応されず、近くの保育園が無くなることは、不便になるだけでなく保育の質の低下も非常に懸念される。	区立保育園では定員を見直し、定員に余裕のある保育を行うことで、職員負担の軽減、働きやすい環境づくりを行います。保育施設数については、地域に	26

			における私立保育園とのバランスも考慮し、保育の質の低下を招かないよう検討してまいります。	
42	保育の質	保育分野では「つたえあい保育」というキーワードがあると聞く。保育士スタッフ間のコミュニケーション、保育士と子ども(達)のコミュニケーション、子どもの保護者～保育スタッフ間のコミュニケーション、など子どもを中心に置く保育を具体的に取り組まれることが大切。歴史と実績のある品川区立保育園を持続することによって、今こそ、「児童の世紀」(エレン・ケイ)を具現することによって、品川区の未来の担い手を確保し、子育て施策・サービスの充実と少子化状況を打開していくことが求められている。	区立保育園に関しては、今後とも区の保育の中核を担う存在であり、拠点園6園、サポーター園13園のほか、区立保育園の機能・役割を果たすため、必要施設数を存続させてまいります。そのうえで、私立保育園とも連携し、区全体で保育の質の維持・向上を図り、子育て支援サービスを充実してまいります。	64
43	保育の質	保育園が乱立したことにより保育の質の低下がある。同じ品川区の保育園で生活する子どもがある程度一定レベルの保育を受けられるようにする為にも公立保育園の役割はとても大きいと思う。民営化の全てを否定する訳ではないが、公立で存続していく意義は大きい。	区全体の保育の質の維持・向上は、区立保育園が中心となって担う必要があると考えております。また、私立保育園も、区立保育園とともに、良質な保育を提供するという役割を果たしております。今後は、区立・私立ともに連携しながら保育の質を担保しつつ、区立保育の役割・機能を検討してまいります。	68
44	区の役割	自治体の姿勢として、子どもの減少を受けて保育の量を減らすのは本末転倒。少子化改善のためにも多様な保育ニーズに応えるためにも、保育の質・量	公立保育園では、定員の余剰分について、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営体制にして、これまでの保育運営における負担を改善してま	49

		ともに引き上げるこそが自治体の役割だと思う。	います。そのうえで、区全体の保育の質の維持・向上を図り、多様な保育ニーズへの対応を行ってまいります。	
45	区内保育園の役割	区立保育園の役割とは何か。私立保育園の役割は何か。なぜ今統合等を考えるのか。	現在でも、区立保育園は、区全体の保育の質の確保、向上を目指すための中心的な役割を担い、私立保育園は、区立保育園とともに、良質な保育を提供するという役割を担っております。区立保育園の統合等は、区立保育園に求められる役割をより一層強化していくために、区立保育園間の役割を設定する等、より適正な配置を行うために行うものです。	49
46	区内保育園の役割	公立保育園の役割は、ベテラン・中堅・若手のバランスで保育ノウハウの継承、地域の保育・子育て支援施設の中核機能、保育の質の標準化、災害時の保育など。現状改善ないまま新たなシステムを導入することで、さらにゆとりがない保育園となり、子ども・保護者・職員もさらに犠牲になる。	今後の公立保育園の機能・役割を果たすために、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営を行うことで、まずは職員負担を軽減させる必要があると認識しております。そのうえで、保育の質の向上、多様な保育ニーズへの対応に努めてまいります。	49
47	区立保育園の充実	子育て支援、少子化対策は、子どもを安心して預け若い親が働けるようにすることが第一。区立保育園の充実が一番。	ご意見として承ります。	78
48	区立保育園の充実	民営化ではなく、区立保育園の充実・強化をしてほしい。	ご意見として承ります。	89
49	区立保育園の充実	区立は条件が厳しく、応募すらできず私立に行かざるを得ない人が多い。区が責任を持って運営し、区立保育園に入れるように充実させてほしい。	認可保育園は、区立であっても私立であっても入るための基準に差はございません。一方、認可外保育施設については、多様な保育施設を利用することができるよう、助成制度の見直	97

			しを検討しているところです。引き続き公私立ともに保育の質向上させることで、どの保育園であっても、良質な保育が受けられるよう努めてまいります。	
50	区立保育園の充実	<p>「子どもが安心して過ごせるための施設や環境の整備」が大切。</p> <p>そのために次の点が大切。①人的支援：子どもの年齢に見合った人数の確保、看護師・栄養士・事務等の担当者。定期的に健診をしてくれる小児科医・歯科医。②衛生的な施設、③園庭のある施設、④職員の質的向上：研修会、勉強会など定期的に行われること、⑤保護者に対する支援、これらを可能にするために、区が全面的に責任を持つ公立保育園の拡充を望む。区民の税金は未来を担う子どもたちのために使うべき。</p>	<p>①安全な保育園運営に必要な適正な人員配置に今後とも努めてまいります。</p> <p>②集団保育としてお預かりするうえで、必要な日々の衛生管理を徹底してまいります。</p> <p>③限られた敷地面積で必要な保育スペースなどを確保する必要がございますが、整備の際には園庭の確保等、よりよい保育環境となるよう努めてまいります。</p> <p>④区立保育園では地区ごとの施設長による情報交換を月1回程度行っております。様々な研修メニューを実施し保育士としての資質・能力の向上を図っております。</p> <p>⑤保護者に対する支援については、送迎の様子などから気になる場合は声掛けを行い、面談等による相談も行っております。また必要に応じて関係機関にもつなげており、育児に悩む保護者への支援を今後とも継続してまいります。</p>	103
51	定員の見直し	<p>多少の空き定員がなければ、希望する時期に復職や入園は出来ないため、余裕を持った定員設定にしてほしい。</p>	<p>子育て世帯によって、職場復帰や保育園に預けたい時期は様々であると認識しております。区立保育園の定員を見直す際には、途中入園の可能性も踏まえて検討し設定いたします。</p>	6

52	定員の見直し	待機児童がゼロであっても、地域で保育施設が不足している場合は保育園の増設や定員の増加が必要である。余った定員は、一時預かり等で、復職前の世帯がスポット的に利用できるようにすればよいのではないか。	今後とも『品川区子ども・子育て支援事業計画』において、各地域の保育需要・地域バランスを考慮し、区全体の施設数や定員数を検討してまいります。定員余剰分の活用についてはご意見として承ります。	12
53	定員の見直し	余剰数を見ると余裕のない箇所も見られるため、まずはクラス数の調整等でそちらを解消していただきたい。	区立保育園に関しては、まずは定員の余剰が出ている分の定員見直しを行い、既存施設での定員に余裕のある保育運営を可能とし、新たな子育て支援を展開してまいります。	29
54	定員の見直し	保育園への予算カットの印象。出生率を上げていかないといけないのに”出生率が下がったため定員縮小”は目的を見失っているのではないか。削減結果待機児童が増えることにならないよう最新の注意を払ってほしい。	区では費用は最小に抑え、最大の効果が得られるよう予算編成を行っております。定員の見直しをしていく中で、さらなる子育て支援の充実を図り、品川区が子どもを生み育てやすい街に選ばれるよう努めてまいります。	36
55	定員の見直し	子どもの数が減り現状で定員余剰があるということだが、区内では新築マンションが林立し、今後子どもの数が増えていくという試算もある。また災害など緊急の場合に柔軟に対応できるように多少の余剰はむしろあってしかるべきと考える。	区立保育園は定員に余剰が出ている分について、まずは定員を見直し、保育士の負担を軽減させ余裕のある保育を行います。そのうえで、余剰分の活用については、新たな子育て支援事業の実施を検討してまいります。その中で緊急時等の受け入れについても対応できるよう検討いたします。	66
56	定員の見直し	定数にそれだけの余裕がこれから見込まれるのであれば、今の公立保育園の詰め込みを元の定数にする、学校の一室を使った年長組クラスを元に戻す、3階等学童クラブだったとこ	定員の余剰分については、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営体制にして、これまでの保育運営における負担を改善してまいります。	85

		ろの使用を止めて余裕の部屋、地域の子たちの使用部屋にする等余裕のある環境にしてほしい。		
57	定員の見直し	公立保育園も過去の定数の拡大により、子どもにとっても保育士にとっても劣悪な環境となっていると思う。定数を元に戻すなど公立保育園としても改善すべき。	公立保育園においては、今後定員に余剰が出た分の定員の見直しを行い、定員に余裕のあるスペースで保育園運営を行うことで、より安全な保育運営が可能となるよう適正配置に努めてまいります。	95
58	定員の見直し	保育人口が減少しているのであれば公立保育園を減らすのではなく職員の配置基準の見直しをしてほしい。	公立保育園の職員配置については、今後は定員の余剰を考慮し、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営が可能な職員配置を検討してまいります。	96
59	定員の見直し	共働き世帯が増えているので、出生届が出された段階での子どもの居住区と整合性がとれた、適切な予測に基づく定員として欲しい。	区立保育園では、今後定員に余剰が出ている地域で、定員の見直しを行い、入園希望者に柔軟に対応できるよう、定員に余裕のある保育運営を行ってまいります。	99
60	定員の見直し	日本の保育園の最低基準は低すぎるので、今の定員に空きがあると言って心配をするより、基準の引き上げで、ゆたかな保育ができるように、国への要請が必要な状況。余った保育園をどうするなどの心配は必要ないと思う。	区立保育園では、今後は既存事業や定員を見直して、国や都の配置基準よりも余裕のある保育運営を行うことで、保育園で働く職員の負担を軽減させます。そのうえで、様々な保育ニーズに応えられるよう、新たな子育て支援事業の展開を検討してまいります。	101
61	定員の見直し	定員に空きがでるなら、ヨーロッパ並みの定数での保育で品川独自の新しい保育環境を望む。	区立保育園については、今後は定員に余剰のある地域において、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営を行ってまいります。区立保育園の拠点園、サポーター園が中心とな	119

			って、区全体の保育の質の維持・向上を図り、区立・私立を問わずより安定した保育の提供を目指してまいります。	
62	定員の見直し 職員体制	50年を経過した施設は順次建て替え、保育所面積基準の引き上げと職員配置の改善を行い、世界的にも劣悪な基準のもとで保育教育を受けている子どもたちのために、ゆとりある保育を実現する方針へと変えることを要求する。	公立保育園については、老朽化に対応するため、今後とも計画的に再整備を行ってまいります。また、定員の余剰分について、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営体制にして、これまでの保育運営における負担を改善してまいります。	49
63	定員の見直し 職員体制	定員割れであれば、保育定数を見直し、保育士一人当たりの人数を減らし、ゆとりのある質の高い保育を目指すべき。	区立保育園については、定員に余剰が出ている分について定員を見直し、定員に余裕のある保育運営を行うことで、職員負担を軽減し、より質の高い保育の提供を行ってまいります。	69
64	職員体制	20名以上のクラスでは、担任2名の配置をお願いしたい。	区では国や東京都の基準を下回らないよう、適正な職員の配置を行っています。いただいたご意見も参考して、今後とも安全な保育運営が可能となるよう適正配置に努めてまいります。	1
65	職員体制	法律等に捉われない、区独自の保育定員基準を作り、余裕のある保育を実現してほしい。	区では、今後の定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育を行ってまいります。	18
66	職員体制	大人が求める「多様なニーズ」には、それこそ民間の力を活用すればよいのではないか。今こそ、正規職員の適正配置を見直し、若い世代が品川区で子どもを産み育てたいと思える保育政策を求める。	区では、これまでも国や東京都の基準を下回らないよう職員配置を行っております。正規職員の確保にも注力してまいりましたが、足りない人材を派遣や非常勤職員を活用しております。引き続き、人事部門とも連携し、よりよい人材を安定的に確保し、状況に応じて必要な	66

			職員を適正に配置できるよう努めてまいります。	
67	職員体制	区立保育園の保育士の声掛けが適切ではないため定期的な研修が必須。研修について記載すべき。	これまでも保育士による園児に対する不適切な声掛けや保育が行われないう、研修等による注意喚起を行ってまいりました。引き続き保育士の質の確保・維持に努めてまいります。	67
68	職員体制	職員の配置基準を改善するよう国に働きかけるべき。	区では今後、国等の配置基準を下回らず、さらに余裕のある保育園運営が可能となるよう適正配置を検討してまいります。	86
69	職員体制	保育園に空きが出るなら、保育士を配置し、さらなる環境改善を進め、充実する保育内容にしてほしい。	区立保育園については、今後は定員に余剰のある地域において、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営を行っていくことで、職員負担の軽減、保育内容の充実に努めてまいります。	121
70	職員体制 保育士の確保	保育士体験を通じて、子どもに対して大人の数で圧倒的に足りていないこと再確認した。定員余剰のため保育園の統廃合・削減を行うのではなく、保育者数の充実へ予算をシフトいただくことを要望。	区では国や東京都の基準を下回らないよう、適正な職員の配置を行っています。今後、区立保育園において定員に余剰が出た分の定員見直しを行い、定員に余裕のあるスペースで保育園運営を行うことで、より安全な保育運営が可能となるよう適正配置に努めてまいります。	33
71	職員体制 保育士の確保	現状のままで通常の保育の質を高めることが重要。現在の保育士配置基準では先生数が少なすぎる為、保育士配置基準を見直すことで質の向上を織り込んでほしい。	職員配置については、国や東京都の基準に加え、必要に応じた加配を行い、今後とも適正配置を検討してまいります。	34
72	職員体制 保育士の確保	保育士を増やし、親も子どもたちも安心して保育園に通	ご意見として承ります。	80

		えるようにしてほしい。		
73	職員体制 保育士の環境改善・充実	私立保育園の急な閉園等に対応するため、区立保育園にバッファ機能を持たせるとのことだが、保育士の疲弊等が社会問題化していることも踏まえ、区立保育園の保育士数を多めに確保するのはいかがか。	今後、区立保育園では定員を見直し、定員に余裕を持った保育を行うことで、保育士の負担を軽減し、働きやすい環境整備を行ってまいります。引き続き、必要な職員数の確保、適正配置に努めてまいります。	11
74	職員体制 保育士の環境改善・充実	保育園における職員配置基準が変わる方向に区には動いている。保育士が疲弊している現状をみれば当然やるべきことと思う。少子化ではあるが、早急に事業の整理をしていくことには賛成できない。	保育士の負担を軽減させるために、今後は定員や既存事業の見直しを行い余裕ある保育運営を行ってまいります。	92
75	職員体制 保育士の処遇改善・充実	「人的資源の中でも限られた状況の中で効率的に運営することが求められる」というが、保育士が不足していることを言っているのであれば、区立園が働きやすい環境づくりをするべきで、むしろ配置基準の見直し、正規保育士を増やすことが必要。その事が私立園での待遇改善にもつながる。	働きやすい環境づくりのため、正規職員のほか安定的な人材を確保できるよう、人事部門とも連携して、必要に応じた職員採用の見直しを検討してまいります。	91
76	職員体制 保育士の確保 保育士の環境改善・充実 保育士の処遇改善・充実	基本方針に反対。子どもがすこやかに育つ環境を基本とし、そこで働く職員の労働条件をよくすることがよい保育につながる。子どもがゆったり生活するような環境と職員配置が必要。	本方針は区立保育園を6地区の拠点園、13地区のサポーター園として機能・役割を持たせ区全体の保育の質を向上させ、子育て支援のさらなる充実を図るものでございます。すべての子どもが健やかに成長していける品川区となるよう努めてまいります。	38
77	職員体制 保育士の確保 保育士の環境改善・充実	子どもの成長を安心して見守り、手助けができるために、保育士の人数を増やし、保育士の生活が安定しなければならな	ご意見として承ります。	87

	保育士の処遇改善・充実	いと思う。そのためには民営ではなく区立保育園が必要。		
78	保育士の確保	「人的資源の中でも限られた状況の中で効率的に運営することが求められている」というが、効率化は人間相手の仕事、人権保障という面からなじまない。福祉分野で働く労働者賃金はきわめて低額。この点を解決すれば人的資源は解決できる。	人材確保のための、賃金や処遇改善、働きやすい環境づくりに関しては、引き続き改善を図ってまいります。	93
79	保育士の確保	現場はゆとりのある保育ができるよう配置基準の変更を求めている。子どもたちと保護者が最善の利益を受けられるよう力を尽くしてほしい。	区立保育園については、今後は定員に余剰が出た地域の定員の見直しを行い、余裕のある定員設定で保育運営を行うことで、職員負担を軽減し、働きやすい環境づくりに努めてまいります。	115
80	保育士の確保 保育士の環境改善・充実	良質な保育のためには、質の高い人材、保育士が必要である。児童の数が少ないほど、目が行き届くのは当然なのに、日ごろ通園していない一時保育の児童を見ることは、保育士の負担が非常に大きい。今後、人口減少時代に入り、ベテラン保育士は少なくなり、経験の浅い保育士が担うことになることを踏まえると、ゆとりのある保育機能、ひいては、就労環境の確保が重要といえる。	新たな子育て支援事業を実施するには、既存事業の見直しや保育士の負担軽減もセットで検討しなければなりません。区立保育園では、既存事業や定員の見直しを行うことで、保育士の負担軽減および定員に余裕のある保育運営を可能とし、新たな子育て支援事業の実施を検討してまいります。	45
81	保育士の確保 保育士の環境改善・充実 保育士の処遇改善・充実	人件費の削減を検討していると推察するが、多様な働き方や保育ニーズへの対応を区立保育園でも拡充して頂き、保育士数の改善や保育士の負担軽減、保育士の処遇改善等に注力して頂きたい。	区立保育園の定員を見直すことにより生まれる余剰分については、定員に余裕のある保育を行い、職員の負担を軽減させ、働きやすい環境づくりを行っていくことで、今後は多様な働き方・保育ニーズに対応する	26

			<p>ため、新たな子育て支援を行ってまいります。</p> <p>また、区立保育園を中心として区全体の保育の質の向上を図ってまいります。保育士の負担軽減、処遇改善については、国や都の補助も活用しながら、働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。</p>	
82	<p>保育士の確保</p> <p>保育士の環境改善・充実</p> <p>保育士の処遇改善・充実</p>	<p>加配についての区の考え方を明確にしてほしい。</p>	<p>加配について、保育園特別支援保育等実施要綱に基づき、支援が必要なお子様の入園にあたり必要な職員配置の検討を行い、審査会で加配の決定を行っております。</p>	67
83	<p>保育士の環境改善・充実</p>	<p>保護者の方、保育士さん達の働きやすい環境の充実を願う。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	84
84	<p>保育士の環境改善・充実</p>	<p>保育園の運営には施設要件の他職員の配置要件が重要になる。民営化を進めていく中で、保育士の整備が必要となるが、保育士の中には子育て世代も多く、柔軟な働き方を希望し長時間労働を避ける場合もある。</p> <p>「日本保育士協会」などと連携し、登録保育士の条件とマッチングができれば双方の負担が軽減し、速やかな欠員補充ができるよう体制を整えることができる。保育園の安定経営のため検討してほしい。</p>	<p>保育士の働き方の希望も様々であり、常勤職員ではなく労働時間に融通の利く派遣や非常勤を望む方もいらっしゃることを認識しております。区では、そのような様々な雇用形態にマッチできるよう、会計年度任用職員などを活用し人材確保を行ってまいりました。</p> <p>様々な雇用形態の職員が存在する中で、常勤職員の役割や負担が増加していることもあり、区立保育園では今後定員に余裕のある保育運営を行い、職員の負担軽減、働きやすい環境づくりに努めてまいります。</p> <p>人材確保については、いただいたご意見も参考にして、より安定的な人材の確保を今後とも検討してまいります。</p>	128
85	<p>保育士の環境改</p>	<p>以前、延長保育で 10 時までや</p>	<p>現在の区立保育園で実施して</p>	35

	善・充実 保育士の処遇改善・充実	日曜も開所している園があるなど、保育士の疲弊が著しかった。そのままにしておくのか。	いる延長夜間保育や休日保育についても、需要に見合った事業形態となるよう見直しを行ってまいります。	
86	保育士の環境改善・充実 保育士の処遇改善・充実	働く人の労働、賃金が保障され、余裕をもって働き、働く人同士でどんな子どもに育てるのか、どんな保育をするのか話し合いながら保育できないと良い保育はできないと思う。保育の質、良い保育の保障は、保育の積み重ねができ現場で働く人たちの創意工夫ができる自由がなければと思う。株式会社経営の保育園では、保育士たちが長く働き続けるのは難しく、保育の継承、保育の質を維持していくのは難しいと思う。	民間の保育園であっても、子どもに対する思いや、保育に対して真摯に取り組んでいることには変わりはありません。また、保育士の処遇改善については、国による公定価格の引き上げや、東京都の各種処遇改善策、区独自の運営費助成等の支援が行われておりますが、今後も引き続き保育士の処遇改善に努めてまいります。	85
87	保育士の環境改善・充実 保育士の処遇改善・充実	職員の働きやすい環境の整備があつてこそ保育の質の向上につながる。整備には賃金の改善、余裕を持った職員配置基準が必要。統合時には配置人数の適正化や職員休憩室や事務室などの改善を希望。	区立保育園については、今後は既存事業や定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営を行ってまいります。その中で、職員の働きやすい環境づくりのため、必要な休憩スペースの確保なども検討してまいります。	105
88	保育士の処遇改善・充実	保育園職員の処遇等を充実させてほしい（給与、家賃、交通費、福利厚生等税金で実現可能な各種補助、現金や物品による寄附制度等）。	保育園職員については、職員負担を軽減する業務改善を行い、国や都の様々な処遇改善補助等を活用し、働きやすい環境づくりを行ってまいります。	18
89	保育士の処遇改善・充実	基本方針に保育士や保育施設の運営に携わる職員の処遇改善について、記載してほしい。	職員の処遇については、保育の質の向上にも繋がることと認識していますので、国や都の補助も活用しながら、保育現場の職員の処遇について、より働きやすい環境となるよう改善してまいります。	21

90	保育士の処遇改善・充実	会計年度任用職員が安定して良い条件で働ける場もなくなる。	区立保育園では、会計年度任用職員のもつ保育運営の経験・知識についても重要であると認識しており、正規職員のみでなく、会計年度任用職員の働く場の提供、働きやすい環境づくりに努めてまいります。	85
91	保育士の処遇改善・充実	保育園職員の待遇を改善してほしい。	これまでも私立保育園に対して、国等の補助に加え区独自の補助も行っており、待遇の改善に努めてまいりました。引き続き、必要に応じた補助を継続してまいります。	89
92	定員の見直し 保育士の環境改善・充実	今後の方針として、定員に余裕があれば、保育園職員の労働環境の改善にも繋がり、かつ保育の質の向上にも寄与すると考える。	区立保育園の定員を見直すことにより生まれる余剰分については、定員に余裕のある保育を行い、職員の負担を軽減させ、働きやすい環境づくりを行っていくことで、今後は新たな子育て支援を行ってまいります。	5
93	配慮が必要な子どもへの支援	区立保育園で園児の人数が減少している分、支援が必要な子どもへの受け入れを増やすことはよいことではないか。	様々な支援を必要なお子様を保育園でお預かりことが求められていると認識しております。今後の区立保育園の機能・役割の中で、多様な保育ニーズに応えられるよう、事業の展開を行ってまいります。	4
94	配慮が必要な子どもへの支援	医療的ケア児について、区立保育園をメインに受け入れていくのはよいが、預かり時間等に制約があることから、インクルーシブな面で受け入れを増やすか、そのあたりの方向性がもう少し謳われるとよい。	医療的ケア児や、特別な配慮を必要とするお子様の必要とする保育時間に、より対応できる施設となるよう、環境整備を行ってまいります。	16
95	配慮が必要な子どもへの支援	区立保育園の今後のあり方の方向性としては大筋賛成であるが、グレーゾーンの子どもが	特別な支援を要するお子様への対応について、区立保育園が担うべき重要な役割であると	30

		全体に占める割合が多くなっているため、そのような子どもも安心して通える園として区立保育園が機能していただきたい。	認識しております。区立保育園が中心となって安心して預けることのできる環境整備を行ってまいります。	
96	配慮が必要な子どもへの支援	医療的ケア児以外の知的障害児・身体障害児・発達障害児・発達の気になるお子さんについての区としての考え方を示してほしい。	医療的ケア児を含む特別な配慮を要するこどもに対しても、区立保育園が中心となって受け入れ拡充の役割を担ってまいります。	67
97	配慮が必要な子どもへの支援	医療的ケア児については区の「医療的ケア児等支援関係機関連絡会」があり、今年度から年2回開催される見込みとなっている。そこと連携を図る旨を記載してもらいたい。	福祉部で運営する『医療的ケア児等支援関係機関連絡会』とも連携をとり、区全体で医療的ケア児の支援拡充を検討してまいります。	67
98	配慮が必要な子どもへの支援	医療的ケア児のみではなく、発達障害児特有の偏食に対して、普段でも水筒持参ができるよう、支援を手厚くしてもらいたい。	医療的ケア児のみでなく、特別な配慮を要するお子様への支援について、様々なケースに対応できるよう今後とも検討してまいります。	100
99	配慮が必要な子どもへの支援	医療的ケア児への対応は財源の安定した区立保育園だからこそ率先して取り組めるもの。携われる職員の方は気を張る業務になるため、職員の働きやすい環境の提供を希望。	区立保育園では、医療的ケア児の受け入れにあたり、必要な人員配置、保育環境の整備を行ってまいりました。今後とも医療的ケア児や特別な配慮を要するお子様をお預かりする際の環境整備を行ってまいります。	105
100	配慮が必要な子どもへの支援	医療ケア児や障害を持つ子どもの受け入れは大賛成。保護者だけではなく、地域全体で見守る必要性を感じている。	医療的ケア児など特別な配慮の必要なお子様については、地域ごとに関係機関とも連携し、受け入れの拡充に努めてまいります。	126
101	配慮が必要な子どもへの支援 病児病後児保育	医療的ケア児受入拡充に伴い、必然的に病児保育のニーズも今後高まるものと推測されるが、区内および近隣地域では医療的ケア児、特に気管切開の子	区立保育園はもとより、私立保育園でも受け入れが可能となるよう、受け入れに対する整備について、積極的に民間事業者への支援も行い、区全体の受け	16

		<p>供の利用できる病児保育は在宅型も含め皆無に近い。在園中の保育園以外での医療的支援についても、今後の見通しを示してほしい。</p>	<p>入れ拡充を図ってまいります。</p>	
102	病児病後児保育	<p>区立保育園に病児・病後児保育室の設置を必置とし、子どもが病気等であっても、同じ保育園に継続して預けられる仕組みがあるとありがたい。</p>	<p>病児保育事業の実施には、病院等の専門的な保育スペースが必要となります。区立保育園すべてに、園児が病気等でもお預かり可能な設備を整えることができず、区立保育園3園と私立保育園1園で、病後児保育を実施しております。引き続き、医療機関とも連携し、病児・病後児保育の充実を図ってまいります。</p>	5
103	病児病後児保育	<p>保育園に病児保育としての預かりがあると、社会復帰がしやすい。</p>	<p>病児保育事業の実施には、病院等の専門的な保育スペースが必要となります。区立保育園すべてに、園児が病気等でもお預かり可能な設備を整えることができず、区立保育園3園と私立保育園1園で、病後児保育を実施しております。引き続き、医療機関とも連携し、病児・病後児保育の充実を図ってまいります。</p>	24
104	病児病後児保育	<p>保育園に余剰があれば、一人親家庭向けの病児保育（感染症除く）を実施していただくと、非常にありがたい。</p>	<p>病児保育事業の実施には、病院等の専門的な保育スペースが必要となります。区立保育園すべてに、園児が病気等でもお預かり可能な設備を整えることができないため、医療機関もしくは、私立保育園1園で実施しております。引き続き、医療機関とも連携し、病児保育施設の充実を図ってまいります。</p>	28
105	病児病後児保育	<p>病児保育を充実させてほしい。</p>	<p>病気のお子様をお預かりする</p>	32

		<p>近くに施設がない、事前登録が必要、空きがあれば等で利用しにくい。熱のある子どもを初めて行く施設に預けるのも気が引ける。理想は、在園している園で病児保育を実施してほしい。利用の都度、費用(日額)が発生しても良いと思う。または、病児保育を利用したい家庭はオプションで病児保育料(月額 or 年額)を払う手法でも良いと思う。</p>	<p>うえて、そのお子様の状況を詳しく把握することが必要であり、安全にお預かりするために事前登録なしですぐに利用はできないこととしております。いただいたご意見も参考にし、今後の病児保育事業の充実を図ってまいります。</p>	
106	病児病後児保育	<p>医ケア児の対応は負担が大きすぎる。通常の子どもと一緒に保育運営をするのは無理がある。病児保育園を拡大するなど医ケア児向け施設を作って限定して取り組むべき。</p> <p>本案は全体的に区立保育園の職員の負担が大きすぎると感じた。それは保育の質が下がることに繋がると思う。今通っているのは統括園になるであろう大きい区立保育園だが、多少定員が減ったところでここに医ケア児を受け入れられる余裕があるようには全く見えない。</p> <p>病児保育の実施場所が偏りすぎていて、せめて電動自転車で行ける範囲(2キロ圏内とか)に無いと意味がないのではないか。小規模な病児保育施設をもっと増やし、医ケア児もそこで受け入れるべきと思う。</p>	<p>医療的ケア児の受け入れは、これまでの経験や設備が整っている区立保育園が中心となり、必要な人員配置も含め受け入れを行ってまいります。また、私立保育園においても、受け入れに必要な補助を行うことで、区全体での受け入れ態勢の充実を図ってまいります。</p> <p>病児保育については、実施するには医療機関の協力が必要であり、地域での偏りがあると認識しております。今後とも必要な地域での事業展開ができるよう努めてまいります。</p>	34
107	病児病後児保育	<p>病児保育、病後保育の充実。保育園に入れても急な体調不良などが続き出勤できず退職す</p>	<p>お子様が病気の際に家庭での保育が困難で、やむを得ず預けなければならない場合等、各家</p>	44

		るかたもいる。定員余剰がある施設での実施を希望。	庭のニーズに応えられるよう、今後とも病児保育事業の充実を図ってまいります。	
108	保育園在園児保護者への支援	保育園在園児の保護者がリフレッシュ・レスパイト等の要件で預けることが出来る制度を整備いただきたい。	共働き世帯等において、仕事と子育てを両立する方の負担を軽減できるよう、今後とも様々な理由でお子様を預けることのできる施設や事業等を検討し、子育て支援の充実を図ってまいります。	3
109	保育園在園児保護者への支援	区立保育園において、就労だけでなく、通院やリフレッシュ等の要件でも預かっていただきたい。	保育園は就労等保育を必要とする事由に応じてお預かりする施設でございます。保育園に通われている世帯も含め、すべての子育て世帯において、子育て中の負担が少しでも解消できるよう、様々な理由でお子様を預けることのできる施設や事業等を検討し、子育て支援の充実を図ってまいります。	7
110	保育園在園児保護者への支援	在宅子育て世帯のリフレッシュ等による預かりを推進するよりも先に、共働き世帯のリフレッシュ等が緩和されるほうが先ではないか。	就労しているか否かにかかわらず、リフレッシュなど様々な目的で利用できる施設・事業を検討し、すべての子育て世帯が、子育てへの負担を少しでも軽減できるよう、今後とも努めてまいります。	9
111	保育園在園児保護者への支援	区立保育園職員の就労以外の場合には預からないという認識をやめていただきたい。	保育園は、各家庭での保育を必要とする事由に応じて、必要な時間お預かりをする施設となります。なお、リフレッシュ目的や様々な理由でお子様を預けることを希望するニーズに応えられるよう、今後の施設・事業を検討してまいります。	14
112	保育園在園児保護者への支援	現在は働いている時間のみ預けられるという前提だが、保育	保育園は就労等保育を必要とする事由に応じて、お子様をお	43

		園に預けている親が出勤日の有休にも預けられるようにしてほしい。(平日勤務で土曜日に預けるということではない)	預かりする施設でございます。仕事と育児の両立で疲労している子育て家庭への支援として、今後は就労している方でもリフレッシュ目的で利用できる施設や事業等、様々な保育ニーズに応えられるよう検討してまいります。	
113	保育園在園児保護者への支援	「休みの日は預けるな」という古い考えの区立保育園を見直す必要がある。保育が必要な家庭にとって、保育園の役割は預かる子どもの保育だけでなく、シングル家庭、ワンオペ育児等の親の環境も含めて子どもに寄り添い、考えて保育していただきたい。早急に改善・対策を希望する。	保育園は就労等保育を必要とする事由に応じてお預かりします。各家庭が必要としている時間お預かりするために保育事由を確認させていただいております。就労している保護者のリフレッシュなど、そのほか様々な理由の保育ニーズがあることは認識しており、今後は就労している方でもリフレッシュ目的で利用できる施設や事業等、様々な保育ニーズに応えられるよう検討してまいります。	102
114	保育環境の整備	煩雑な保育環境は良い保育をしていく上で職員の負担になる。民間の保育園も給食室がない、園庭がない等環境が悪い保育園が増えている。長時間過ごす子ども達にとってもこの環境は良いこととは言えないと思う。	保育園の労働条件の改善、働きやすい環境づくりは重要であると認識しております。今後とも適正な人員配置を行い、保育園の環境改善に努めてまいります。	85
115	保育環境の整備	施設面でも、広い園庭がある公立保育園こそ必要。	ご意見として承ります。	87
116	保育環境の整備	子どもの日常生活と遊び・育ちを保障するうえで園庭は大きな財産。老朽化により建て替え改善しても園庭の確保を望む。	区立保育園の再整備については、敷地面積に限りがございますが、よりよい保育環境となるよう整備してまいります。	92
117	保育環境の整備	乳幼児をもつ家庭においては	現在においても区立保育園は、	92

		災害時に避難所となる役割も保育所にはあると思う。少し余裕を持たせた設計にして、災害時開放することも区の役割と思う。	災害時の補完避難所としての役割を有しており、緊急時の対応については、引き続き防災部門とも連携し検討してまいります。	
118	保育環境の整備	園庭がない保育園があるので、公園をもっと増やし子育て環境を改善してほしい。	公園等の整備については、一般区民利用も考慮し、必要な環境整備を引き続き行ってまいります。	111
119	保育環境の整備	区立保育園の広い園庭、偏りのない保育が魅力。伸び伸びと土を触りながら成長を育めるチャンスは保育園しかない。区立保育園に求められることを精査しながら進めてほしい。	区立保育園は今後とも区の保育の中核を担うものであり、求められる機能・役割を果たせるよう努めてまいります。	126
120	保育環境の整備 職員体制 保育士の環境改善・充実	余剰スペースを子どもの遊ぶスペース、余剰人員を保育士職員の余裕に繋げて欲しい。	区立保育園の定員の見直しにより、適正な職員配置で余裕のある保育園運営を行ってまいります。	23
121	地域での子育て支援	定期的に呼べるシッターがどの業者でも見つからないことがあるため、ベビーシッターの数をもっと増やしてほしい。	ベビーシッターの人材確保について、東京都と意見交換を行いながら、ベビーシッター助成がより利用しやすい制度となるようご意見として承ります。	12
122	地域での子育て支援	近隣区と連携し、他区の一時的預かりの利用ができるようになれば、より便利になると思う。	近隣区との連携については、自治体間での調整が必要であり、今後の課題として承ります。	12
123	地域での子育て支援	区立児童相談所の開設が必要な状況の中で、大事にならないうちに、日頃からアクセスしやすい保育園・児童センター等が充実していることが、子どもにも親にも大切。	保育施設については、『品川区子ども・子育て支援事業計画』に基づき、各地域に必要な施設数・定員を設定してまいりました。今後とも、各地域ごとに必要な保育園や子育て支援施設の充実を図ってまいります。	101
124	在宅子育て支援	自宅で保育をしている時期は、孤立しがちになるため、保育園に通っていない子どもが預けられる施設が増えるのはすば	すべての子育て世帯が必要とする支援を受けられるよう、子育て支援の充実を図ってまいります。	6

		らしいことだと思う。		
125	在宅子育て支援	余剰スペースや人員はこども誰でも通園制度の拡充に充ててはいかがか。また、こども誰でも通園制度は月 10 時間程度の想定のようなが、品川区独自として時間を増やすことも考えられる。	品川区でモデル実施する未就園児の定期的な預かり（こども誰でも通園制度）について、必要な家庭が利用しやすい事業となるよう、さらなる充実を図ってまいります。	29
126	在宅子育て支援	就労していない親の子どもも認可保育園で一時保育するのは反対。現在預けている子どもたちは、スポット利用の子どもが来ることで、安心して保育を受ける権利を奪われる。保育士の手も取られるだろうから、もともといた子どもたちへの対応が手薄になる。よって、都度預けはオアシスルームに限定してほしい。就労している親は入園児に預かり時間がある程度決めるが、就労していない親の子どもはそうした制限なく預けるのも不公平感がある。	普段は保育園を利用していない子どもが、保育園等で他の園児と関わったりすることで、子どもの育ちのにつなげる未就園児の定期預かり事業は、今後の子育て支援にとって、重要な取り組みであると考えております。一方、ご意見にもございますとおおり、すでに通園している子どもも安心して通えるよう、事業実施を検討してまいります。	31
127	在宅子育て支援	子ども誰でも通園制度は魅力。早期開始を望む。区立保育園だからこそ先駆けて行ってほしい。	こども誰でも通園制度については、品川区モデル事業として、未就園児の定期的な預かり事業を実施してまいります。	41
128	民間保育園への支援	民営化ではなく、区立の定員を増やし、私立へ助成を増やす方向が良い。	私立保育園については、認可保育園に対しては区独自の助成を行っており、認可外施設については、これまでも保育料の助成を行ってきました。引き続き、子育てに係る負担軽減に向けて様々な施策を行ってまいります。	97
129	統括園・サポート園	統括園とサポーター園とすることに反対。各園が平等で各園の判断で保育が行われ、実践交	統括園、サポーター園を設定することで、区全体の保育の質の維持・向上を図り、区立・私立	70

		流し住民から信頼を得て行くことが大事。	問わず、どこの保育園に通っても一定の保育が受けられるよう機能整備を行ってまいります。	
130	統括園・サポート園	統括園及びサポーター園設置の目的と役割が曖昧。統括園の機能例として「在宅子育て世帯の定期的な預かり」とある。自宅から距離のある園と交流を持つよりも、近くの保育園との接点を持つ方がよほど使いやすく安心できる。各園においてそのような機能を持てる人員の配置とスペースの確保が望ましいと考える。現在行われている一時預かり保育は、病児・病後児保育を各園でおこなってほしい。サポーター園機能にあげられている3点については、保育課の役割でもあるのではないか。	区立保育園の役割・機能については、保育園だけでなく保育課や関係機関も連携し対応してまいります。	92
131	保育需要の動向 区立保育園の統合を含めた再整備	将来的に0～4歳児が減る予想とのことだが、例えば戸越公園のタワーマンションが出来る等、同じようなことが他地域でも起こり得ることから、施設数は保持し、近くの園に通えるようにしてあげてほしい。	再開発による急な人口流入に対しては、区立保育園の定員に余裕のある保育運営を行う中で、余裕（バッファ）を活用し、必要な受け入れを検討してまいります。	29
132	区立保育園の事業展開	区立保育園の機能分化を進めるようだが、機能分化が最適であるメリットやデメリット、子ども達への影響等、基本的な理論が明記されていない。	今後の多様な保育ニーズに対応するため、区立保育園に必要な機能・役割を持たせ、私立保育園等とも連携し、区全体の子育て支援が可能になると考えております。新たな子育て支援を行う際には、現状通っている園児への影響を最小限に抑え、保育の質が低下しないよう実施してまいります。	8

133	区立保育園の統合を含めた再整備	保育園が充足している実感はあるため、ある程度の保育園を閉園、統合することは致し方ないと思う。	今後は、区立保育園の再整備を行うことで、区内全体の保育の質を向上させ、保育士が働きやすい環境づくりを構築していき、すべての子育て世帯が住みやすい品川区となるよう努めてまいります。	4
134	区立保育園の統合を含めた再整備	未就学児の減少に伴い、区立保育園数や職員を減らすのはよくないのではないかと。	区立保育園では、未就学児の減少などを理由に直ちに施設数や職員数を減らすことは考えておりません。今後は、定員に余裕のある保育を行い、職員の負担を軽減させ、新たな子育て支援事業を展開してまいります。そのうえで必要となる施設数・職員配置を検討してまいります。	5
135	区立保育園の統合を含めた再整備	区立保育園については、現在の規模を維持し続けるのが望ましいと考える。	今後の乳幼児人口の推移等から、私立保育園とのバランスも考慮し、区立保育園の規模を検討してまいります。	5
136	区立保育園の統合を含めた再整備	各地区の保育園の定員に空きがあると強調されているが、入園させたいタイミングで入園できる状況にないという状況の中、再編や統合を進めていくことに不安がある。一般財源等を活用し、もう少し余裕のある運営を進めてほしい。	区立保育園は定員に空きがあることを理由に直ちに施設数を減らすことは考えておりません。乳幼児人口の推移を見ながら、余裕を持った保育園運営を行うことで、定員余剰分を活用した多様な保育ニーズに応えられる施設・事業を検討してまいります。	8
137	区立保育園の統合を含めた再整備	推定される未就学児数に応じ、保育園数等を縮小する方針は基本的には賛成だが、減らしすぎないようにお願いしたい。	区全体の保育の質の向上のためにも保育士の負担を軽減し、余裕を持った保育園運営が重要であると考えております。区立保育園の再整備を行うにあたり、ご意見として承ります。	11
138	区立保育園の統合を含めた再整備	以前は家から近い保育園への入園希望が重点として置かれ	区立保育園を整備する際には、限られた敷地面積の中で、必要	20

		ていたと思うが、今は保育園の内容に重点が置かれていると思う。そのため、区立保育園で考えると、小規模な園を多数開設するより、広い敷地に広い園庭や遊戯室、保育室を備えられる園を増やしていく方が良いと思う。	な保育スペースを確保する必要があると思いますが、いただいたご意見も参考にし、より環境の整った施設となるよう整備してまいります。	
139	区立保育園の統合を含めた再整備	安易な統合案ではなく、多様なニーズを抱える子どもや保護者により一層寄り添った方針、計画をお願いしたい。	今後の多様な保育ニーズに対応できるよう、地域ごとに必要施設数を検討してまいります。	26
140	区立保育園の統合を含めた再整備	保育園の立地も需要に大きく影響し、合併により利便性が悪くなることで就労継続が難しくなるため、そこを踏まえて検討してほしい。	区立保育園の再整備については、地域バランスを考慮し、利用者の利便性を踏まえて計画してまいります。	35
141	区立保育園の統合を含めた再整備	保育園等あり方基本方針（素案）に反対。方針は、区内の公立保育園の老朽化による建て替えを契機に統合、私立保育園との連携を示しているが、これは、行政としての保育の公的責任を後退させることになる。	今後とも区立保育園が中心となり、拠点園6園、サポーター園13園がそれぞれの地域で私立保育園ともさらなる連携を行い、区全体の保育の質の維持・向上を図っていくものでございます。	46
142	区立保育園の統合を含めた再整備	子どもの人口が減るから区立保育園を統廃合するのは問題あり。保育の質の向上は区が率先してやるべき。定員の問題、病児保育など保育を必要としている人は多い。	区立保育園は、今後とも区全体の保育の中核を担う存在として、区全体の保育の質の維持・向上に努めてまいります。また、定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営体制にして、これまでの保育運営における負担を改善し、多様な保育ニーズへの対応を行ってまいります。	60
143	区立保育園の統合を含めた再整備	公立保育園をなくさないでほしい。	ご意見として承ります。	61
144	区立保育園の統合を含めた再整備	公立保育園の存在は子育てする住民にとってなくてはなら	公立保育園は今後とも区の保育の中核を担うものであり、そ	70

		ない重要な施設であるので削減案に反対。	の役割・機能が重要であると認識しておりますが、公立保育園のほとんどが老朽化しており、そのすべてを建て替えることは、仮移転先の確保の問題など現実的ではございません。 公立保育園を統括園、サポーター園、その他必要数を存続させ、公私立のより一層の連携を図り、区全体の保育の質の向上を目指します。	
145	区立保育園の統合を含めた再整備	適正配置や統合で区立保育園を減らす『あり方基本方針』には反対。	ご意見として承ります。	73
146	区立保育園の統合を含めた再整備	少子化は保育環境の整備がされていないことが原因にあり、基本方針を実施すればますます少子化を進めることになる。再検討し子育てしやすい品川にすべきである。	老朽化した区立保育園の再整備や、そのほか各園で必要な環境整備を継続し、より子育てのしやすい環境づくりに貢献してまいります。	76
147	区立保育園の統合を含めた再整備	区立保育園を減らすことは保育の質の低下につながるため反対。	ご意見として承ります。	77
148	区立保育園の統合を含めた再整備	子どもを生き育てやすい品川にすべきなのに反対に公立保育園を減らすことを考えたりしないでほしい。	ご意見として承ります。	80
149	区立保育園の統合を含めた再整備	区立園の数を減らすことが「最も保育の質の向上につながる」ことはありえない。保育園を減らす方針ではなくむしろ今こそ保育環境を引き上げ子育て支援の強化、子どもを産み育てやすい品川を作るべき。	区立保育園については、今後の定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営体制にすることで、職員負担を軽減し、働きやすい環境づくりをつくり多様な保育ニーズへの対応を行ってまいります。	91
150	区立保育園の統合を含めた再整備	築50年経過している保育園は耐震・設備面の対応が求められているのであれば、計画的に建て替えてゆけばよい。	老朽化している区立保育園の改築については、仮移転先の確保などの課題もあり、すべての保育園を改築するのは現実的	93

			ではございません。必要な施設数を再整備できるよう計画してまいります。	
151	区立保育園の統合を含めた再整備	保育園を減らす方針でなく公立保育園は増やしてほしい。	ご意見として承ります。	111
152	区立保育園の統合を含めた再整備	子どもの人口減、定数に満たなくても、つめ込み保育ではなくゆとり保育を望む。保護者が安心して子どもを産み育てられる、子どもたちが生き生き伸び伸びと育つよう環境を整えていくことが区の役割。区立園の削減には反対。	区立保育園については、今後は定員に余剰が出た地域の定員の見直しを行い、余裕のある定員設定で保育運営を行うことで、新たな子育て支援事業の展開や必要な施設数を検討してまいります。	112
153	区立保育園の統合を含めた再整備	区立保育園を減らす方針には反対。行政が考えている以上に保育ニーズはまだまだある。方針の撤回を求める。	今後の様々な保育ニーズに対応していくため、区立保育園が中心となって、私立保育園も含めた区全体で対応していかなければならないと認識しております。そのために区立保育園は地域ごとに拠点園、サポーター園、そのほか必要施設数を存続させてまいります。	127
154	区立保育園の統合を含めた再整備 区立保育園の民営化	公立保育園の統廃合先にありきの方針が唐突に書かれている。私立保育園の分析なくして民営化を進めるのは乱暴。改築し新しくなった園から民営化することは区民の財産を民間に売り渡すことであり容認できない。	今後の公立保育園の機能・役割を果たすために必要な施設数を継続してまいります。民営化に関しては、公立保育園として整備した施設・設備を活用し、運営業務を民間事業者へ委託する方式をとります。民営化後についても、区が関与し適正な保育運営が行われているか確認してまいります。公立保育園の建物・土地は区の重要な財産であると認識しており、財産の取り扱いについては、慎重に検討してまいります。	49
155	区立保育園の統合を含めた再整備	子どもたちをのびのび育てて、行くためにも区立保育園は縮	ご意見として承ります。	57

	区立保育園の民営化	小しなideほしい。		
156	区立保育園の統合を含めた再整備 区立保育園の民営化	子どもたちが楽しくのびのび育つような保育園にしてほしい。区立保育園を増やしてほしい。	ご意見として承ります。	58
157	区立保育園の統合を含めた再整備 区立保育園の民営化	基本方針と公立保育園の統廃合・民営化には反対。定員余剰とあるが、地域ごとに見ると空きはほとんどない。保育ニーズも減少するとは言えない状況。私立保育園は利潤目的のため、経営困難時に閉園可能性があり、園児たちは行き場を失うことになる。安易に公立保育園を減らすべきではない。	区立保育園については、定員に余剰が出ている分について、まずは定員および既存事業を見直し、保育士の負担を軽減させ余裕のある保育を行います。そのうえで、新たな子育て支援事業の実施を検討していきますが、いただいたご意見も参考にして、私立園の急な閉園や緊急時等の受け入れについても対応できるよう検討してまいります。	69
158	区立保育園の統合を含めた再整備 区立保育園の民営化	保育園の民営化や統廃合には反対。少子化の時代、公立保育園の充実が必要であり、子育て支援の強化を希望。	公立保育園は今後とも区の保育の中心としての役割・機能をはたしていく存在として、必要施設数存続させる方針でございます。また、私立保育園とより一層の連携をとり、区全体の子育て支援の充実を図ってまいります。	74
159	区立保育園の統合を含めた再整備 区立保育園の民営化	公立保育園の統合、民営化には反対。民営化になると営利目的で、働く人間は言いたい事も言えない弱い立場になる。 公立保育園を減らさず、子どもが健全にすごせるよう職員の働く環境も保障してほしい。	民営化のための事業者選定を行う際には、事業者の保育理念、人員配置、財務状況等、様々な項目から総合的に審査を行い、適正に安定的な運営が可能な事業者を選定します。民営化後にも区が継続して関与し、適正な保育運営が行われているか確認してまいります。	81
160	区立保育園の統合を含めた再整備 区立保育園の民営化	利益を追求する民間への委託を考えるのか。保育園削減には絶対に反対。	区立保育園の民営化については、必要な時間をかけて区立保育園の保育内容を引き継ぎ、区	83

	化		立保育園の設備をそのまま活用し、運営業務を委託する形式をとります。 民営化後についても、保護者アンケートの実施、保護者代表・事業者・区による定期的な三者協議会、給食内容の確認や巡回指導など、適正な保育が行われるよう継続して確認していきます。 公設民営保育園として区が関わりをもつことで、適正な職員配置、安全な保育運営を継続させてまいります。	
161	区立保育園の統合を含めた再整備 区立保育園の民営化	公立保育園の民間委託に反対。子どもたちの健やかな成長を願うなら、走り回れる園庭、ゆったりした保育室など保育環境を充実させるべき。	区立保育園の再整備については、敷地面積に限りがございますが、よりよい保育環境となるよう整備してまいります。	86
162	区立保育園の統合を含めた再整備 区立保育園の民営化	老朽化した区立保育園の改築推進は、園児や職員の安全を守り保育環境を整え職員の不要な負担を軽減してその分保育内容をより良いものにできる点で素晴らしい。しかし保育園の民営化推進については非常に不安。区の保育レベルの一貫性が保たれないこと。新規に保育事業に参入する民間業者には保育のベテラン職員が少なく、定着率も低いのではないかとと思われる。民間でできることは民間に任せるという考え方もあるが、特に、利益を重視せざるを得ない民間業者に任せないでほしい。	区立保育園の民営化については、『区立保育園民営化ガイドライン』を策定しており、区立保育園が提供してきた保育内容から低下を招かないよう、必要な期間の引き継ぎを行ってまいります。また事業者選定の際には、安定した保育が可能であるか、様々な項目による審査を行い、職員の一定数は経験者とするを要件とし、保育の安全性の確保をしております。	108
163	区立保育園の統合を含めた再整備	子どもの人数が減っているとすべきことは、保育園を減	区立保育園については、今後とも必要な職員数の確保に努め、	114

	職員体制	らすのではなく職員を増やし保育の質を上げること。公的施設として私立経営の補てん、災害時の相互補助など未来の住民に大きな責任をもっている。世田谷区に学んでほしい。	定員に余裕のある保育運営を行うことで、職員負担を軽減し、継続して働きやすい環境づくりに努めるとともに、災害時対応など、区立保育園の担う役割を果たしてまいります。私立保育園の経営については、空きスペースを活用した一時預かり事業や、未就園児の定期預かり事業等の事業を実施することや、保育園の多機能化に資する支援を実施することにより、保育園の機能強化を図ることによる経営の安定化ができるように努めてまいります。	
164	区立保育園の統合を含めた再整備 定員の見直し	公立保育園は減らさず、今のままで子どもの定数を見直すべきと考える。	公立保育園においては、定員を見直し余裕のある保育を行います。そのうえで必要な施設数を検討してまいります。	47
165	区立保育園の統合を含めた再整備 定員の見直し	認可保育園は、両親共働きで指数40点でも入園できない困難をたくさん抱えている。やむなく認可外保育施設（小規模保育、認証保育所、企業主導型保育、居宅訪問型保育等々）に預けざるを得ないのが現実。保護者の入園希望の第1位は公立認可保育園。公立保育園の質と量の確保を区民は望んでいる。	区立保育園は老朽化が進んでおり、改築するためにも仮移転先の確保など課題がございます。地域の保育需要を考慮し、必要な施設数の見直しを行う必要がございます。	49
166	区立保育園の統合を含めた再整備 定員の見直し	適正配置という表現で区立保育園を減らすのは反対。 出生数が少ない時だからこそゆとりをもって保育できるように改善をするべき。	区立保育園については、今後は定員に余剰が出た地域の定員の見直しを行い、定員に余裕のある保育運営を行うことで、働く職員の負担軽減、より安全な保育運営を行ってまいります。	110
167	区立保育園の統合を含めた再整備 基本方針策定	保育園の老朽化で建て替え民間委託していく考えだが、公立保育園の統廃合としか読み取	このたび基本方針の素案がまとまりましたので、広く区民のご意見を伺うためにパブリッ	118

		れない。このような考えは住民に納得いくような説明が十分にされていない。パブリックコメントの期間も短くこのような重大な問題については、区民への周知が徹底されていない。説明会を開いて区の考えを明らかにする必要がある。	クコメントを実施しております。説明会については開催する予定はございませんが、策定後の基本方針については、内容の効果・検証をしていく中で、必要に応じた見直しを行い、様々な保育ニーズに対応できるよう子育て支援の充実を図ってまいります。	
168	保育環境の整備 区立保育園の民営化	園庭があり、プール遊びができる環境を残してほしい。むやみに民営化せず、幼い子どもたちがゆったり過ごせる物理的な場所を残してほしい。	区立保育園は園庭やプールなど様々な魅力があり、私立保育園も含め区全体の保育施設をけん引していく役割をもつ必要がございます。いただいたご意見も参考にしながら、必要な区立保育園の施設数については検討してまいります。	22
169	区立保育園の事業展開 区立保育園の民営化	統括園等の構想自体については、次のフェーズに進もうとしており良いと思う。ただ、民営化は仕方のない部分があると思うが、一定数通常の保育を行う公立保育園を永続的に残さないと、公立が統括園・サポーター園のみになってしまい、「区立保育園がもつノウハウや情報を提供する」ことができなくなってくると思う。	区立保育園については、統括園6園、サポーター園13園のほか、一定数の園は区立保育園として継続していく予定でございます。	29
170	区立保育園の民営化	区立保育園の民営化とあるが、公立だからこそその良さが無くなる不安がある。区立は区立のまま残してほしい。	区立保育園については、今後とも区全体の保育園の核となる存在であるため、必要な施設数は区立のまま残してまいります。	17
171	区立保育園の民営化	今後の区立保育園民営化(民間活力の活用)にあたり、区立保育園ならではの良さを民営化したあとも引き継いで頂きたい。	区立保育園を民営化する際には、これまでの区立保育園の保育内容について、必要な期間をかけて引き継いでまいります。保育の質の低下を招かないよ	27

			う、民営化後にも区が関与し、適正な保育運営が行われているか確認してまいります。	
172	区立保育園の民営化	民営化について、財務上、上場されている業者が有利であるものの、保育士のレベルが区立保育園と変わらないサービスが提供できるかどうか違うと思うため、選定の際は、しっかりと情報公開をお願いしたい。	民営化のための事業者選定を行う際には、事業者の保育理念、人員配置、財務状況等、様々な項目から総合的に審査を行い、選定事業者については区ホームページで公表しております。	30
173	区立保育園の民営化	公設保育園の建替えにあたり民営化の方針には反対。すでに民営化された区立園もあるが、これ以上の民営化は質の低下を招くだけだと思う。 民営の保育園は利益重視になり、保育士の待遇や設備が最低ラインになっている園も散見される。一方、公設認可園は園庭や園内調理の設備も充実しており、保育者も公務員が多いため、経験も余裕もあり安心して預けられる。民営認可も全体の需要には必要だが、区立を減らしてあえて民営化を増やすことには反対。最低でも現状の公設区立園数は残すべき。	区立保育園を民営化する際には、区立保育園として整備した施設を使って、運営業務を民間事業者へ委託する形式をとりますので、設備は区立保育園と遜色ございません。また、区全体の保育の質を向上させるため、必要な数の区立保育園は存続させていきます。民営化に関しては、サービスや保育の質の低下を招かないよう慎重に進めてまいります。	33
174	区立保育園の民営化	民営化検討されているが、区立のままの方が給与含めた労働条件が良く、ちゃんとした人材が集まり質の高い保育が可能なのではと思うので、区営のままが良いと思う。保育園の先生は本当に頑張っているので給与を上げてあげて欲しい。民営化しなくて良いので、区立保育園に予算を振る区であってほしい。	国や東京都の補助金を活用し、保育士の処遇改善を図っており、引き続き、区立・私立を問わず、継続して働きやすい環境づくりに努めてまいります。	34

175	区立保育園の民営化	地方自治体の本旨は「福祉・社会保障の充実をめざす」ことであり、民間企業にゆだねる基本方針（素案）に反対。	区立保育園の民営化については、民営化後についても区が関与し、適正な保育運営が行われているか継続して確認してまいります。	37
176	区立保育園の民営化	現在ある保育園は絶対に委託をしないほしい。民営化は反対。	ご意見として承ります。	39
177	区立保育園の民営化	民営化には反対。区立の保育士は真面目で面倒見の良い方ばかりで途中でやめる人も少ないが、民間だと職員の入れ替わりが激しいと聞く。施設は古くても子どもたちを安心して預けられる環境が最優先。	区では、民間の保育運営事業者に対して、保育園職員への様々な処遇改善補助を行っております。引き続き、人材の安定的な確保も含め、民間事業者が適正な保育園運営を行えるよう努めてまいります。	40
178	区立保育園の民営化	民営化して人件費を減らし、職員が安心して働けるか心配。子どもたちが安心して健全な育ちを保障できるのは公立保育ではないか。	区立保育園の民営化については、民営化後についても区が関与し、適正な保育運営が行われているか継続して確認してまいります。	47
179	区立保育園の民営化	区立保育園の民営化や減らしていくのは反対。	ご意見として承ります。	48
180	区立保育園の民営化	民間ではなく区の保育園の充実を希望する。	ご意見として承ります。	54
181	区立保育園の民営化	民間で安あがりな保育をしようとする行政姿勢が許せない。安定してしっかり続けて働ける保障のある区立保育園は親や子どもの発達を考える上で重要。	ご意見として承ります。	55
182	区立保育園の民営化	民間保育園への委託はやめてほしい。	ご意見として承ります。	56
183	区立保育園の民営化	民間委託に反対。	ご意見として承ります。	59
184	区立保育園の民営化	品川区保育園の職員、関係者が作り上げてきた保育内容は素晴らしく、子どもが安心して通園し保護者が安心して就労で	区立保育園の民営化は、『区立保育園民営化ガイドライン』に基づき、必要な時間をかけて区立保育園の保育内容を引き継	62

		<p>きている。</p> <p>民営化することで、各園により保育内容に格差が生まれることが懸念される。職員の労働条件も厳しくなるのではないか。公立保育園の存続を希望。</p>	<p>ぎ、区立保育園の設備をそのまま活用し、運営業務を委託する形式をとります。保育の質の低下を招かないよう、十分な効果検証を行いながら民営化を進めてまいります。</p> <p>また区立保育園は今後とも区内保育施設の中核となる存在であるため、6地区の拠点園、13地区のサポーター園として機能・役割を持たせるほか、必要施設数の継続をしてまいります。</p>	
185	区立保育園の民営化	<p>区立保育園の民営化に反対。</p> <p>2022年11月15日付「エコノミスト」誌の論文では保育市場が縮小することが予測されている。企業は子どもの発達・福祉よりも利潤の増を求める組織であり、営業が縮小すれば倒産する場合すら起こる。</p>	<p>区立保育園の民営化については、必要な時間をかけて区立保育園の保育内容を引き継ぎ、区立保育園の設備をそのまま活用し、運営業務を委託する形式をとります。選定した民間運営事業者については、運営後の経営状況を確認し、公設民営保育園の財務情報等は区ホームページで公表しております。また処遇改善に対する補助を行い、賃金改善が図られているか確認しております。</p> <p>民営化後についても、保護者アンケートの実施、保護者代表・事業者・区による定期的な三者協議会、給食内容の確認や巡回指導など、適正な保育が行われるよう継続して確認しております。</p>	64
186	区立保育園の民営化	<p>区の方針には反対。保育園は民間委託ではなく区が中心となる方向で検討してほしい。</p>	<p>区立保育園は今後とも区の保育の中心としての役割・機能をはたしていく存在として、必要施設数存続させる方針でございます。</p>	72

187	区立保育園の民営化	民営化は心配。安心して子供たちを預けられる体制はやはり公営。区立保育園削減は反対。	ご意見として承ります。	79
188	区立保育園の民営化	民営化でも運営には責任をもって行政として指導するシステムを作るべき。	区立保育園の民営化は、『区立保育園民営化ガイドライン』を策定しており、民営化後についても、保護者アンケートの実施、保護者代表・事業者・区による定期的な三者協議会、給食内容の確認や巡回指導など、適正な保育が行われるよう継続して確認していきます。	88
189	区立保育園の民営化	将来を担う子どもたちのためにも今まで積み上げてきた保育を守るべき。民営委託は絶対に止めてほしい。	ご意見として承ります。	90
190	区立保育園の民営化	建て替えにより民営化にすることには反対。なぜなら、区立園としての役割があるから。	区立保育園の役割・機能を果たせるよう、必要施設数は区立として継続させる方針でございます。	92
191	区立保育園の民営化	人権を保障することこそが、地方自治体の責務（住民の福祉の向上）であり、保育の公的責任を後退させる「公設民営化」は断じて許すわけにはいかない。	ご意見として承ります。	93
192	区立保育園の民営化	保育園の民営化は全体的な動きだと思うが、民営化ではなく品川区は保育の中心となるべく、公立保育園に入りたい子どもを受け入れる施設づくりなど、新しい施策をすべき。	区では延長夜間保育や休日保育、区独自の乳幼児の一貫した保育・教育を行う幼保一体施設など、他自治体に先駆けて子育て支援の充実を図ってまいりました。今後とも既存事業を見直し、多様な保育ニーズに対応できる新規事業を実施してまいります。	94
193	区立保育園の民営化	「子どもの最善の利益」を考えるならば、近々で対策をすすめてはいけない事がたくさんある中で、区立保育園を民間	ご意見として承ります。	95

		に委託する計画は順番違い。		
194	区立保育園の民営化	公立保育園を民営化に進めていく方針には反対。方針の目的である区全体の保育園の保育の質の維持や向上は達成できない。	公立保育園の民営化については、これまでの保育内容を継続させるために必要な期間の引き継ぎを行います。民営化後についても、区が関与し、適正な保育運営を継続していけるよう努めてまいります。 今後は公立保育園が中心となり、拠点園6園、サポーター園13園の各地域ごとで、私立保育園、その他関係機関とも連携をとり、区全体の保育の質の維持・向上を図ってまいります。	96
195	区立保育園の民営化	子どもの人数減少なら、なおさら、営利目的の民営化ではなく、品川区として運営してほしい。	ご意見として承ります。	106
196	区立保育園の民営化	国・地方自治体が責任を持って子どもの成長発達を保障していくことが大切。営利目的の民間委託ではなく、公立保育園を増やし安心して親が働けるようにしてほしい。	ご意見として承ります。	109
197	区立保育園の民営化	民間は利潤追求で、子どものための保育は考えていない。絶対反対。	ご意見として承ります。	113
198	区立保育園の民営化	公立保育園は保育士の労働条件や保育園の環境などがある程度保障されており、子どもを安心して預け仕事を続けることができる。民営化にするという方針には反対。	公立保育園の民営化については、公立保育園の設備をそのまま活用し、民間事業者にも運営業務を委託する形式をとっております。事業者選定の際には、様々な項目により審査を行い、安定的に保育園運営の可能な事業者を選定しております。選定した民間運営事業者については、運営後の経営状況を確認し、公設民営保育園の財務情報	116

			等は区ホームページで公表しております。また処遇改善に対する補助を行い、賃金改善が図られているか確認しております。	
199	区立保育園の民営化	独身の時から保育所作りのために、働く女性のために頑張っている、公立どころか保育園に入れるかどうか心配するような現状、兄弟別々の保育園に入れられるなど、区の作った保育園を民営化したり廃園にしたりして、岸田首相は「子ども政策」を最重点にしながらビルばかりの大井町にして保育園の民営化などとんでもないこと。	公立保育園については、品川区の保育の中核を担う存在であり、拠点園6園、サポーター園13園のほか必要数存続していく計画でございます。そのうえで、今後の様々な子育て・保育ニーズに対応していくためには、私立保育園も含め区全体で取り組んでいかなければならないと認識しております。本方針では、これら区立保育園が中心となり、区全体の保育の質の維持・向上を図り、保育を必要とするすべての子育て世帯への支援を充実させていくものでございます。いただいたご意見も参考にして、公立保育園の果たすべき機能・役割を検討し、より子育てのしやすい品川区となるよう努めてまいります。	117
200	区立保育園の民営化	公設民営化が増え、設置者を運営業者へ変更するのには反対である。	今後とも区立保育園は区の保育の中心となっていく必要があると認識しております。区立保育園の機能・役割を果たすべく、必要数は存続させ、私立保育園も含め区全体の保育の質の維持・向上を図ってまいります。	123
201	区立保育園の民営化	民営化には反対。園庭もなくし運営のみに注力しても子どもたちの環境が良くなる気がしない。限りある資源の中でどれ	区立保育園の再整備の際には、限られた敷地面積で必要な保育スペースなどを確保する必要がありますが、整備の際に	124

		だけ良い環境を子供たちに与えられるか、公営で地域一丸となって見守るべき。	は園庭の確保等、よりよい保育環境となるよう努めてまいります。	
202	区立保育園の民営化	子どもの人数減少なら、なおさら営利目的の民営化ではなく区として運営するべき。民営化に反対。	ご意見として承ります。	125
203	区立保育園の民営化 区立保育園の充実	保育を企業に委ねるのは反対。公立保育園を確保し、内容の充実を求める。	ご意見として承ります。	82
204	運営内容	保育園の様子がもっとわかるように、写真や動画を積極的に活用してほしい。	これまでも保育園では様々なICT化を検討し進めてまいりました。保育園運営の記録の電子化等については、運営業務の中で保育士の負担も考慮し、保護者への連絡方法については時代に合わせたより利便性の高い内容を検討し、活用してまいります。	10
205	運営内容	きょうだい児が登園できない場合、元気な子どももお休みしなければいけない対応はやめていただきたい。	保護者の方がご家庭で保育可能な場合は、保育園での受け入れは行っておりませんが、きょうだい児の看病のためや、そのほかりフレッシュ等も含め、保護者が就労していない場合でもお預かり可能な施設・事業を検討してまいります。	10
206	運営内容	第一希望や第二希望にしている区立保育園の統計を取り、区立保育園の評判が良い(人気のある)保育園に、他の保育園が合わせるのはどうか。また、私立保育園は区立保育園と同等の運営ができるか、予算や人材確保について確認が必要である。	区立保育園においては、区内6地区ごとの「統括園」、また13地区ごとの「サポーター園」を設定し、区立・私立問わず、区全体の保育の質を維持・向上させ、どこの保育園に通っても一定の保育が受けられるよう機能整備を行ってまいります。保育園での第三者評価における利用者からのアンケートなども参考にしながら、子育てしや	15

			<p>すい品川区となるよう努めてまいります。</p> <p>また、私立保育園においては、国、都および区からの運営費補助が適正に使われているか、巡回指導を行うなど確認を行ってまいりました。適正な運営が行われているか継続して確認を行ってまいります。</p>	
207	運営内容	<p>全体では余裕のある保育定員になっているが、地域によって定員割れが発生している。定員割れが発生している保育園は、その原因を調査し改善すれば、保活競争の激化を防ぐことができるのではないかと。例えば原因が自宅から園までの距離にあれば、区立や私立関係なく、園が連携した送迎サービスがあれば園を選択する範囲も広がり競争が和らぐのではないかと。</p>	<p>保育園がより利用しやすい施設になるよう各地区の施設数、保育サービスを検討してまいります。</p>	18
208	運営内容	<p>現在、子どもを通わせている台場保育園のような園が増えてほしい。台場保育園が良いと感じた理由は、小学校や幼稚園との連携事業がある、土の園庭や遊具、砂場がある、屋上で水遊びができる、プールができる、非常勤の職員もおり、保育士の数に余裕がある印象を受ける等である。5年間通わせて間違っていなかったなと思う。</p>	<p>今後は、区立保育園の再整備を行うことで、区内全体の保育の質を向上させ、保育士が働きやすい環境づくりを構築していき、多くの利用者に満足していただける保育園を目指してまいります。</p>	23
209	運営内容	<p>品川区にある大きめの駅に預かりステーションのような場所を作り、各園に送迎する取組みがあれば、子育て世帯の負担が減ると思う。</p>	<p>他自治体の行っている預かりステーションなども参考にし、すべての子育て世帯の育児負担を軽減し、お子様を預けることのできる仕組みを検討し</p>	24

			てまいります。	
210	運営内容	コロナ禍やインフルエンザなどの感染拡大の対策で地域向けの行事や子育てサロンなどもここ数年実施されていないが、児童館だけでなく、保育園やオンライン等で交流や子育て情報の発信等がされると良い。	コロナが5類感染症に移行となり、地域が参加可能な子育て支援事業も通常に戻ってきているところでございますが、オンラインでの開催なども含め、今後とも充実を図ってまいります。	24
211	運営内容	2人目以降の育児休暇の際、上の子の在園資格について、下の子が1歳になる年度末ではなく、育児休暇中は制限を無しにしてほしい。	育児休業中の保育園利用について、子育て世帯の負担軽減につながる仕組みとなるよう見直す際のご意見として承ります。	25
212	運営内容	現在の公立保育園の内容全体を検証することが必要ではないか。非正規雇用の保育士が増えていると聞いているので、正規職員で運営する、また保育士の配置基準を見直し、子どもたちにとっても保育士にとってもゆとりのある保育になるよう区で助成する、など	区では、これまでも保育士の正規職員確保に注力してまいりましたが、足りない人材を派遣や非常勤職員を活用しております。職員採用については、人事部門とも連携し、よりよい人材を安定的に確保できるよう選考方法などを見直しを行ってまいります。	46
213	入園申請	年度途中での入園は、復職したい時期に復職できるよう、年度途中の入園が容易になるよう検討してほしい。	子育て世帯によって、職場復帰や保育園に預けたい時期は様々であると認識しております。今後の定員を見直す際には、途中入園のご希望など、急な保育需要の増加にも対応できるよう、定員の設定を行ってまいります。	12
214	入園申請	現状、育休を一年以上取得することが入園予約の要件となっているが、短期間での育休であっても入園予約ができるよう入園予約制度を緩和してほしい。	入園予約制度に関して、より良い制度となるよう見直す際のご意見として承ります。	12
215	入園申請	きょうだいがいる場合には、同	きょうだい児や多胎児で同じ	24

		じ園であれば、送迎の負担がないため、きょうだい枠のような形で定員を臨機応変に対応していただけるとありがたい。	園への入園を希望する場合は、調整指数により加点しているところがございますが、今後とも子育て世帯の育児負担を軽減し、お子様を預けることのできる仕組みを検討してまいります。	
216	入園申請	在籍数に対して定員数が充足していることは理解したが、多子家庭において、複数の子どもが同じ園に入れるような加点も検討頂きたい。	きょうだい児や多胎児で同じ園への入園を希望する場合は、調整指数により加点しているところがございますが、今後とも子育て世帯の育児負担を軽減し、お子様を預けることのできる仕組みを検討してまいります。	27
217	入園申請	保育園に入るハードルが高い。もっと働きたくても保育園に入らないと仕事ができない現状や働く意思がある人への保育園利用の加点、子どもが3人以上いる人は無条件での入園などを希望。子育てしている人が働きやすい環境を整える等保育園の入園基準や加点方法を見直してほしい。	きょうだい児や多胎児で同じ園への入園を希望する場合は、調整指数により加点しているところがございますが、今後とも子育て世帯の育児負担を軽減し、お子様を預けることのできる仕組みを検討してまいります。	41
218	入園申請 ※217 と同内容	保育園に入るハードルが高い。もっと働きたくても保育園に入らないと仕事ができない現状や働く意思がある人への保育園利用の加点、子どもが3人以上いる人は無条件での入園などを希望。子育てしている人が働きやすい環境を整える等保育園の入園基準や加点方法を見直してほしい。	きょうだい児や多胎児で同じ園への入園を希望する場合は、調整指数により加点しているところがございますが、今後とも子育て世帯の育児負担を軽減し、お子様を預けることのできる仕組みを検討してまいります。	42
219	入園申請	認定こども園も魅力的だが数が少ない。入園基準年齢が2年保育枠のため、せめて3歳児か	区立の認定こども園や、区独自の施設形態である幼保一体施設については、今後の保育・教	41

		らともう少し広げてほしい。	育ニーズ合った形態になるよう検討してまいります。	
220	オアシスルーム	オアシスルームについて、保育園在園児も利用可能にしたい。	オアシスルームは就労されていない子育て世帯のリフレッシュを目的とした施設であり、現在の施設数等を考慮すると保育園在園児の利用は難しい状況ですが、今後は就労している方でもリフレッシュ目的で利用できる施設や事業等、多様な保育ニーズに応えられるよう、子育て支援の充実を図ってまいります。	2
221	オアシスルーム	オアシスルームはあるが、2019年当時、予約開始とともにすぐに一杯になり、利用したくてもできないストレスを感じた。保育園に内定するとオアシスルームが使えないことも変だと思う。復職前に準備しないとイケないことがたくさんあって一番忙しくて不安な時期こそもっと預かってほしかった。親が遠方の核家族が多いと思うので、親戚や家族が近くにいないくても、町全体でサポートしてくれる温かさが感じられることがあるさらによいと思う。	オアシスルームについては、より多くの方にご利用いただけるように拡充を図ってまいります。また今後は、オアシスルームに限らず就労している保護者のリフレッシュ目的等でお子様を預かることのできる施設・事業を検討してまいります。	65
222	幼保一体施設	幼保一体施設を増やしてほしい。保育園、幼稚園それぞれの良い部分を持った施設が増えれば、その地域で子育てをしたいと思う家庭が増えるのではないか。	多様な保育ニーズに応じた幼保一体施設となるよう、今後の保育・教育内容の充実のためのご意見として承ります。	14
223	教育・学習の充実	早くから英語に慣れると、グローバル社会に強い子どもが育つと考えることから、週1回ネイティブ・アメリカンの講師と	区立保育園が中心となって、区全体の保育の質の維持・向上を図っていく中で、いただいたご意見も参考して、特色のある保	4

		遊ぶ時間を4歳児から取り入れるのはどうか。また、区立保育園で実施することで、区の特色として打ち出され、継続的に子育て世帯が品川区に住み続けるようになるのではないか。	育を実現させてまいります。	
224	教育・学習の充実	英語教育や体操等の教育重視の保育園または幼稚園は、私立として特徴のある施設を開設してもらいたい。	私立保育園・幼稚園は、事業者ごとに特色のある保育・教育を打ち出していることが魅力でもあります。今後とも、多様な保育・教育ニーズに応えられるよう、民間事業者への支援を継続してまいります。	20
225	情報・セキュリティ	各機関の情報連携、担当者間の情報連携が縦割りなので、同じシステムを各施設で閲覧できる仕組み、個人情報に対するセキュリティの確保が実現できるよう希望。	すべての子育て家庭への支援には、関係機関との連携が必要不可欠であると認識しております。個人情報の厳正な管理および必要な情報共有・連携がスムーズにできる仕組みを検討してまいります。	99
226	情報・セキュリティ	安全対策のために ICT 技術を活用し、保育現場の見守りをリアルタイムで情報共有し、事故の低減を図ってほしい。	区では ICT 化も活用し、保育現場での見守りの強化を図っているところでございます。報道にあるような痛ましい事故が起きないように、今後とも必要な対策を検討してまいります。	129
227	その他	産後ドゥーラについて、上限時間数の上乗せを希望する。第二子以降で出生時にすぐ上の兄弟が3歳以上の場合、上限時間数が20時間だが、60時間または最低でも40時間程度にしたい。	産後ドゥーラに関して、より良い制度となるようご意見として承り、子育て支援の充実を図ってまいります。	12
228	その他	放課後デイサービスの数が少ない。放課後デイサービスを設立しても区の支援や発信が少ないため、その施設を知らないことが多い。送迎してくれる施	放課後等デイサービスについては年々増加しており、令和6年2月現在で25か所開設しました。開設後、各事業所の情報につい	13

		設が本当に少ない。発達遅延や重症心身障害児の場合、送迎がないと利用は現実的ではない。また、もう少し品川区の放課後デイサービスにおいて設立の支援をしてほしい。	て区のホームページやしおりに掲載し発信しております。また、重症心身障害児の放課後等デイサービスは区内に2事業所あり、いずれも送迎はございます。重症心身障害児事業所向けの支援として「品川区障害児通所支援事業運営補助金」という補助制度があり、一定の条件を満たしていれば最大500万円の補助を受けることができます。今後も開設の状況や国の制度についての動向をみながら、事業所へ支援してまいります。	
229	その他	もう少し、品川区の放課後デイサービスにおいて設立の支援をしてほしい。		13
230	その他	電波塔付近の建設を避けたほうが良い。周辺でADHDやLDの子どもが増えていると聞き、心配である。	子どもが健康で安心して保育園生活を送れる施設となるよう、保育園整備の際の参考ご意見として承ります。	15
231	その他	大井町再開発や区や都による子育て支援政策が増え、これから区外からの子育て世代の流入が見込まれると思う。駅周辺の保育施設やサービス、道路・公園等の環境整備を積極的に実施してほしい。子育て世帯の動線を考慮した自転車道や歩道の整備があるとより良い。	再開発計画など人口増加が見込まれる場合は、区として必要な子育て支援策や環境整備を検討してまいります。	18
232	その他	小中学校の整備も見直してほしい。特に給食はさらに充実させてあげてほしい。	小中学校の整備については、今後もさらなる支援の充実のため、ご意見として承ります。	18
233	その他	現在、区立保育園を利用させていただいているが、当初のイメージは放牧的な感じかと思っていたが、実際通わせてみると、屋内外で毎日色々な遊び方を行っていただき、丁寧で手厚い保育をしてもらっていて感謝	引き続き、より多様な保育ニーズに応えられるよう、子育て支援の拡充を行ってまいります。	19

		している。提案は特にない。		
234	その他	絶対反対	ご意見として承ります。	50
235	その他	反対	ご意見として承ります。	51
236	その他	反対	ご意見として承ります。	52
237	その他	反対	ご意見として承ります。	53
238	その他	品川区の子育て施策を後退させることのないようお願いしたい。	基本方針を策定することで、品川区の子育て施策のさらなる充実を図ってまいります。	75
239	その他	外国人は増えているような印象があるのに、それに対する対策に対して記載がなかったことが気になる。	外国籍の方など日本語でのコミュニケーションが困難な方のため、区立保育園では音声翻訳機を全園に導入しております。今後とも多様な世帯に配慮した園運営を行えるよう、ICTを活用するなどサービスを充実してまいります。	98
240	その他	本意見募集はコドモンでの案内で知った。良い取り組みだと思う。 働いていると、なかなか区報・ウェブサイトを読覧することがないので、今後もコドモンで情報を発信してもらえるとありがたい。	区立保育園では、保育園業務支援システムなどを積極的に活用していき、今後とも保護者の利便性を高めてまいります。	105
241	その他	保育園卒園から小学校入学式までの間、仕事を休めないため、そのまま区立保育園で預かってほしい。他に対策があれば教えてほしい。	保育園では卒園式後も3月末までは保育園でのお預かりが可能です。4月以降は新たな新入園児の受け入れもあり、すまいるスクールのご利用をお願いしております。	107
242	その他	新年早々に能登の地震があった。東日本大震災でも区立保育園を提供した例もあった。災害時には大きな役割を発揮し地域に活用することができる。区民の財産として公立保育園のあり方を再度住民と共に考えて欲しい。	現在においても区立保育園は、災害時の補完避難所としての役割を有しており、緊急時の対応については、引き続き防災部門とも連携し検討してまいります。	118

243	その他	<p>日本社会には「子どもの貧困」が拡がり（全児童の16～17%）品川区も同様の傾向があり、保育園の社会的役割を考慮すれば企業任せの施策は必ずや『失政』との評価を受けることになりましょう。</p>	ご意見として伺います。	122
-----	-----	--	-------------	-----

2. 意見原文（表現を一部修正）

意見番号	意見原文
1	<p>現在年中クラス（24, 5人）に担任1人という体制ですが、担任の先生の負担が大きく、結果、子供の保育環境の質が保たれなくなる恐れがあることを危惧しています。</p> <p>以前（5年前）は年中クラスに担任2人体制でした。</p> <p>少なくとも、20人以上になると担任2人は必要と考えます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
2	<p>仕事が平日休みですが、保育園以外の預け先がないため、リフレッシュとして利用可能なオアシスルームを、保育園児も可にしていきたいです。</p> <p>育休中の方は17時まで預けられるのに、仕事が平日休みの人は、平日に預けられないことに、不公平感を感じております。</p>
3	<p>「こども誰でも通園制度」を施行する前に、今現在保育園に預けているこどもや、その保護者が安心して保育園へ通える施策を考えてほしいです。</p> <p>特に、保育園は、親が仕事の時のみ（通勤時間+勤務時間）しか預けられません。また、オアシスルームなども利用できません。（保育園へ通っているこどもは対象外ですね）オアシスルームや、こども誰でも通園制度を利用する保護者の方は、ご自身の用事やリフレッシュにもこどもを預けることができますが、保育園へ預けている（仕事をしている）親は、自身の用事やリフレッシュで保育園に預けることができないので、不公平を感じます。保育園へ通えるだけありがたいと思われているみたいで、息苦しくなることがあります。働いているママも、程よくリフレッシュして、心に余裕を持った状態で、育児に望みたいです。</p>
4	<p>保育園を利用させていただきありがとうございます。保育園利用で実感していることを記載させていただきます。</p> <p>1人目が保育園利用したのは9年前、その年、さらに翌年と待機児童、保育園落ちたなどをたくさん聞きましたが、2人目入園の4年前には待機児童、保育園落ちたという話はほとんど聞かなくなりました。</p> <p>生活していても保育園が足りている実感はあるためある程度の保育園を閉園、統合することはいたしかないと思います。</p> <p>現在の保育園では発達障害であろう子がいて、先生が付き添っているのをみます。最近ではそういったお子さんも増えているように感じます。区立園で園児の人数が減少している分、先生たちにゆとりがあるのなら少し付き添いが必要な子の受け入れを増やしたりすることはいい事なのではないかと考えました。</p> <p>また、今は就学前から習い事などもさせている家庭が多いがお金にゆとりがある人がやっているから学力の差が小学校前からはじまってしまうと感じている。認証保育所では習い事を保育時間に受けれるところもあると聞いている。提案としては耳が良く早くから英語になれるとグローバル社会につよい子が育つと考え週一回ネイティブ・アメリカンの講師と一緒に遊ぶ時間を4歳児クラスから取り入れる 区立園で行う事で品川区の特色としてうちだし、継続的に子育て世代が品川区に住んでくれるようになるのでは</p>

	ないかと思えます。
5	<p>区立保育園に通わせていただいているが、保育の質などに関して大変満足しています。今後の方針として、定員に余裕がある状態だと保育園の先生の労働環境の改善にも繋がりが、かつ保育の質向上にも寄与するものと考えています。</p> <p>未就学児数の減少に伴う形で、保育園や先生の数をもっと減らすのは良くないのではないかと（区立保育園に関しては現在の規模を維持し続けるのが良い）と感じています。</p> <p>（もし余裕が今後生まれるのであれば）各区立保育園に病児・病後児用の部屋を必置として、子供が病気などになっても同じ保育園にそのまま預けられる仕組みがあると大変ありがたいです。</p>
6	<p>保育園の空きは余裕があるように数字では見えるが、今年の4月に0歳で入園した時は、最寄りの保育園は定員が毎年いっぱいなので、1歳まで自宅で保育していたら入園出来る見込みがなかった為、6ヶ月で入園せざるをえなかった。</p> <p>職場復帰する時期は人によってまちまちだが、多少の空きが無ければ希望する時期に復職や入園は出来ないのでは、余裕を持った定員でいて欲しい。</p> <p>また、自宅で保育している時期はどうしても家に閉じ込められて孤立しがちなので、保育園に通っていない子供があずけられる施設が増えるのは素晴らしい事だと思う。</p>
7	<p>就労による保育園利用をさせて頂き大変助かっているのですが、一時保育ではリフレッシュ目的で利用出来るのに、就労では保護者がどちらか1人でも休みの場合は預かれないというのが不思議に感じております。</p> <p>例えば有休を取って病院や歯医者に行く際に、私は年子で1歳と2歳の子供2人なので帯同では病院側にも迷惑を掛けるため難しく、保育園にお願いして了承してもらいました。（基本的には出来ないと言われました）</p> <p>周りに聞いたら有休を取る事を伏せている人が多く、就労者のリフレッシュはいけない事のような扱いになっているのが精神的に辛く感じます。</p> <p>就労者は仕事と育児で休む暇がありません。</p> <p>区立保育園も、「この日は会社ではなく〇〇にいます」というような報告をする事で預かって頂けるようにして頂きたいです。</p> <p>（私立保育園の就労利用者に確認したところリフレッシュ利用OKと聞きました）</p>
8	<p>0歳児親です。各地区の保育園の定員に空きがあることが強調されています。定員の余剰があることと、年度途中など子どもを入れたいタイミングで近所の日々の生活がスムーズにできる環境の保育園に入園させられるか、には大きなギャップがあるように思いますが、現時点では品川区の保育園は親が保活の心配をせず、安心して自分のキャリアと子どもの様子を見て一番にいいタイミングで入園させられるような状況にないと思います。そのなかで再編・統合を進めていくのは、区民としては不安があります。</p> <p>2人目などを考えようにもまた生まれ月によっては、1人目以上に保活を頑張らなければいけないのかと思うと迷いが生じます。一般財源などを投入してももう少し余裕をもたせた運営を進めていけないでしょうか。</p> <p>加えて、再編の方向性として、区立保育園の機能分化を進めるようですが、素案からは、</p>

	<p>なぜこのような形での機能分化が最適なのかメリット・デメリット、保育士の数等も余裕があるようにも見えないのに現状保育園に通っている子どもたちにはどのような影響があるのか、といった基本的な論理が書かれていませんで、疑問に思いました。</p> <p>またこの素案の議論の経緯を見ようと委員会メンバーの構成やこれまでの議論の議事録などをさっと探しましたが、すぐにみつかりませんでした。通常総合計画等では、審議体制や簡単な議論の経緯も掲載される自治体が多いと思いますが、もう少し文書を整えてパブリックコメントにかけていただけると精査できるのでお願いしたいです。</p>
9	<p>区立保育園利用者です。今現在、保育園を利用している親のリフレッシュ、上の子だけとの時間の確保などは許されません。保育園の存在意義の前提は、親が勤務して働いて、子どもを見られないから預けていい、ですよ？税金を納めて頑張っている共働き世帯のリフレッシュなどは許されないのに何故、保育園に通っていない人のリフレッシュなどに区立保育園が使われなくてはならないのでしょうか。保育士さんも大変だと思います。詳しくは存じませんが給料も高くはないとニュースなどでやっていますよね？それなのになぜ？</p> <p>全く賛同できません。このような大々的な改革をする前に、利用者の親のことを考えてもらえませんか。遊びたい、サボりたいというわけではありません。働いていない人のリフレッシュは許されるのに共働き親のリフレッシュなどをもう少し緩くするなどがあってからではないでしょうか。税金を納めていないのに、という不平等感がすごいです。</p> <p>小池さんもようやく働いて税を収めている人たちの罰が今まであったと気づき、働く親へのケアを考え出してくれました。区全体から言えば親は働いていようがまいが親でしょうが、働く親の自由などがなく働いていない人のリフレッシュを考えるのは全く理解できません。せめて下の子を預け上の子だけと出かけるなどを許容してほしい。風邪のときも基本それは許されないのにリフレッシュ???何が大事なのですか？</p> <p>保育園非利用者には親のリフレッシュも大事、保育園利用者は子どもとの時間と仕事だけを大切にしないでほしい、なのですか??</p>
10	<p>写真や動画を積極的に導入してほしい。</p> <p>保育園に通うということは0歳から6歳まで1日のほとんどを過ごします。</p> <p>未就学児の成長は大きく、そのほとんどを保育園で過ごします。</p> <p>その様子を連絡帳や行動だけではなく写真や動画でも知りたいです。</p> <p>幼児クラスになると連絡帳は廃止されるし、お迎えに行っても担任でなければ「元気でした」と言われるだけです。</p> <p>おしゃべりが得意ではない子どもだと「今日うちの子は保育園で何をしていたのか」全然わかりません。もっと保育園の様子がわかるようにしてほしいです。</p> <p>また、きょうだいで登園できないと元気な子までお休みしないといけないのはやめてほしいです。</p>
11	<p>推定される未就学児の人数に応じて保育園の数等を縮小する方針は基本的に賛成ですが、減らしすぎないようにして頂きたいです。マンション建設に伴う区外からの人口の</p>

	<p>流入等もあり得ます。減らしすぎることによってその際の未就学児の行き先が無くなってしまいうことが最も懸念されます。また、区立保育園に私立保育園の急な閉園等に対応するためのバッファ機能を持たせるとのことですが、そのために区立保育園の保育者の数を多めに確保されることはいかがでしょうか。保育者の疲弊が社会問題化していることもあり、ご検討頂きたいです。</p>
12	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年度途中での保育園入園が、現状では実質不可能に近い。復職したい時期に復職できるように、年度途中での入園がもっと容易になるようにして欲しい。年度途中で入れないのは、各園での4月時点での充填率が、入園予約を除くとほぼ100%になっているためと推測する。待機児童ゼロだとしても、地域での保育キャパシティに余裕が足りていない場合、もっと保育所を増やしたり定員を増やしたりする必要がある。余った定員分は、一時預かりとして、復職前のお母さんがスポットで子供を預けられるようにすれば良い。 2. 入園予約制度の利用条件を緩和してほしい。現状では、育休を一年以上取得することが入園予約の要件となっているが、もっと短い育休期間でも予約できるようにしてほしい。人によるのかもしれないが、一年もの長期にわたって職場を離れることを望んでいないケースもある。数ヶ月からでも入園できるようになれば、産後の女性の労働参画をより促すことにつながる。 3. 産後ドゥーラの補助対象時間の上乗せを希望する。すぐ上の子が3歳以上の場合に20時間となっているが、3歳未満の場合と同様に60時間程度、少なくとも40時間程度は確保してほしい。20時間では、一回3-4時間として5-7回で尽きてしまう。週に1-2回を3ヶ月お願いするとしたら40-90時間来てもらうことになる。 4. (都や国に要望すべきかもしれないが、)待機児童対策として呼べるベビーシッターの数をもっと増やして欲しい。年後半になると、定期で呼べるシッターさんがどの派遣業者でも見つからない。補助としては十分な時間が確保されているが、シッターさんがいない以上、補助も使えなくなってしまう。 5. 近所の保育園の一時預かりをお願いしたかったが、その保育園は大田区にあるため利用できないというケースがあった。難しいかもしれないが、近隣の区と連携して、区を跨いだ一時預かりの利用ができるようにしてもらえると、より便利になると思う。
13	<p>障害児を育てるのがつらい。放課後デイサービスの数が少ない。</p> <p>障害児の幅が広すぎて、少し個性が強いレベルと、自閉症と、発達遅延と、重心で子供の発達もだいぶ差があるのに障害児で一括りにされてしまっているのが実際オムツが取れてないけど重心ではない場合に入れる放課後デイサービスが少ない。</p> <p>放課後デイサービスを設立しても区役所の支援や発信が少ないのでその施設を知らないままになってしまっていることが多い。</p> <p>働いていると送迎が必須だが送迎してくれる施設が本当に少ない。</p> <p>発達遅延や重心の場合送迎がないと利用は現実的ではない。</p> <p>もう少し品川区の放課後デイサービスにおいて設立の支援をしてほしい。</p>
14	<p>幼保一体型の施設を増やしてほしい。共働きで幼稚園のお迎えの時間に間に合わない、</p>

	<p>毎日お弁当が作れない、夏休み冬休みの預け場所がないけれど幼稚園の教育機関としての機能を享受したい共働き層はとて多いと思います。保育園と幼稚園のそれぞれの良い部分を持った機関が増えてくれればその地域で子育てをしたいという家庭が増えるのではないのでしょうか。</p> <p>また、区立の保育園の先生の「保育園は働いている間に預ける場所なのだから働いていない時間は預けないで」という意識はそろそろやめたほうがよいのではないのでしょうか？きちんと就業状況も申請して認めていただけて預けさせていただけるのにその範囲内で起こるイレギュラーに厳しすぎるのはなぜなのでしょう。例で言うと、私の会社が品川区内にあり、子供を預けた後にそのまま会社の必要書類を区役所へ申請しに行くことを世間話の一環で先生にお伝えしたところ、「その場合はお子さんを連れて行ってほしい」と言われました。その時は先生が私の個人的な書類だったと勘違いされたようで誤解は解けたのですが、そもそも本来預かっていた時間に何かをする場合子供を同行させることはそこまで徹底しなければならないことなのか？と疑問に思いました。常々、先生方の「保育園は【就業中】に子供を預かる場所」という意識が徹底しているとは思っていましたが（もちろん、本来そうなので間違っていないのですが）、いつまでこんなに共働きの家庭に厳しくするのだろうかと思ってしまいます。土日は家族で過ごして、平日に有休をとって一人で自由な時間を過ごしたい場合はお金を払って子供をどこかに預けなければならないのでしょうか。取得した有休で子供と遊ぶのも一人で区役所に行くのも美容院に行くのもリラックスするのも働く人間の権利なのに、本来働いている時間に権利内でお休みをいただいて、そこでは子供を預かってもらえないというのは時代に即しているのかな？と疑問です。それはもちろん子供を預かってもらっている保育園の先生にとっても同じで、先生方は私達よりさらにその意識が徹底されていると思うので下手をしたら結構な監視社会なのではないかと思ってしまいます。独身の人は有休を自分のために使えるけれど、子育てしている人はそうではないのはおかしいと感じます。そろそろ保育園の有り方を考えてもいいのではないのでしょうか。</p>
15	<p>品川区の区立園の評判がいい保育園（人気のある保育園）に他の園が合わせる。（第一希望・第二希望にしている区立園の統計を取る）</p> <p>私立園は区立園と同じような運営ができるのか、予算及び人材確保を確認する必要がある。⇒子供3人を私立保育園と区立保育園に通わせました。園それぞれ園長先生の方針で環境が変わるのだと思いました。</p> <p>私立保育園の場合、株式会社での運営が多く利益がないと運営がまわらないため、おもちゃの買い替えもできず、給食も季節ごとのフルーツがない状態でした。尚、先生の質にも問題があり、子供にトイレに行くことを禁止し、膀胱炎になるようなこともありました。（膀胱炎になりそうな子供が親同士の聞き込みだけで下のクラスを含め10人弱いた状態です）園長先生に話し合っても、改善するつもりはない様子の為転園しました。毎日泣きながら通っていた保育園が、転園してから毎日行きたい保育園に変わり、園の対応や環境、近隣の親の口コミがとても大事だと感じました。</p>

	<p>子供の減少＝引越したご家庭のご意見・・・コロナの時期で、品川区は遊ばせる場所が少なく賃料や税金が高いと話しての方は9割お引越されていました。</p> <p>電波塔付近の建設を避ける⇒周辺でADHDやLDの子供が増えていると聞き心配になった。</p> <p>個人的に、品川区は子育てしやすい区として、とても頑張っている区だと思っております。何よりも対応がとても早く、常に変化し続けることが素晴らしいと思います。保育園のことも、こうしてアンケートを取って頂けることが有難いです。転勤で離れることも時々ありますが、いつでも戻ってきたい区、ずっと住みたい区でありたいと思います。今後とも、引き続き宜しくお願い致します。</p>
16	<p>医療的ケア児を区立園をメインで受入れていく旨は大変良いと思いますが、現在実際に医療的ケア児を通わせている者としては、延長保育や土曜通園などは不可など制約もあると感じています。健常のお子さんと同じサービスを受けられるようになってほしいと思いますが、インクルーシブな面で受入を増やしていくのかどうか、そのあたりの方向性がもう少し謳われるとよいのではないかと感じました。</p> <p>また、医療的ケア児受入拡充に伴い、必然的に病児保育のニーズも今後高まるものと推測されますが、区内および近隣地域では医療的ケア児、特に気管切開の子供の利用できる病児保育は在宅型も含め皆無に近い状況です。在園中の保育園以外での医療的支援についても今後の見通しを示してほしいと思いました。</p>
17	<p>区立保育園の民営化とありますが、公立だからこそその良さ(利益主義ではないので、職員同士の雰囲気も良い。安心感がある)がなくなる不安があります。区立は区立のまま残してください。</p>
18	<p>全体では余裕のある保育定員になっているが、地域によってさらには保育園によって人気、不人気(定員割れ)があると思う。不人気なところはその原因を調査し改善すれば、保活競争の激化を防ぐことができると思う。例えば原因が自宅から園までの距離にあれば、区立私立関係なく、園が連携した送迎サービスがあれば園を選択する範囲も広がり競争が和らぐと思う。</p> <p>保育園職員の待遇を充実してあげてほしい(給与、家賃、交通費、福利厚生等税金で実現可能な各種補助、現金や物品による寄付制度など)。また法律にとらわれない、区独自の保育定員基準を作って、余裕のある保育を実現してほしい。</p> <p>大井町再開発や区都による子育て支援政策が増え、これから区外からの子育て世代の流入増加が見込まれると思う。駅周辺の保育施設やサービス、道路・公園等環境整備を積極的に行ってほしい。子育て世帯の動線を考慮した自転車道・歩道の整備があると嬉しい。</p> <p>別件になるが、小中学校の整備も見直してほしい。特に給食はもっと充実させてあげてほしい。</p>
19	<p>現在、区立保育園を利用させていただいていますが、私自身が幼稚園育ちだった為、正直、保育園に対するイメージが、悪く言えば、放牧的な感じかと思っていました。しかし、実際通わせてみると、屋内外で毎日色々な遊び方をしてくれたり丁寧で手厚い保</p>

	<p>育をしてくれていて感謝しています。</p> <p>提案は特にありません。</p>
20	<p>以前よりリモートワークが進んだ結果、通勤時間が削減されたこと・仕事の荷物を持ち運ばなくて良いことから、自宅から保育園までの距離や、保育園からの通勤のし易さに重点が置かれなくなっていると思う。つまり、立地に対する重要度が以前と比較して下がっていると思う。一方で、子供を広い園庭、広い遊戯室、広い保育室で伸び伸びと生活させてあげたいという需要が相対的に高まっていると思う。また、近年、教育の早期化・低年齢化が進んでおり、リモートワークも相まって、子どもの教育に力を入れたい家庭が多い気がする。そのため、お金に余裕のある家庭は、家からの距離が多少遠くても、プリスクールやインター幼稚園などの選択をする比重が以前より高まっていると思う。インターではなくても、英語教育・ひらがな・算数・体操等を教えてくれる等、特徴のある保育園・幼稚園が選ばれる傾向が高い様に思う。</p> <p>以上をまとめると、以前は家から近い保育園に重点が置かれていたと思うが、今は保育園の内容に重点が置かれていると思う。そのため、区立の保育園で考えると、小規模な園を多数開設するより、広い敷地に広い園庭・遊戯室・保育室を備えられる園を増やしていく方が良いと思う。インター、英語教育・ひらがな・算数・体操等の教育重視の保育園・幼稚園は私立保育園・私立幼稚園に特徴ある保育園を開設してもらい、品川区立の保育園としては、それ以外の広い敷地に広い園庭・遊戯室・保育室を備えられる、伸び伸び育てられる園を増やしていく方が良いと思う。</p>
21	<p>保育園に2児を預けています。1人は認可の区立保育園、1人は認可の私立保育園です。保育者やそれを支える事務員、パート職員の皆様にいつも感謝しているとともに、他地区の保育施設での虐待や死亡事故のニュースを聞くたびに、施設運営に人的、金銭的な一定の余裕がどれほど必要か痛感しています。当基本方針に保育者や保育施設の運営に携われる職員の待遇改善についても記載してほしいと思います。</p>
22	<p>10年ほど前、0才児クラスに入れるかどうか、不安でたまらなかった頃からすると、定員割れしている現状は隔世の感がありますが、それだけ子育て環境が良くなっている証左でもあり、有り難いです。</p> <p>区立保育園で延べ10年お世話になった身からすると、園庭がある、プール遊びができる、そういう環境を残してほしいです。むやみに民営化せず、若い子どもたちがゆったり過ごせる物理的な場所を残してほしいです。</p>
23	<p>今子供を通わせている台場保育園がとても良いと思うので、そのような園が増えていけばいいと思います。入園時に12園くらい見学に行きましたが、台場保育園が良いと思った理由は、小学校と幼稚園との連携行事がある、土の園庭・遊具や砂場がある、屋上での水遊びができる・プールができる、非常勤の先生方もいて保育者の数に余裕がある印象を受ける、等がありました。5年間通わせて間違っていなかったなと思います。余剰スペースを子供たちの遊ぶスペースへ、余剰人員を先生方の余裕に繋げて欲しいです。</p>
24	<p>0歳児と2歳児を保育園に通わせています。2人とも別々の園に通っているため送迎が</p>

	<p>大変です。他自治体でいくつかの園に通う子どもがひとつの場所に集まり、そこから送迎バスなどで各園に登園する取り組みがあるようです。例えば、品川区の大きな駅(大崎駅や大井町駅など)に預かりステーションみたいなものを作り、各園に登園することができると思えば負担が減ると思います。全員ではなく希望者や園まで距離があるなど。きょうだいがいる場合は同じ園の方が送迎も楽なので、きょうだい枠みたいな形で定員を臨機応変に対応していただけるとありがたいです。なかなか難しいとは思いますが、夫婦共働きのため子どもの体調不良はしょうがないと思いますが、どうしても抜けられない仕事がある時など保育園に病児保育用の預かりがあると、親としては安心して職場にも気を使わず社会復帰しやすいまたは継続できると思います。</p> <p>コロナ禍やインフルエンザなどの感染拡大の対策で地域向けの行事や子育てサロンなどもここ数年実施されませんが児童館だけでなく保育園またはオンラインなどで交流や子育て情報の発信などがされると良いと思います。</p>
25	<p>2人目以降の育児休業の際、上の子の在園資格を下の子が1歳になる年度末ではなく、育児休業中は無制限にしてほしい。育児休業は基本1歳までだが、3歳になるまでとれるところもある。しかし、保育園の育休退園の制度のせいで3年とりづらい。待機児童対策のためらしいが、そもそも待機児童は0なのでは。その制度をなくしたところで3年とる人はほとんどいないと思うので、あまり待機児童に変わりはないと思う。そもそもそれで崩壊するぐらいなら新園を増設した方がいい。</p> <p>他の自治体は育休退園の規制はほとんどありません。子育てしやすい自治体を目指したいのであれば、ぜひご検討をおねがいします。</p>
26	<p>現在、子供2人(8歳・4歳)を育てており、今月第三子を出産予定です。保育園は区立の保育園に通わせており、第3子も同じ保育園への登園を希望しています。</p> <p>素案を拝見したところ、区立の保育園を徐々に統合もしくは私立認可に移行予定であるのかなという印象を受けました。</p> <p>私立認可は企業によって非常に質にバラつきがあり、また保育士さんも経験が短い方が多い印象で安心して子供を預けられるところが少ないと感じます。</p> <p>区としては勿論、人件費の削減を考えていらっしゃるのだと推察致しますが、多様な働き方・ニーズへの対応を区立保育園でも拡充して頂いたり、問題となる事の多い1人で見える保育人数を削減し、保育者の方々の負担を軽減する事、保育者の待遇改善等に注力して頂きたいと思っています。</p> <p>統合される＝上記の事は対応されずただただ近くの保育園が消えてしまい、不便になるだけでなく保育の質の低下も非常に懸念されることです。</p> <p>以前、第二子の保活をしていた際も、産休前だった私の代わりに見学に行ってくれた母から、私立認可の保育園で保育士の方々がお昼休みをちゃんと取れていない、またその場所もないのか廊下でお昼ご飯を食べていたと聞きました。</p> <p>その位余裕のない時間設定・スペース設定の中で、更に統合を進めてしまうのは保育者、保護者そして何より子供たちへの影響が懸念されます。</p> <p>今後、品川区が子育てに優しい区となるのか、それとも逆の方向に進んでしまうのか…</p>

	<p>品川区は居住地としては安価ではなく、子育てへの支援や環境が品川区に住み続ける理由の一つとなっている中で、今後の方針は住んでいる私たち、子育て世代には非常に重要になってくると思います。安易な統合案ではなく、多様なニーズを抱える子供や保護者により一層寄り添った方針・計画をお願いしたいです。</p>
27	<p>年長、年少、0歳の子どもがいます。</p> <p>今後の区立保育園民営化(民間活力の活用)にあたり、自分の子どもの保育園を選ぶ際、民間の保育園、品川区の公立保育園など見学に行きました。結果的に公立保育園を選んだのは、近隣の公立小学校などとの交流がしっかりと出来ているからです。(いまの保育園は隣の小学校の学芸会を見に行くなど交流も多く、親は小学校に通うイメージが付きやすく、子どもも就学後のイメージが付きやすいという利点があります)</p> <p>こういった区立保育園ならではの良さを民営化したあとも引き継いで頂きたいです。</p> <p>また、児童の数に対して定員の数に十分にあることは理解致しましたが、多子家庭において複数の児童が同じ園に入れるような加点も今後をご検討頂けると大変助かります。品川区の公立保育園の先生方のサポートなしでは3人も子どもを産むことはできなかったと思います。</p> <p>いつも感謝しております。引き続き、保育事業について応援しております。</p>
28	<p>一人親家庭です。</p> <p>区立の保育園に登園しており、幅広い年齢層の先生方に愛情をもって接していただいております。親子共々成長させてもらっています。</p> <p>保育園が集団生活であることは十分理解しつつも、フルタイムで働いている自分にとっては子供が病気になったときの対応が最も苦慮します。</p> <p>病児保育は当日だと間に合わない。遠方の母に来てもらうには半日かかる。</p> <p>余剰が少しでもあれば、一人親家庭向けの(感染症以外の)病児保育を見ていただけたら非常にありがたいです。</p>
29	<p>我が家が他区で保育園に入れず品川区へ引越してきた時と比べ大幅に余剰が増えており、これは品川区の保育園政策の成功だ。特に0歳で預けざるを得なかったのが、1歳でも入りやすくなったのは喜ばしい。一保護者として感謝します。</p> <p>趣旨がわかりにくかったが、定員が余っていて、公立は老朽化している施設もあり、私立は公立が多いと人が集まらないため公立保育園を減らしたいということのようだが、都心の人口は減っても外から入ってくる上に、共働きは増加の一途、第3号上限廃止の見込みも勘案すると、保育ニーズがこのまま減少するか疑問である。</p> <p>余剰数(16P)を見ると余裕のない箇所も見られるので、もちろんお考えのことと思うが、まずはクラス数の調整等でそちらを解消していただきたい。</p> <p>その上で、将来的に0~4歳児が減る予想とのことだが、課題2.3(24P)で言及されているが、例えば戸越公園のタワマンができれば何人保育需要が増えるのだろうか? 同じようなことが他でも起こり得る。また毎日小さい子が通うとなると遠いのは好ましくなく、やはり施設数は保持し、近くの園に通えるようにしてあげてほしい。</p> <p>そもそも「こども誰でも通園制度」が始まっても余剰が発生するのだろうか。</p>

	<p>品川区は保育園より幼稚園が問題だと思っていて、2年しかなく、それまでベビーシッター補助等はあるものの親が付きっきりになるのは負担が大きい。また子どもにとっても4歳まで集団と関わる機会が少ないのは良いことと思えない。</p> <p>統括園の数が少なく通いにくい子が多い場合、利用は低迷し絵に描いた餅になるだろう。</p> <p>そう考えると、余剰スペース・人員はトキドキ保育（こども誰でも通園制度）の拡充に充ててはいかがか。</p> <p>HPを見ると12/11現在、申込多数で0～2歳は申し込める園がない状況である。</p> <p>こども誰でも通園制度は月たった10時間の想定のようなのだが、品川区独自として時間を増やすことも考えられる。</p> <p>統括園・サポート園構想自体については、保育の質の向上等を目的として「入れない人がいなくなったからそれでいい」のではなく、次のフェーズに進もうとしており良いと思う。</p> <p>ただ、民営化は仕方がない部分があると思うが、一定数通常の保育を行う公立保育園を永続的に残さないと、公立が統括園・サポーター園のみになってしまったら、「区立保育園がもつノウハウや情報を提供する」ことができなくなってくると思う。</p> <p>最後に、いつも有難うございます。</p>
30	<p>区立保育園の今後の在り方の方向性としては大筋賛成です。</p> <p>グリーゾーンの子が全体に占める割合が多くなっているため、このような子どもも安心して通える園として区立保育園が機能してもらいたいです。</p> <p>民営化については、私立保育園については、レベル差があると思います。財務的にみると上場されている会社が有利であるものの、保育士のレベルとしてキチンと区立保育園と変わらないサービスができるかどうかはまた違うと思いますので、選定に際しては、キチンとした情報公開をお願いしたいです。</p> <p>こども誰でも通園制度など国の動きもあるため、基本方針も定期的なブラッシュアップをお願いいたします。</p>
31	<p>いまはオアシスルームと認可保育園は異なる施設なので問題に感じていませんでしたが、今後就労していない親の子供も認可保育園で一時保育をするのは反対です。現在預けている子供達は、スポット利用の子供が来ることで、安心して保育を受ける権利を奪われます。また、先生もスポットできた子供は初めてや慣れない場所、雰囲気にも沢山泣くこともあるでしょうから、同じクラスにそういった子供がいると先生の手が取られると思います。そうすると、元々いた子供達が手薄になったり、精神的な不安を与えたり、都度預けられる子供との友人関係など悩まされると思います。子供と先生の負担が多いため、いままで通り、就労していない親の子供を預けるのはオアシスルームに限定してほしい。また就労している親は、預かり時間を就労時間に準じて保育園長と入園時に預り時間を口約束である程度決めますが、就労していない親の子供はそういった制限なく預けるのも不公平感がある。</p>
32	<p>病児保育を充実させてほしい。</p>

	<p>共働きのため、子供が熱を出すと仕事の調整が大変。 何日も休めないのが正直なところです。 近くに病児保育の施設がなかったり、(たしか)事前の登録?等が必要だったり、病児保育の枠が少なく空きがあったらなので利用しにくい状況。 熱が出てる子を初めて行く施設に預けるのも気がひけます。 理想は、通っている園で病児保育があるのが助かる。 追加でその都度費用(日額)発生してもいいし、近くに祖父母がいないので、病児保育を利用したい家庭はオプションで病児保育料(月額 or 年額)を払っても良いと思います。</p>
33	<p>現在、区立保育園に通園中2児を持つ母です。保育士資格を保有しております。保育園には日頃から大変お世話になっていますが、素案を拝見しての意見を主に3点記載させていただきます。</p> <p>1) 保育需要の見立てについて 定員の余剰から全体的な減少傾向とのことですが品川区では引き続き再開発によるタワーマンション建設が進んでいます(東五反田2丁目、武蔵小山、大崎駅周辺など多数)それらを見込むと、「需要減少・余剰あり」ではないと思います。また、4月時点での数字で比較をしておりますが、どこの保育園も4月は余裕があり、年度中に育休から復帰し入園する子供たちを含んで年度末になるとどこも定員は0に近くなります。試算の見直しを御願いたします。</p> <p>2) 定員上限まで入れるよりも、余裕のある保育士の配置の要望 保育士の基準値が実態としてはかなり無理があることは世論でも盛んに議論されています。保育現場では基準に1、2名の派遣・非常勤を入れて回している園が多いですが、それでも現状は保育士に余裕がある配置とは思えません。先日、子供の通う保育園の「保育士体験」をさせていただきましたが、子供に対して大人の数が圧倒的に足りていないことも再確認いたしました。定員余剰のため保育園の統廃合・削減を行うのではなく、保育者数の充実へ予算をシフトいただくことを要望します。</p> <p>3) 公設区立保育園の民営化への反対 公設保育園の建替えにあたり民営化の方針には反対です。すでに民営化された区立園もありますが、これ以上の民営化は質の低下を招くだけだと思います。民営の保育園は利益重視になり、保育士の待遇や設備が最低ラインになっている園も散見されます。私自身、保育士の資格を保有しているため、品川区の民営保育園からの求人情報も頂きますが、最低賃金かつ非常勤案件ばかりです。民営の場合は運営委託金の全額がその保育園運営に全て使われるわけではないので(規制緩和による弾力運用の抜け穴)、コストカット・質の低下を招きますし、そういった園が存在するのも事実です。一方、公設認可園は園庭や園内調理の設備も充実しており、保育者も公務員が多いため、経験も余裕もあり安心して預けられます。民営認可も全体の需要には必要ですが、区立を減らしてあえて民営化を増やすことには反対です。最低でも現状の公設区立園数は残すべきと要望させていただきます。</p> <p>長くなりましたが、保育園を利用する親の立場からも、また保育業界に関わる者として、</p>

	1 区民の要望が区政に届きますように。よろしくお願いいたします。
34	<p>コロナでの産み控えや出会いの減少、都心からの転出もあったと思われるので、ここ数年の人口動態で今後長くを決めるのは少し無理があるように思うので、減少傾向にあると判断するのは時期尚早では。5年後くらいに再度見直しをする前提と織り込んだ方がよいと思います。</p> <p>現状のままで通常の保育の質を高めることをもっと重要と考えて欲しいです。現在の、保育士配置規準（特に3歳以上）は先生が少なすぎると思います。保育士配置規準数を見直すことで質の向上を織り込んでほしいです。現在既に、他害のある発達に課題のある子供に先生がひとりかかりっきりで取られていて、残りの子を残りの先生で回す事態となっていて、一部学級崩壊を起こしているクラスもある現状を考えてほしいです。</p> <p>区立保育園での医ケア児の対応は負担が大きすぎるように思います。現在既に発達に課題のある子の対応で保育園の先生たちはすごく苦勞されているように見えます。この上、医療的なケアが必要な子供を受け入れ、かつ通常の子どもと一緒に保育運営をしていくのは無理です。医ケア児向けの区立園のニーズがあること自体はわかりますが、同じところに放り込んでも互いに活動の制約ができてしまうので、現在の病児保育園を拡大して受け入れるなど、医ケア児向け施設をつくって実施園を限定して取り組むべきだと思います。本案は全体的に区立保育園の職員の負担が大きすぎると感じました。それは保育の質が下がることに繋がると思います。今通っているのは統括園になるであろう大きい区立保育園ですが、多少定員が減ったところでここに医ケア児を受け入れられる余裕があるようには全く見えません。</p> <p>病児保育の実施場所が偏りすぎていて、大井に住んでいると実質利用しようがないです。せめて電動自転車で行ける範囲（2キロ圏内とか）に無いと意味がないのでは。小規模な病児保育施設をもっと増やし、医ケア児もそこで受け入れるべきだと思います。</p> <p>民営化検討されているが、区立のままの方が給与含めた労働条件が良く、ちゃんとした人材が集まり質の高い保育が可能なのではと思うので、区営のままでよいと思います。保育園の先生は本当に頑張っているのだからちゃんと給与を上げてあげて欲しい。民営化しなくて良いです。ちゃんと区立保育園に予算を振る区であってください。</p>
35	<p>保育園の利用者数減少の要因の分析はどこにも記載がない。コロナにより在宅勤務が定着したからか、ある程度若い世代が居住可能な住宅供給がないからなのか、まずは、その要因を分析しないで、方針を立てることができるのか疑問。</p> <p>また、在宅でない場合、保育園の立地が需要に大きく影響するが、歩いて行ける場所にある保育園を合併するならよいが、離れた場所にある場合、利便性が悪くなることで、就労継続が難しくならないのかを検討してほしい。</p> <p>以前、延長保育で10時までや日曜も開所している園があるなど、保育士の疲弊が著しかった。これをそのままにしておくのか。うちの子が通園した時には、夜間に子供1人のために保育士が可動しており、保育士の負担を考えると、ベビーシッターを活用して在宅で見れるようにするほうがよいと考えた。</p> <p>今後は、保育士の数も減少するため、保育園を統合することも必要だが、障害者施設と</p>

	<p>複合化するなども検討すべきではないか。単機能の施設は、国の方針ではないことも踏まえて、保育園の在り方だけで検討するのではなく、多機能化、複合化した施設整備をしっかりと検討すべきであると思う。</p>
36	<p>保育園への予算をカットするという印象を受けました。今年から始まったおむつ定期便の政策や区長の交代で、SNS では子育て世帯の品川区への注目が高まっている中、定員の縮小は残念に感じます。</p> <p>少子高齢化が進む中、出生率を上げていかないといけないのに、”出生率が下がったため定員を減らします”は目的を見失っているのではないのでしょうか？どうしても余剰な定員があるのであれば、削って頂いても良いですが、削った結果待機児童が増えるということにはならぬよう細心の注意を払っていただきたいです。</p>
37	<p>基本方針（素案）に反対です。地方自治体の本旨は「福祉・社会保障の充実をめざす」ことです。福祉事業を利益創出を目的とする民間企業にゆだねることは許されません。日本の未来を担う子ども達が、自由に遊びまわることが出来ない、園庭のない私立保育園に通園する親子を見る度に、胸が痛みます。</p> <p>公立保育園を減らすのではなく、逆に増やす方向に行くことを願っています。</p>
38	<p>「品川区内保育園等あり方基本方針」に対するものには私は反対です。公立保育園で安心して保育できるのが一番です。親もきちんと仕事ができるように保障するのが行政のあり方だから。未来ある子どもがすこやかに育つ環境を基本にしてそこで働く職員の労働条件を良くすることが良い保育につながるのです。</p> <p>子どもがゆったり生活するような環境と職員配置が必要です。今の基準では保育士の笑顔もやさしい言葉かけもなかなか厳しいものがあります。それから子どもが沢山いて部屋も狭く、園庭も狭くてのびのびとできません。</p> <p>十分な予算で公的保育がやっていけるようにしてほしいです。保育の質の高さがいえるようになるには保育士が長く働き続けられるようにするのが一番。是非子どもの未来を夢を語る品川区にして下さい。</p>
39	<p>公立保育園に我が子がお世話になり、安心して仕事を続ける事ができました。現在ある保育園は絶対に委託をしないでいただきたい。民営化は反対です。どうぞよろしく願います。</p>
40	<p>保育園の民営化は反対です。区立の保育園の先生は公務員ということもあり、新卒で入られたような若い先生でも真面目で面倒見の良い方ばかりで途中で辞めてしまうような方もいません。</p> <p>民間企業ですと職員の入れ替わりも激しいと聞きます。実際に知り合いの民間の園に勤めている保育士も転々としている人が多いです。</p> <p>施設が綺麗なことに越したことはありませんが、古くても区立の保育園は掃除が行き届いているので不満はありません。それよりは安心して任せられるきちんとした先生達に子供達を預けられる環境が最優先と考えます。</p>
41	<p>区立保育園、私立保育園どちらも子供が在園したことがあります。</p> <p>まず、区立だと入園時の準備品の費用が格安です。それに比べて、やはり私立は何かと</p>

	<p>必要備品の出費があります。どこに入園できるかわからないからこそ希望しない私立保育園ですら、希望欄に書くしかありません。求職者は保育園にどこでもいいから入らなければ、仕事をする事ができないのです。</p> <p>保育園に入るハードルが高く感じます。定員余剰とありましたが、保育園は育休や働いている人がメインで利用しており、今後はもっと働きたくても保育園に入らなければ仕事ができない現状や、働く意思がある人への保育園利用の加点、また子供が三人以上いる人は無条件での入園など、希望します。出産して子供が増えれば増えるほど働くことへのハードルもあがり、保育園の保活と言われてることへの行動力も低下します。昔から働く人しか入れない、空きがない、という考えが強すぎて、子育て支援施設としての役割をもう少し強い印象に変えて行って欲しいです。子育てしている人が、働きやすい環境を整えると言う意味でも子育て支援です。保育園の入園基準や加点方法も見直して欲しいです。求職者の加点はもっと高くてもよいと思います。</p> <p>また子育てを孤独にさせない為にも、こども誰でも通園制度は魅力です。早期開始を望みます。区立保育園だからこそ先駆けて行って欲しいです。孤立しやすい子育ての環境を、働く人が預ける施設だけじゃない改革を望みます。認定こども園も、とても魅力ですが、区内では認定園の数が少ないと思います。しかし、入園基準の年齢が2年保育の枠になっているので、せめて3歳児からなどもう少し広げて欲しいです。</p>
<p>42 ※41 と同内容</p>	<p>区立保育園、私立保育園どちらも子供が在園したことがあります。</p> <p>まず、区立だと入園時の準備品の費用が格安です。それに比べて、やはり私立は何かと必要備品の出費があります。どこに入園できるかわからないからこそ希望しない私立保育園ですら、希望欄に書くしかありません。求職者は保育園にどこでもいいから入らなければ、仕事をする事ができないのです。</p> <p>保育園に入るハードルが高く感じます。定員余剰とありましたが、保育園は育休や働いている人がメインで利用しており、今後はもっと働きたくても保育園に入らなければ仕事ができない現状や、働く意思がある人への保育園利用の加点、また子供が三人以上いる人は無条件での入園など、希望します。出産して子供が増えれば増えるほど働くことへのハードルもあがり、保育園の保活と言われてることへの行動力も低下します。昔から働く人しか入れない、空きがない、という考えが強すぎて、子育て支援施設としての役割をもう少し強い印象に変えて行って欲しいです。子育てしている人が、働きやすい環境を整えると言う意味でも子育て支援です。保育園の入園基準や加点方法も見直して欲しいです。求職者の加点はもっと高くてもよいと思います。</p> <p>また子育てを孤独にさせない為にも、こども誰でも通園制度は魅力です。早期開始を望みます。区立保育園だからこそ先駆けて行って欲しいです。孤立しやすい子育ての環境を、働く人が預ける施設だけじゃない改革を望みます。認定こども園も、とても魅力ですが、区内では認定園の数が少ないと思います。しかし、入園基準の年齢が2年保育の枠になっているので、せめて3歳児からなどもう少し広げて欲しいです。</p>
<p>43</p>	<p>私は現在、2歳と5歳の子供を区立保育園に預かって頂いております。</p> <p>(在宅育児支援もいいですが、) 現在、保育園に預けている親が、出勤日の有休にも公</p>

	<p>に預けられるようにさせて頂きたいです。</p> <p>育休中から思っておりましたが、なぜ赤ちゃん子育て中は私用のために一時保育に預けるのはオッケーで、保育園に入るとその理由で預けるのはダメなのでしょう？働いている親も疲れています。むしろ個人的には育休時期より疲れています。預ける際にきちんと会社に書類を書いて、勤務曜日も入れて提出しているので、その範囲内では自由に預けさせて頂きたいです。※平日勤務で土曜日に預けるということではありません。</p> <p>またその辺（お迎え時間なども）のおもてだってはだめだが、まあ詳しくは聞きません、という内容の指摘加減が区立保育園と私立の強度が全然違う気がします。</p> <p>今は働いている時間のみ預けられるという前提なのでそれをまずは変更頂きたいと思えます。</p> <p>ご検討のほど宜しくお願いいたします。</p>
44	<p>病児保育、病後保育の充実。共働きで2、3人目を望む際、仕事復帰に向けた一番のネックが子供の体調不良。保育園に入れても急な体調不良などが続き、出勤できず退職する方もいる。定員余剰がある施設での実施を希望。</p> <p>今年度2月で0歳児保育不承諾となり、オアシスルーム月20回程使用予定。待機児童に当たる場合はオアシスルーム利用についても助成金を希望する。ベビーシッターやその他保育施設には空きがなく助成金があっても利用できない状況です。</p> <p>一時退職状態で2人目を出産したがタイミングが悪く、2月から働かなくては1人目の在園資格を失うが保育園不承諾となった。働くために保育園に入れなくてはならない保育園に入れるために働かなくてはならない。</p> <p>定員余剰にともなう保育士の余剰、余剰スペースがある場合、待機児童が発生する地域への保育士の異動などを希望。本資料では定員余剰、未就学児減少など記載があるが現実問題、不承諾になり、他保育施設空きなしで利用不可、になるケースもあります。</p>
45	<p>保育園のそもそもの役割が何かを踏まえた議論が必要。フローレンスが主導する就労していない児童の通園制度は問題点が多すぎる。まず、良質な保育のためには、質の高い人材、保育士が必要である。児童の数が少ないほど、目が行き届くのは当然なのに、日ごろ通園していない一時保育の児童を見ることは、保育士の負担が非常に大きい。今後、人口減少時代に入り、ベテラン保育士は少なくなり、経験の浅い保育士が担うことになることを踏まえると、ゆとりのある保育機能、ひいては、就労環境の確保が重要といえる。保育園に通うことだけが目的化しているが、就労していない児童の居場所を他に作っていくほうが良いともいえるが、そのほかの居場所についての検討すらしていない。例えば、保健センターや児童センターなど。また、認可園と認証園のメリット、デメリットの分析もない。結論ありきの基本方針は、再度、分析からやり直すことを提案する。</p>
46	<p>保育園等あり方基本方針（素案）に反対します。</p> <p>方針は、区内の公立保育園の老朽化による建て替えを契機に統合、私立保育園との連携を示していますが、これは、行政としての保育の公的責任を後退させることとなります。必要なのは、現在の公立保育園の内容全体を検証することではないでしょうか。非正規雇用の保育士が増えていると聞いていますので、正規職員で運営する、また保育士の配</p>

	<p>置基準を見直し、子どもたちにとっても保育士にとってもゆとりのある保育になるよう区で助成する、などです。</p> <p>かつて「子育てするなら品川区」と、品川区の公立保育園の充実は全国に知れ渡りました。</p> <p>区民が子育ての不安なく品川に住み続けたいと思える行政をこれからも追及していただきたいと思います。</p>
47	<p>区立保育を建て替えしながら、統合、民営化して区立園を減らしてゆく素案には反対します。民営化して人件費を減らし、職員が安心して働けるか心配です。子どもたちが安心して健全な育ちを保障できるのは公立保育ではないかと思っています。公立保育園は減らさず、今のままで子どもの定数を見直すべきと考えます。</p>
48	<p>人間を相手にする仕事です。机上で考えているのとは違います。生きている子どもたちに余裕のある環境を作って欲しいと切に思っています。区立保育園の民営化や減らすのには反対です。</p>
49	<p>本基本方針を読みましたが、品川区で生活するすべての子ども、これから生まれてくる子どもの「子どもの発達を保障する保育と教育を受ける権利」を奪うものであると受け止め反対します。以下反対の理由です。</p> <p><はじめに></p> <p>①本素案は、誰が作ったものなのか。「区立保育園等あり方検討委員会」のメンバーは誰なのか？目的は何か？本素案を最後まで読み、わかったことは、品川区内の子どもの生活実態、働く保護者の生活の困難さ、保育園に働く職員の労働の困難さがどこにも書かれていない。</p> <p>②現状を把握せずに、どのように良い保育行政を展開していこうとしているのかがまったく伝わってこない。明らかになっているのは、第4章区立保育園のあり方の2. 区立保育園の再整備方針にある、「区立保育園の統廃合」と「区立保育園の民営化」の2点であり到底容認できない。</p> <p>③パブリックコメントを求めているが、方針を読んでもわからないことばかり、意見を求める前に、説明会の開催を求めます。</p> <p>④品川区内小中学校の不登校は、この5年間で3倍600人に増えていると聞きました。子どもたちが健やかに育つために乳幼児期の生活に必要なものは何か？低賃金、長時間労働のもと、保育園を必要とする保護者の願いは何か？保育園職場で働く保育士職員の願いは何か？アンケートを取り検討しなおすことが必要です。方針先にありきはやめ、「子どもの最善の利益」を追及する方針へと転換を求めます。</p> <p><序章 方針の目的></p> <p>①区立保育施設を取り巻く社会情勢の大きな変化とは何か？</p> <p>②区立保育園の役割とは何か？私立保育園の役割は何か？</p> <p>③なぜ今統合等を考えるのか？以上3点の説明を求めます。</p>

<第1章>

ここに書かれているのは、公立、私立共にどの地区でも年齢でも定員に余剰（空き）があり、保育園は十分に足りているという国と区のごまかしの数字です。

①区は数年来待機児童ゼロ、保育園は足りていると主張しているが、隠れ待機児童の実態を隠しています。希望の保育園に入れず不承諾通知を受け取った人数は、2023年4月1日現在714人。認証保育園利用者、育休中、兄弟同一園希望の転園など希望する認可保育園に入園できず、本来ならば待機児とカウントされるべき714人をゼロとすごまかしはやめるべきです。

②区立保育園448人（0歳～2歳は209人、3歳以上は239人）定員余剰と示されていますが、この数字は4月1日現在のものです。本方針を出した12月1日現在は、306人（0歳から2歳は49人、3歳以上は257人）と乳児は大幅に減少しています。9か月の間に転入、引っ越し、誕生児など受け入れたためです。翌年3月まで各年齢に空きは当然必要です。4月1日現在の数字をもって定員余剰との考えは間違いです。

③どこにも記述、資料がありませんが、認可保育園は、両親共働きで指数40点でも入園できない困難をたくさん抱えています。やむなく認可外保育施設（小規模保育、認証保育所、企業主導型保育、居宅訪問型保育等々）に預けざるを得ないのが現実です。保護者の入園希望の第1位は公立認可保育園です。公立保育園の質と量の確保を区民は望んでいます。

<第2章 区内保育園に関する今後の見通し>

①保育の量の見込みは減少方向にあると記述していますが、未就学人口は2031年まで全年齢で増加、2041年まで増え続けると資料にあります。また区内、マンション建設増加による子育て世帯の増加は年少人口増加と予測するのが妥当ではないか。区内では、これまでも不十分な予測の結果、学校不足が深刻なっている地域があります。見込みの誤りを反省し年少人口増加との修正が必要です。

②政府は、在宅世帯への保育園利用の拡大を示しているが、女性の社会進出増により保育園の利用は高まり、今後多様な保育ニーズにこたえる利用拡大を見込み、保育量の拡大こそ必要です。

③自治体の姿勢として、子どもの減少を受け入れ、保育の量を減らすとは、本末転倒ではないか。少子化を改善するためにも、保育の質・量ともに引き上げることこそ自治体の役割です。

<第3章 区立保育園に関する課題>

公立保育園と私立の保育園の役割が明確でないため、1から6までの意味が解らない。新しい事業に対しては、保育の質を確保する基準が必要です。私立保育園の質ガイドラインも必要です。

①区立保育園の役割で重要なことは、どこの保育園に預けても、子どもの最善の利益を

	<p>保障する質と量を確保すること。株式会社私立保育園では、利益最優先であり、もうかなければ撤退も起こる。人件費比率が低いことから職員の勤続年数が短く、経験が蓄積されにくく質に大きく影響することが、現実に起こっています。</p> <p>②今、国に求められる課題は、大変遅れている国の面積基準と職員配置基準の改善を国に求めること。区基準で補うことです。</p> <p>③特筆すべきは、以前乳児の待機児童が大幅に増加した時期、保険室や浴室、押し入れも計測し保育面積と換算し100名定員を120名と大幅定数増を行った。結果詰め込み保育は現在も続いています。今こそ劣悪な一人当たりの面積改善を行う定員見直しを求めます。</p> <p><第4章 区立保育園のあり方></p> <p>1. 区立保育園の事業転換</p> <p>統括園、サポーター園、一般園と差別化していますが、保育士不足は品川区でも起きています。公立保育園の役割は①ベテラン、中堅、若手のバランスで保育のノウハウを継承する②地域の保育・子育て支援施設の中核としての機能③区の保育の標準的水準を具体的に表現する④災害時の保育にあたる⑤保育ニーズをつかむことができる⑥質を見極める力をもつなどたくさんあります。規制緩和と民営化導入後、保育士も非正規保育士も仕事が見つく早期退職も増え、現状維持が困難になっています。現状改善ないまま、新たなシステムを導入すれば、ゆとりない保育園となり子どもも、保護者も、職員もさらに犠牲となります。</p> <p>2. 区立保育園の再整備方針</p> <p>公立保育園の統廃合先にありきの方針が唐突に書かれています。</p> <p>私立保育園の分析なくして民営化を進めるのは乱暴です。</p> <p>改築し新しくなった園から民営化するとは、区民の財産を、民間に売り渡すことであり容認できません。</p> <p>50年を経過した施設は順次建て替え、保育所面積基準の引き上げと職員配置の改善を行い、世界的にも劣悪な基準のもとで保育教育を受けている子どもたちのために、ゆとりある保育を実現する方針へと変えることを要求します。</p>
50	絶対反対です。
51	反対します！
52	反対します。
53	反対します。
54	<p>私の息子2人も区立保育園でお世話になりました。</p> <p>民間ではなく区の保育園の充実をお願いします。</p>
55	<p>保育は人が人を育てる事。今の基準人員でも足りないくらいなのに、民間で安あがりな保育をしようとする行政の姿勢は許せません。安定したお給料で、しっかり続けて働ける保障のある区立保育園は親や子どもの発達を考える上でとても重要です。民間にまか</p>

	せずつ区立保育園を少なくしないでください。
56	我が子は区立保育園でお世話になり、とても有意義な幼児時代を過ごしました。民間保育園への委託はやめてください。
57	公立保育園は安心して子供たちをまかせていけるので、縮小してほしくないです。これからの子どもたちを育てていくためにも公立保育園を絶対残してください。
58	子どもたちが楽しくのびのび育つような保育園にしてもらいたい。 区立保育園を増やしてもらいたい。
59	民間委託に反対します。 未来のある子ども達、将来を背負っていく人たちは大事にしてあげて欲しい。
60	子供人口は減るから区立保育園を統廃合して減らすのは問題あり。保育の質の向上は区立が率先してやるべきだし、定員の問題や病児保育など本来保育の必要としている人がたくさんあり。 現状区立の保育園に入れないから私立に入っている人が多いと思います。
61	この素案には反対です。公立保育園をなくさないで下さい。
62	長年に渡り、品川区立保育園の職員、関係者は研究を重ね、保育の質の向上に努力してきた。作り上げてきた保育内容は素晴らしいものである。子どもが安心して園生活をおくり、保護者が安心して就労できている。公設民営園が何園か出ているが、これ以上民営化しないで。 民営化することにより、各園によって保育内容に大きな格差が生まれることが懸念される。職員の労働条件もさらに厳しくなるだろう。時代は大きく変化し、保育園も変わっていく時代なのかもしれないが、どうか公立保育園の存続を！
63	この素案に対する反対意見です。 目的には保育園を国や社会情勢の大きな変化などの為に・・・とあるが、具体策になると区立保育園を縮小する。民間園とする目的となる。またその目的となる内容の多くが、人口減少による待機児童減少予想が主になっている。 方法は、園児数が少なくなり経営困難になるだろう民間園維持を残すために区立園のあり方を考えている。 現在民間園数は区立の倍強と多くなっているが、ビルの一角や幹線道路沿いに開設され庭はもちろん玄関前の待機スペースもせまい場所も多くある。 子どもの育ちに品川区民として、責任をもち、公的に保障する目的になる区立保育園の役割を考える視点が見られない。
64	区立保育園の民営化に反対します。 古来「三つ子の魂、百まで」と言われるように、乳幼児の発達はその人の生涯にとって決定的要因となっています。私は、品川区における区立保育園の果たしてきた意義と役割が極めて大きいことと判断しております。 私と妻が共働きという事情もあり、二人の子どもは1～5歳の間は区立保育園でお世話になりました（0歳期は当時の区保育課のアドバイスを得て、区内の共同保育所で育ちました）。区立の小・中学校～都立高校を経てその後の進路は分かれますが、一人は小

	<p>児医療に携わり少子化問題に関与し、もう一人は福祉の現場と教育に携わり高齢化の問題に関与する等、お蔭様で社会人としての役割を果たせるまでに成熟してきました。</p> <p>私は、区立保育園を企業による運営、民営化に転換することに反対します。新型コロナウイルス感染症の影響下、新生児の出生数が東京も地方も著しく低下する中、2022年11月15日付「エコノミスト」誌の論文では保育市場が縮小することが予測されています。企業は子どもの発達・福祉よりも利潤の増を求める組織であり、営業が縮小すれば倒産する場合すら起こります（十数年前、都内N区で企業経営の保育所が突如閉鎖！子どもが行き場を失い親が失業状態へ）。企業経営の保育所では、初任給が僅かに高い場合があり引き寄せられる新人もいるが、わずか1～数年で勤務条件その他要因から転職してしまう状況が伝えられています（企業は大切な人材をムダづかい）。</p> <p>保育分野では「つたえあい保育」というキーワードがあると聞きます。保育士スタッフ間のコミュニケーション、保育士と子ども（達）のコミュニケーション、子どもの保護者～保育スタッフ間のコミュニケーション、など子どもを中心に置く保育を具体的に取り組まれることが大切です。歴史と実績のある品川区立保育園を持続することによって、今こそ、「児童の世紀」（エレン・ケイ）を具現することによって、品川区の未来の担い手を確保し、子育て施策・サービスの充実と少子化状況を打開していくことが求められているのです。</p>
65	<p>子供の人数の減少や今後の動向にそって、保育園の見直しを変えることはとてもいいことだと思いました。</p> <p>品川区は子育てしやすくとても子育てに温かい街だと思っていて満足しています。</p> <p>私自身、目黒区で2016年に第一子を出産し、区立・私立・認証・無認可とも保育園に入れず、品川区へ移り住んできたので、今後出産される方にとって、”品川区にいけば保育園に通うことができ今まで通り働ける”、当たり前なのが整った、都内一の子育て家庭の受け皿のような街でいてほしいです。</p> <p>とても満足している一方で、保育園に入る前の赤ちゃんへの支援はもう少し手厚くしてほしいと思いました。</p> <p>オアシスルームはあるけど、2019年当時、予約開始とともにすぐにいっぱいになり、利用したくてもできないストレスを感じました。赤ちゃんのお世話で疲労困憊なのに。また、保育園に内定するとオアシスルームが使えないことも変だと思います。復職前に準備しないといけないことがたくさんあって一番忙しくて不安な時期こそもっと預かってほしかった。親が遠方の核家族が多いと思うので、親戚や家族が近くにいなくても、町全体でサポートしてくれる温かさが感じられることがあるさらによいと思います。</p> <p>保育園の運動会や生活発表会の人数制限で、兄妹NGで預かってもらえず、片親しか参加できないこともありました。</p> <p>年長の子供に2歳児クラスの子供を預けて体育館の外で二人だけで待たせ、両親だけで年少の子どもの運動会に参加している家族もいました。そういうのを目にすると、もっとなにか別の方法はなかったのかなと思ってしまいます。</p> <p>保育園を縮小させるだけでなく、せつかく整っている事業を手薄な環境へ転換し補填し</p>

	て、今後子育てをはじめの方によりよい街になればうれしいです。
66	<p>今回出された基本方針に反対です。</p> <p>子どもの数が減り現状で定員余剰があるということですが、区内では新築マンションが林立し、今後子どもの数が増えていくという試算もあります。また災害など緊急の場合に柔軟に対応できるように多少の余剰はむしろあってしかるべきと考えます。</p> <p>そもそも区立保育園の役割とは、子どもの健やかな育ちを公的に保障することだと考えます。子育てに必要なニーズとは、子どもの最善の利益を守ることです。我が家でも区立保育園にお世話になってきましたが、初めての子育ての中でもベテラン保育士の先生や周りの先輩お母さんお父さんのおかげで、大人の都合ではなく、子どもの視点から考えることを学びました。お迎えの時にはどの先生に聞いてもわが子の様子がわかり、細かいことや具体的なことは連絡帳に記されていることでいつも安心して預けることができました。これは公立であるからこそ、職員とも安定した関係を築くことができたからだと思います。</p> <p>大人が求める「多様なニーズ」には、それこそ民間の力を活用すればよいのではないのでしょうか。今こそ、正規職員の適正配置を見直し、若い世代が品川区で子どもを産み育てたいと思える保育政策を求めます。</p>
67	<ul style="list-style-type: none"> ・近所に区立保育園があり家の前を散歩の子どもたちが通るが、保育士の声がげが適切ではない（車に轢かれるよ、先生守ってあげられないよ等）。定期的な研修が必須だと思う。研修についての記載がもっと必要ではないか。 ・加配についての記載が見当たらない、①加配についての考え方を区として明確にしていきたい。②現状でも加配は保護者からは申請できない仕組みのままなのか。 ・医療的ケア児については記載があるが、その他知的障害児・身体障害児・発達障害児・発達の気になるお子さんについての記載が少ない。区としての考え方を示していただきたい。 ・医療的ケア児については区の「医療的ケア児等支援関係機関連絡会」があり、今年度から年2回開催される見込みとなっている。そこと連携を図る旨を記載していただきたい。
68	<p>保育の質の向上の為に公立保育園の存在意義はとても大きいと考えます。</p> <p>社会福祉法人や企業主導型保育園など経営主体により保育内容は様々だと思いますが、保育園が乱立したことによる保育の質の低下は実際にあると思います。公立だから良いという訳でもないのですが、現状として保育園によっては子ども中心でない保育が行われていると感じます。保育崩壊や保育格差という本を読むとびっくりしてしまう内容が書かれてありますが、品川区の保育園でも同じような保育が行われていると思います。確かに公立と比べたら保育園の運営費用としては公立以外のほうが安くすむと思います。人件費が安くすむだけでなく、おもちゃや保育用品が十分に揃ってなかったり、食器が年齢によっては扱いにくい物だったり保育スペースも十分でないのでのいろんな工夫をしなくてはいけなかったりとそういう面でも経費を削減しているのだと思います。園庭がない保育園が増えて公園難民という言葉が生まれたりしています。同じ品川区の</p>

	<p>保育園で生活する子どもがある程度一定レベルの保育を受けられるようにする為にも公立保育園の役割はとても大きいと思います。</p> <p>民営化の全てを否定する訳ではありませんが、公立で存続していく意義は大きいと思います。</p>
69	<p>「品川区内保育園等あり方基本方針」と、公立保育園の統廃合・民営化には反対します。</p> <p>第1章で、定員に余剰があるかのように書かれているが、直近での空きは、地域ごと・生活圏ごとに見れば、空きは殆どないのが現実である。また、保育ニーズが減少しているというが、共働き世帯が増えている中、今後もニーズが減少するとは言えない状況ではないか。特に0歳児保育を希望するものの、希望する園には入れず、第8希望まで書かされ、職場や住居から遠い保育園に措置されることが多く、決して需要に込んでいるとは言えない。</p> <p>私立保育園は利潤が目的なので、利潤確保・経営の維持が困難と判断すれば閉園する可能性があり、閉園されればそこに通っていた園児たちは行き場を失うことになるので、定員割れがあるからと言って公立保育園を安易に減らすべきではないと考える。</p> <p>定員割れというのであれば、寧ろ保育定数を見直し、保育士一人あたりの子どもの人数を減らし、よりゆとりのある、質の高い保育をめざすべきではないか。</p>
70	<p>素案に反対。</p> <p>理由1、公立保育園の存在は子育てする住民にとってなくてはならない重要な施設であるので削減案に反対。</p> <p>2、待機児がなくなっていると定数を削減してゆく理由を挙げているが公立保育園に入園を希望しても入れなかった子どもが714人もいた、このことを放置しているのは行政の怠慢である。公立園を希望しても入れなかった親子は小さな保育園にやむなく通っているのであって、庭のない保育園を行政が良しとするのは品川区の子育て環境に責任を持つ行政として意識が低く評価されない。</p> <p>3、保育行政として保育の位置づけが明確になっていない。保育園は子供の発達を知る専門性を学んでいる保育士による日中の活動と父母の家庭との連携で子育てを充実させる仕事である。この細やかな仕事は各園が一人一人の園児に寄り添って父母と対等な関係で信頼を深めて保育を進めてゆく事が基本である。保育士による創造性は子供の発達にとって将来の人間形成の基礎を作って行く重要性を担っています。また保育の実践から学び合うことも重要で、保育士の労働の中に含まれなければなりません。現実の姿として現場はこのような実践交流の余裕は持っていないような忙しさと保育士が足りていません。公立の保育園がこのような実態ですので、民間はどのようになっているか？決して良い環境良い労働条件とは言えません。保育の実態を反映せず、品川区の子供達を健全に育てて行く確信を示さず、予算削減の為、公立保育園を削減する最悪の在り方基本構想です。改めて作り直すことを求めます。</p> <p>4、統括園とサポーター園とすることに反対します。各園が平等で各園の判断で保育が行われ、実践交流し住民から信頼を得て行くことが大事です。以上</p>
71	<p>基本方針（素案）には反対です。</p>

	<p>保育園を減らす方針ではなく、今だからこそ保育環境をしっかりと作り、子育て支援を強化すべき。「子どもを産み育てやすい品川」を作るべきです。</p> <p>以前「子育てするなら品川区へ」の時代がありました。我が子もその中ですくすく育つことができました。</p> <p>今回の素案には「反対」です。</p>
72	<p>子ども・子育ての場である保育園が民間委託等ではなく区が中心となる方向で検討して欲しいと思います。</p> <p>品川区の方針には反対です！</p>
73	<p>適正配置や統合で区立保育園を減らす『あり方基本方針』には反対します。</p> <p>子ども・子育て支援は充実されることこそ時代の求め！行政の責任を交代させてはならない。誰のための区政か？</p>
74	<p>私は3人の子どもを品川区の公立保育園に預け働いて来ました。日本一の保育と品川区の保育行政に誇りを感じていました。しかし今回の品川区内保育園あり方基本方針（素案）の内容について、保育園の民営化や統合には反対です。</p> <p>少子化の時代、公立保育園の充実がこれから必要と感じている矢先、是非とも子育て支援の強化をお願いします。保育園を減らす方針は撤回してください。</p>
75	<p>私は他区に住んでいた時、結婚して最初の子供が生まれるときに子育てするなら品川区という話を聞いて品川区に来ました。</p> <p>子育てのことなど何も知らなかった私ども夫婦にはとてもありがたい品川区の保育だったと思っています。</p> <p>この立派な品川区の子育て政策を後退させる様な事はないようにお願いします。</p>
76	<p>少子化の流れが止まらない。原因は多々あるが、保育環境の整備がなされていないためである。そこに品川の基本方針を実施すれば増々少子化を進めることになる。この基本方針は再検討し、子育てしやすい品川にすべきである。</p>
77	<p>区立保育園を減らすことに反対します。保育の質の低下につながる事になるので保育園削減に反対です。</p>
78	<p>子育て支援、少子化対策と云いながら、子どもを安心して預け、若い親が働けるようにすることこそが第一ではないでしょうか。</p> <p>区は保育園の充実こそが一番です。現区の保育園に対策（改悪）には反対です。</p>
79	<p>民営化は心配です。安心して子供たちを預けられる体制はやはり公営と思います。区立保育園削減は反対です。</p>
80	<p>子供を生み育てやすい品川にすべきなのに反対に公立保育園を減らすことを考えたりしないでください。保育士の数を増やし、親も子供たちも安心して保育園に通えるようにしてほしい。</p>
81	<p>公立保育園の統合、民営化には反対です。民営化になると営利目的で、働く人間は言いたい事も言えない弱い立場になるからです。</p> <p>公立保育園を減らさず、子どもが健全にすごせるよう職員の働く環境も保障してください。</p>

82	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立保育園の存在を確保し、内容の充実を求めます。 ・ 子供達の未来のために保育を企業にゆだねるのを反対いたします。
83	<p>区立の保育園を減らすと聞き、ビックリです。国が子育て支援と打ち出している時に真逆の方策を品川区は取るのですね。</p> <p>民間委託ということも聞いていますが、民間は利益が出ての益利会社に委託を考えるのですか。</p> <p>学童保育も現在の品川はスマイルスクールに移行して、職員は非正規ばかりで子供の安全を見守るということで1日中立って監視をしているだけの話も聞きます。</p> <p>保育園もその方向にしてゆくのですか。</p> <p>子育てはもっと深いところでの愛情と教育的観点からも公的な立場での専門の施設と人的配置で続けてほしいです。</p> <p>保育園削減には絶対に反対します。</p>
84	<p>おそろいの帽子をかぶって、保育士さんに連れられて手をつなぎ園児達が笑顔で散歩する場面に出会う時があります。癒されます！</p> <p>保護者の方、保育士さん達の働きやすい環境の充実を願います。</p>
85	<p>私は、元品川区の保育園で働いていました。公立保育園の民間委託には強く反対します。「品川区内保育園等あり方基本方針（素案）」に反対します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てにとってはこれから先大切な問題です。区民によく周知せず疑問点も多い中、短期間で決めるのは民主的とは言えないのではないのでしょうか。 2. 子ども人口の推移や保育園の需要見込みだけで、保育園数等を決めていくのはあまりにも軽率だと思います。①現在子どもを取り巻く環境、問題点、お母さんたちが困っている事等、②母親、父親の働き方の変化、③子どもたちの育ちの問題・一人っ子が多くなっている、ゲームやスマホ等人とのかかわりの場が難しくなっています。これから先もっと遊びや生活を通して友達関係が学べる乳児期からの保育が大事になると思います。そういう問題を整理して保育園等のあり方の検討が必要だと思います。かつて、保育課は八潮3園ができた頃、これから子ども人口が減少するので保育需要は減ると言うことで、公立保育園の定数を減らしたことがありました。それから数年後働く母親が増えて待機児童も多くなりもっと保育園が必要になりました。その時、保育課職員は、子ども人口だけで保育需要を見るのは間違いだったと言っていました。 3. 品川の公立保育園は、23区のほかの区に比べ早くから区民の要求に応え、産休明け保育、障害児保育、長時間・夜間保育、休日保育、子育て支援等の保育を行ってきました。今も公立保育園でこれだけの保育をやっている区はないと思います。それは品川区の保育園職員が区民の要求に応じていく思いで頑張ってきた、区民の財産だと思います。 4. 定数にそれだけの余裕がこれから見込まれるのであれば、今の公立保育園の詰め込みを元の定数にする、学校の一室を使った年長組クラスを元に戻す、3階等学童クラブだったところの使用を止めて余裕の部屋、地域の子たちの使用部屋にする等余裕のある環境にしてほしいと思います。煩雑な保育環境は良い保育をしていく上で職員の負担に

	<p>なります。大崎保育園の年長児を担当した保育士は、雨の日も風の日もあの距離を移動するのはとても大変だった、と話していました。民間の保育園も給食室がない、堰堤がない等環境が悪い保育園が増えています。長時間過ごす子ども達にとってもこの環境は良いこととは言えないとおもいます。</p> <p>5. 何よりも、保育園は子供たちを育てる場です。働く人の労働、賃金が保障され、余裕をもって働き、働く人同士でどんな子どもに育てるのか、どんな保育をするのか話し合いながら保育できないと良い保育はできないと思います。そして保育の質、良い保育の保障は、保育の積み重ねができ現場で働く人たちの創意工夫ができる自由がなければと思います。株式会社経営の保育園では、保育士たちが長く働き続けるのは難しく、保育の継承、保育の質を維持していくのは難しいと思います。</p> <p>6. 第3章の就学後の課題ある子への対応とはどういう事でしょう、それは学校の仕事ではないかと思えます。</p> <p>第4章の統括園、サポーター園など保育に上下関係を作っていくのは反対です。統括をして行きサポートしていくのは保育課の仕事ではないかと思えます。</p> <p>7. 会計年度任用職員が安定して良い条件で働ける場もなくなります。</p>
86	<p>公立保育園の民間（企業）委託に反対します。</p> <p>公立保育園は区民が最も安心して預けたいと思う所であり、近くにあることが第一条件です。「ポストの数ほど保育所を！」という50年間の願いが、今の品川の保育園を作ってきました。43園19園になってしまったら、保護者は小さい子をかかえ、遠くまで通わなければなりません。歩いて行けるとところに保育園がある、学校がある、児童センターがある、図書館がある、集会所がある、文化施設がある、そして病院がある、それこそが区民みんなが安心して暮らし、住んでよかったといえる町なのではないでしょうか。</p> <p>今、改築後の保育園を見ると、園庭もプールもなく公園に出かけては何園もの子どもたちが順番待ちして遊んでいます。品川の子どものたちの健やかな成長を願うなら、走り回れる園庭があり、ゆったりした保育室など保育環境を充実させ、更に職員の配置基準も改善するよう、国に働きかけて下さい。改築後も公立保育園を存続してください。</p>
87	<p>子どもの成長を安心して見守り、手助けできるために、保育士の人数を増やし、保育士の生活が安定していなければならないと思います。その為には民営ではなく区立（公立）の保育園に必要と思います。</p> <p>施設面でも園庭のない民間保育園の子供達が晴天の日に近くの公園に手をつないで歩いているのは微笑ましいものではなく園庭もない貧しい環境に押し込まれているからです。広い園庭があるような公立保育園こそ必要です。</p>
88	<p>民営化は良いが、切り捨てに使う事はしない事。民営化でも運営には責任をもって行政として指導するシステムは必要である。作るべき。</p>
89	<p>品川区は区立保育園の民営化の方向に向かっていますが、民営化ではなく現在の区立保育園を充実・強化してください。</p> <p>また、私立保育園には区として補助して下さい。</p>

	また、保育園職員の待遇を改善してください。
90	<p>私は品川区で保育士をしていた者です。</p> <p>今回の品川区保育園等のあり方基本方針素案を見てショックを受けました。</p> <p>今まで積みあげてきた品川区の保育を守り、将来をになう子どもたちのためにも今回の素案には反対をします。公立保育園の民営委託は絶対に止めてください。</p>
91	<p>品川区の保育等あり方基本方針に関して、適正配置や統合で区立保育園を減らす基本方針には反対です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の保育園の半数以上が 50 年を経過していますが、計画的に建て替えを進めていければいいことです。 ・「人的資源の中でも限られた状況の中で効率的に運営することが求められる」というが、保育士が不足していることを言っているのであれば、区立園が働きやすい環境づくりをするべきで、むしろ配置基準の見直し、正規保育士を増やすことが必要です。その事が私立園での待遇改善にもつながります。 ・区は「待機児 2 年連続解消」というが、不承諾数が 714 人あり「フルタイム共働き」でも入れない実態がまだまだあります。 ・区立園の数を減らすことが「最も保育の質の向上につながる」ことはありません。 ・保育園を減らす方針ではなくむしろ今こそ保育環境を引き上げ子育て支援の強化、子どもを産み育てやすい品川を作るべき！ ・少子化も加速させ、保育の公的責任を後退させる方針は撤回してください。
92	<ul style="list-style-type: none"> ・区立保育園の特徴として、園庭が確保されていることが挙げられます。子どもの日常生活と遊び・育ちを保障するうえで非常に大きな財産です。ほかの民間園では園庭の確保が難しいところがほとんどです。老朽化により建て替え改善しても園庭は確保してください。 ・建て替えにより民営化にすることには反対します。なぜなら、区立園としての役割があるからです。 ・統括園及びサポーター園設置の目的と役割が曖昧です。統括園の機能例としてあげられている「在宅子育て世帯の定期的な預かり」とあります。自宅から距離のある園と交流を持つよりも、近くの保育園との接点を持つ方がよほど使いやすく安心できます。各園においてそのような機能を持てる人員の配置とスペースの確保が望ましいと考えます。現在行われている一時預かり保育は、病児・病後児保育を各園でおこなってほしいです。 ・サポーター園機能にあげられている 3 点については、保育課の役割でもあるのではないのでしょうか。 ・乳幼児をもつ家庭においては災害時に避難所となる役割も保育所にはあると思います。少し余裕を持たせた設計にして、災害時開放することも区の役割と思います。 ・保育園における職員配置基準が変わる方向に国は動いています。保育士が疲弊している現状をみれば当然やるべきことと思います。少子化ではありますが、早急に事業の整理をしていくことには賛成できません。

	<p>・株式会社の保育園が多いですが、人件費率や職員配置、保育教材や園の方針を区として把握しているでしょうか。子どもを育てる場において利益を目的とする営利企業の参入はなじみません。適切な配置で運営を行っているのか、求職の内容はどうか等、区としての厳しいチェックをお願いしたいです。</p>
93	<p>2023年11月28日の「区内保育園等のあり方基本方針（素案）」には反対します。その理由は以下の通りです。</p> <p>①保育園は社会的に二つの権利を保障する場である。一つは親の労働する権利、もう一つは子どもが生き成長する権利である。</p> <p>②しかし①の権利が現実社会に於いて楽に権利を行使できる為には財政的裏付けが不可欠となる。もしその裏付けがなければ机上の空論となってしまう。</p> <p>③①と②は表裏一体のものであり、国及び地方自治体はこれを保障する義務を負っている。何故なら①は一般的な権利ではなく人が生きてゆく上で欠かすことができないという意味で「人権」だからである。</p> <p>④以上の点は保育園を考える上での大前提となるものであることを強調しておきたい。</p> <p>⑤その上で「素案」について具体的に検証してみたい。</p> <p>ア。「区立保育園の建て替えを契機とした統合、民営化の推進で区立園を減らす」 築50年経過している保育園は耐震・設備面の対応が求められているのであれば、計画的に建て替えてゆけばよいというだけのものである。</p> <p>イ。「人的資源の中でも限られた状況の中で効率的に運営することが求められている」については、マスコミでも取り上げられているが、福祉分野に働く労働者の賃金は企業〇〇に比して極めて低額である。まずはこの点を改善すれば限られた人的資源は解決される。効率を追及することは一定必要かもしれないが、人間相手の仕事、人権保障という面から、福祉には「効率」は馴染まないものといえる。</p> <p>ウ。「保育ニーズが減っている」は事実と違う。何故なら「2023年4月の入園申請状況等について」が示しているように、「不承諾数」は714件にのぼる。つまり、申請したにも拘わらず、入所できなかった数である。つまり入れなかったという事実であり、「ニーズが減っている」は虚偽といえる。</p> <p>エ。「区立保育園施設の定員に対しても余剰が発生している」というが「不承諾数714人」はそれが事実ではないことを証明しているではないか！</p> <p>オ。「区内の保育の質の向上につながる方向性を検討し方針を定める」とあるが、区立園の数を減らすことが「最も保育の質の向上につながる」ことはありえない。つまり、求められているのは、待機児童（不承諾数）714人を早急に解決することであり、保育園の数を増やし、保育環境を引き上げ、子育て支援の強化、子どもを産み育てやすい品川を作ることなのです。</p> <p>カ。人権を保障することこそが、地方自治体の責務（住民の福祉の向上）であり、保育の公的責任を後退させる「公設民営化」は断じて許すわけにはいきません。</p> <p>森澤区長は区長選の際「一人も取り残さない」と公言しました。森澤区長のこの公約を真実のものにするかどうか問われています。是非ともこの「素案」は撤回し、品川は</p>

	<p>安心して子育てできる区になったと評される様、強く期待するものです。宜しく願いします。</p>
94	<p>私は品川の公立保育園に長い間お世話になりました。</p> <p>定年退職をした後でも品川区の保育士として働き続けたことに誇りを持っています。</p> <p>自治体で働いているから住民のためになる仕事をせねばという自覚で子どもに接し、保護者に接してきました。その精神は後の保育士にも伝わり、子どもを育てるには品川が良い、と言われていたことを思い出します。</p> <p>保育園の民営化計画がある事を知りました。</p> <p>全体的な動きなのでしょうが、品川区は保育の中心となるべく新しい施策をすべきかと思えます。</p> <p>公立保育園を民営化するのではなく、公立で保育園に入りたい子ども達を受け入れる施設作り（今モデルケースで行われている様ですね）。支援せねばならない子どもが増えている学校でも問題になっているなど、保育者の目は確かであるのに子どもの人数が多すぎて手が回らないなど、また情報が多すぎて保護者が振り回されているなど。</p> <p>これからの国を背負っていくのはまぎれもなく今の子ども達です。子どもの心にそった保育をする事で安定した学生になれ、日本の明日を期待できる大人になれると信じています。</p>
95	<p>「品川区内保育園等あり方基本方針（案）」について反対します。</p> <p>理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育園をめぐっては保育士の低賃金が社会問題になっています。保育についても「不適切保育」なども取り上げられ、保育の条件や質など根本から問われる時代となっています。保育環境は保育室は狭い。園庭がない、プールがないなどから公園を他園と交代で使っている状態です。保育は命に直接かかわる仕事。私立保育園においてはその割には低賃金、「大変でやってられない」という事が実態ではないでしょうか。 2. 法人の保育園については子どもの定数が満たなければ直接運営費が足りなくなる。土曜保育の補助金が安定して出ないなど大変な実態もあります。株式会社の保育園においては運営費の私的流用や保育士の賃金が経営者が変わるとに低くなっていく、などの問題も起きています。 3. 子どもの育ちの問題、シングルマザーの貧困化、子どもの貧困と自治体として手を差し伸べなければならない事はたくさんあります。 4. 公立保育園も過去の定数の拡大により、子どもにとっても保育士にとっても劣悪な環境となっていると思います。定数を元に戻すなど公立保育園としても改善すべきがたくさんあります。 <p>以上「子どもの最善の利益」を考えるならば、近々で対策をすすめなくてはいけない事がたくさんある中で、区立保育園を民間に委託する計画は順番違いと考えます。</p>
96	<p>品川区保育園を定年退職し、現在区内の民間保育園に勤務しています。</p> <p>それぞれに長所短所はありますが、公立保育園を民営化に進めていく方針には反対します。</p>

	<p>公立保育園としての役割は①利益を求めず予算のほとんどを人件費、事業費、管理費に費やされる ②ベテラン・中堅・若手の職員でのバランスで保育内容の質の向上ができる ③地域の保育・子育て支援施設としての機能がある ④保育のニーズを把握でき実践できる ⑤災害時の保育に当たる。</p> <p>民間園では常にベテラン・中堅職員が少なく1年～3・4年の職員が2/3位です。毎年職員が退職し、新人が入ってきて人数的には良くても保育の積み重ねができず、年度の前半(4月～9月)は皆大変な思いで仕事をしています。</p> <p>職員が退職する原因は労働条件や福利厚生が充実しておらず結婚して子育てするには困難なのです。妊娠時差通勤はなく産休直前までシフト勤務をし産休後時差勤務をすれば給料は減らされます。</p> <p>同じ園でも運営事業者が変われば今までの労働条件や内容が徐々に変わっていく等で勤務を続けたくなくなり退職していきます。これでは素案に示されている方針の目的である区全体の保育園の保育の質の維持や向上は達成できません。</p> <p>保育人口が減少しているのであれば公立保育園を減らすのではなく職員の配置基準の見直しをしてください。区民の税金は是非未来の子ども達の為に使って下さい。</p>
97	<p>区立保育園を民営化する計画のようですが、その方向性ではなく、区が責任を持って運営し、区立保育園に入れるように充実させてください。</p> <p>こどもが減少しているのが背景にあるとのことですが、そもそも区立は両親の就労などの条件が厳しく、条件を満たさないため応募すらできず、高額で遠くの私立に行かざるを得ない人が多いです。私も含めてそうでした。</p> <p>こどもが減少しているなら、低額な区立の定員を増やし、また私立についても助成を増やせるはずです。民営化ではなく、そのような方向性が良いと思います。</p>
98	<p>外国の方が保育園でシーツの交換ができず困っているのを見かけたことがあります。Clean Used など、簡単な英単語などをシーツのカゴに表記するなど、多様な人権への配慮を検討したら、日本の印象が良くなるように思いました。</p> <p>外国人は増えているような印象があるのに、それに対する対策に対して記載がなかったことが気になりました。</p>
99	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を年によって変動するのは良いと思う。共働き世帯が増えてきている今、2014年頃の「保育園落ちた、日本死ね」のような問題が再発しないよう、出生届が出された段階での子の居住区と整合性が取れた適切な予測に基づく定員として欲しい。 ・子育て家庭への支援が多いのは望ましいが、各機関の情報連携、担当者間の情報連携が縦割りで実現しなさそうなことが容易に想像できるので、同じシステムを各施設で閲覧できる仕組み、個人情報に対するセキュリティの確保が実現できるようにしていただきたい。
100	<p>(P26) 包括的な支援の実現について</p> <p>医療的ケア児のみだけでなく、発達障害児の特有の偏食にも対応していただきたい。以前、保育園の麦茶が飲むことができず遠足時に持参した際の麦茶はすべて飲むことができたので水筒の持参をお願いしたところ、アレルギー等で命の危険がある場合のみ個</p>

	<p>別対応をするが、こだわりの対応はできないとの回答を保育課からもらったことがあります。</p> <p>結局、持ち込みは叶わないまま卒園することになりましたが、子供のこだわりは変わりませんでした。</p> <p>夏場など、水分を十分に摂れないことは自閉症児にとっては命取りにもなり得ます。偏食が激しく食べられないものが多い給食の日は尚更、食事から水分も摂れないため深刻です。</p> <p>遠足時の水筒の持参はよくて、普段の生活での持ち込みが NG なのはルールが曖昧過ぎると思います。</p> <p>包括的な支援実現を目指していらっしゃるのであれば、アレルギーがあるお子さんだけでなく障害児に対しても支援を手厚くしていただきたいです。</p>
101	<p>品川区の保育園等あり方基本方針（素案）には反対です。</p> <p>以前のような異常ともいえる保活が必要だった時期と比べれば、4月の新入園の時期を過ぎてても保育園の定員に余剰がある、年間を通じて入園できる可能性が出来た状況にやっとなった、区の努力にも感謝をしていたところです。（しかしまだまだ待機児童問題は存在しています）</p> <p>現在の子育て環境では、保育園は子育てするにはなくてはならない社会資源です。園は、保育に欠けない家庭で保育をされている子どもも通園できるようにということですから、就学前人口は減少するという予想があったとしても、保育園の需要は急速に減少することは無いと考えます。</p> <p>素案では、「古くなった区立保育園の建替えに合わせて、統廃合を考える」ように私には読めます。日本の保育園の最低基準は低すぎるので、今の定員に空きがあると言って心配をするより、基準の引き上げで、ゆたかな保育ができるように、国への要請が必要な状況です。余った保育園をどうするなどの心配は必要ないと思います。</p> <p>自治体には保育の責任があります。子育てに悩む家庭、虐待等の問題も増えています。区立児童相談所の開設が必要な状況の中で、大事にならないうちに、日頃からアクセスしやすい保育園・児童センター等が充実していることが、子どもにも親にも大切ではないでしょうか。</p> <p>品川区は、小中学校の給食費の負担をなくし、子どもの医療費無料化では高校生まで対象を広げる等、子育て世帯の支援に力を入れていると思っています。その品川で今慌てて、この方針を策定することは必要でしょうか。このような基本方針案が出されていることさえ知らない区民がほとんどの中、1ヶ月しかないスケジュールの意見募集では全く足りません。広く区民に知らせて、意見を聞いてください。素人の私にもよくわかるように、方針の内容を丁寧に説明し、質問時間も設けた双方向性の説明会もぜひ開いてください。十分な検討が必要です。</p>
102	<p>まず、伝えたいことは、いろいろな親の状況も考えず、ただ「休みの日は預けるな」という古い考えの区立保育園を見直す必要があると思います。（以下詳細を書かせていただきますので一読いただけると幸いです）</p>

	<p>現在、大井倉田保育園に通っています。</p> <p>入園前に園長との面談の際に、慣らし保育は子供は慣れるものではないので、3日ですと言われました。慣らし保育は子供だけのためではなく、親の社会復帰の練習の段階でもあると思うので、期間は例え3日だとしても、その考えに違和感を感じました。</p> <p>また、土曜保育をお願いした際に、その他の休みの日を聞かれ、全てを把握されているような感じが精神的にストレスに感じました。</p> <p>入園後の保護者説明会では休みの日は子供と一緒にいて欲しいので、という説明でした。あとは、仕事がお休みなのに職場に連絡したら居なくてということがあって困る、という理由だそうです。用事がある時には9時から16時で預かってくれると聞いて理由を告げて預けても、預けるときに、「お母さん休みなんですか？」とものすごい嫌な態度をとられて、小さな用事かもしれませんが子供がいるとそれも小さな用事に終わらないことがほとんどです。そんなに、休みの日に子供を預けることが悪者扱いされるということに、違和感を感じます。</p> <p>また、単身赴任でワンオペ育児をしている私にとっては平日にしかできない用事、子供がいたらできない用事を足したくても、そのような対応をされたら中々難しい状況で、単身赴任の夫に協力を得なければなりません。</p> <p>働く親のための施設である保育園が親の立場を全く汲み取ってくれない、休みの日に子供を預けると親を追い詰めるような対応をされるのは、この核家族の時代に合わないと思います。1人親や、頼れる親族が近くにいない親にとって、1人での子育てには肉体的にも精神的にも余裕がないと健全な育児はできません。自分の体調不良で欠勤し病院受診の際も、理由を告げてもとても嫌な顔をされ、誰にも頼れないのにとっても辛い思いをしました。</p> <p>就業証明書をもらい区から許可されて通わせていただいているので、園長から睨まれたり、保育士から嫌な態度をとられることが苦痛で中々預けられず、心身疲労困憊です。保育を必要とする家庭にとって、保育園の役割は、預かる子供の保育だけでなく、核家族やシングル家庭、ワンオペ育児の親の環境も含めて、子供に寄り添う考えで保育していただきたいと、強く願います。休みの日に預ける親をまとめて吊し上げにするような家庭詮索をすることは保育士には不要な仕事だと思います。そのような風潮や保育士の教育は早急に改善・対策を希望します。よろしく願いいたします。</p>
103	<p>区民が願うのは「子どもが安心して過ごせるための施設や環境の整備である」と考えます。そのため、子どもや保護者にとって次の点が大切になると思います。</p> <p>①人的な支援：子どもの年齢に見合った人数の確保、看護師、栄養士、事務等の担当者。また、定期的に健診をしてくれる小児科医や歯科医。</p> <p>②衛生的で快適な施設：感染症の予防のためにも外観だけでなく、きめ細やかな工夫が必要になると思います。</p> <p>③園庭のある施設：自分が通園している施設に園庭があることでとても安心して遊ぶことができるのではないのでしょうか。現在、区民公園・その他の公園では民間の保育園の子どもたちが交代で遊んでいるのを見かけると気の毒になります。</p>

	<p>④保育所職員の質的な向上：保育所に働くすべての職種に研修会、勉強会、話し合いが、定期的に、行われることが大切になると思います。施設内だけでなく、地区ごとや区全体においても情報の交換や話し合いを行うことで子どもたちを中心とした課題を把握することができると思います（仕事として確立）。</p> <p>⑤保護者に対する支援：保護者は、子育てに戸惑っているとき、生活に課題のある時等、施設として対応してもらえることを望んでいると思います。（2人の子どもを品川区立の保育園で育てていただいた私の経験から保護者も親として育てていただいたと思っています）</p> <p>私は、これらのことを可能にするためには品川区が全面的に責任を持つ公立保育園の拡充を望みます。公立保育所の民営化に反対します。区民の税金は未来を担う子どもたちのために使うべきです。</p>
104	<p>貴重な機会をありがとうございます。</p> <p>保育園数等が余剰にあるという旨拝見いたしました。私が居住する品川区小山周辺に限ってみますと、0，1，2歳児については入園が叶わない方も多く、改善を希望したく存じます。</p> <p>人口の推移なども一時的な場合もあるかもしれませんが、もう少し限定した地域ごとの統計も必要にならうかと存じます。</p>
105	<p>P26</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児への対応について <p>財源の安定した区立保育園だからこそ率先して取り組めるものと思います。</p> <p>健常で生まれても、不慮の事故などで医療的ケア児になる可能性は誰にでもあるからです。携われる職員の方は気を張る業務になりますので、働きやすい環境の提供をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童センター、図書館等と併設しているのは長所と捉えていますが、まだエレベーターのない施設が多く、バリアフリーに課題がありますので、統合の際にはぜひ設置をお願いします。 ・区立保育園の質的向上・連携強化について <p>職員の働きやすい環境の整備があつてこそ、保育の質の向上につながると考えます。整備には、賃金の改善も含まれると考えます。現在、区立保育園を利用しているので、園の業務を分業し、多くの職員の支えによって運営が成り立っていると知っています。担任の先生がお休みになることはほとんどないので、毎日安心して預けることができますが、その一方で休みにくい要因もあるのだろうと推測します。職員配置基準を満たしているとはいえ、そもそもその基準では忙しくなく、余裕がない体制ではありませんか。（午睡時の「みなし休憩」がないことを願います。友人が23区内の区立園で保育士をしており、シフト制のため育児時短勤務が取れず、休みも代わりを探さなければいけないので苦勞しているという話を聞いているので、）</p>

	<p>統合の際には、配置人数を適正化し、職員の方の予測できない病欠や育児休暇などに柔軟に対応できるよう趣旨を記載いただけないでしょうか。</p> <p>また、敷地に限りがあるので、当時はやむを得なかったと思いますが、職員の休憩室がない・全員が入れない狭い事務室も、運営に良い影響を与えているとは思えません。改築の際に改善を希望します。</p> <p>その点で、施設にバッファを持たせることに賛成です。</p> <p>保育の需要が落ち着くと、学童保育の需要が増えるのではないのでしょうか。所管が異なるのでハードルは高いと思いますが、融通性のある建物になれば学童保育への転用の可能性もあるのではないかと思います。</p> <p>なお、本意見募集はコドモンでの案内で知りました。良い取り組みだと思います。働いていると、なかなか区報・ウェブサイトを見ることがないので、今後もコドモンで情報を発信してもらえるとありがたいです。</p>
106	<p>自分も品川区立認可保育所を出て、子どもも現在通っています。認可保育園のありがたさを実感しています。</p> <p>子どもの人数減少なら尚更保育所は、営利目的の民営化ではなく、品川区として運営していくべきだと思います。</p> <p>民営化には反対です。</p>
107	<p>住みやすく、子育てしやすい品川区が大好きです。</p> <p>いつも色々考えてくださりありがとうございます。</p> <p>4歳児と1歳児の母です。</p> <p>4歳児が2025年の春に小学校にあがりますが、保育園卒園式から小学校入学式の期間、子供をどうしたら良いかとても悩むと先輩ママからお話を聞きました。</p> <p>スマイルスクールへ登録して、小学校の入学式まで通わせる方が多いようですが。まだ小学校に入学もしていないのにスマイルスクールから通わせるのも・・・と悩んでいるそうです。</p> <p>小学校入学式までの間、そのまま区立の保育園で預かってくれたらいいのになと思います。(もし出来るのでしたら勉強不足ですみません)</p> <p>その期間、仕事を休むことも出来ず、悩むところです。</p> <p>何か対策があれば教えていただきたいです。</p> <p>ご検討よろしく願います。</p>
108	<p>老朽化した区立保育園の改築推進は、園児や職員の安全を守り保育環境を整え職員の不要な負担を軽減してその分保育内容をより良いものにできる点で素晴らしいと思う。しかし保育園の民営化推進については非常に不安です。区の保育レベルの一貫性が保たれないこと。新規に保育事業に参入する民間業者には保育のベテラン職員が少なく、定着率も低いのではないかと思います。民間でできることは民間に任せるという考え方</p>

	<p>もありますが、明日を担う子供たちの幼少期の保育については特に、利益を重視せざるを得ない民間業者に任せないでください。</p>
109	<p>将来を担う子ども達のすこやかな成長発達は公立で！</p> <p>かつて私は長いこと品川区の保育士として働かせていただきました。その中で、国・地方自治体が責任を持って子どもの成長発達を保障していくことがいかに大切か身をもって感じていました。国・地方自治体の責務を放棄しないでください。</p> <p>営利を目的とする民間園では子ども職員にしわ寄せがいきます。民間委託ではなく公立で。</p> <p>働く親が増えていきます。公立保育園を増やし安心して働けるようにしてください。</p>
110	<p>「適正配置」という表現で、区立の保育園を減らすのは絶対に認められません。反対です。止めてください。</p> <p>戦後すぐに作られた児童福祉法の基準のまま今日まで続けていますが出生数が少なくなっている時だからこそ、ゆとりをもって保育できるように改善することこそするべきではないでしょうか。</p> <p>かつて品川の保育は区の独自基準を作り、ゆたかな保育をできるようにして働く職員と保護者に歓迎されました。「子育てするなら品川へ」と転入する方が多勢いて今でもそれは語り草になっています。品川区として誇りにこそできるものでした。</p> <p>そういう区になってほしいと子育てが終わった人たちからも強く聞こえてきます。コスパで子育てを考えないでください。区の「あり方基本方針」は反対です。区民の声をパブコメなどで聞かず、広く聴いてください。</p> <p>ちなみに、外国の3歳児の定数を紹介します。</p> <p>アメリカは7対1、フランスは8対1、ニュージーランドは6対1です。日本はご承知のように20対1です。今でもとんでもない！</p> <p>この改善こそです。</p>
111	<p>区が提案している「適正配置や統合で区立保育園を減らす」あり方基本方針には反対です。</p> <p>保育園を減らす方針ではなく、公立保育園を増やしていただきたい。</p> <p>園庭がない保育園がある中で、公園をもっとふやし、子ども育ての環境を改善してください。</p>
112	<p>あり方基本方針には反対です。</p> <p>保育士は忙しい中でも頑張っています。子どもの人口が減っても、定数に満たなくても、つめ込み保育ではなく、ゆとり保育を望みます。</p> <p>子どもは社会の子、保護者が安心して子どもを生き育てることができる品川区にしてください。子ども達が生き生きのびのびと育つよう環境を整えていくのが区の役割ではないでしょうか。</p> <p>区立園削減には反対します。</p>
113	<p>品川区内保育園あり方基本方針（素案）には絶対反対です。</p> <p>民間は基本利潤追及です。子どものための保育は考えない事が目に見えます。絶対に反</p>

	<p>対です。</p>
114	<p>基本方針（素案）に反対です。</p> <p>子どもの人数が減っているときにすべきことは、保育園を減らすのではなく、職員を増やし、保育の質を上げることが区政の仕事です。</p> <p>区政、区立の役割は公的施設として私立経営の補てんや災害時の相互補助など、未来の住民（子ども）に大きな責任を持っています。</p> <p>福祉、教育、保育の先を行く世田谷区に学んでほしい。</p>
115	<p>品川区の保育は、職員と利用する保護者（区民）そして子どもたちで作り上げてきた全国にも誇らしい制度と内容だと思っています。</p> <p>今、現場は「保育園にもう一人の保育士を！」ゆとりのある保育ができるよう職員の配置基準を変えることを求めています。</p> <p>この方針は決してこれらの求めに対して応えているとは考えられません。その点では私は「あり方基本方針」には反対です。</p> <p>どこの地域にいても、子どもたちと保護者が最善の利益を受けられる、ほっとできる保育園であり続けるために力を尽くしていただきたいと思っています。</p>
116	<p>親が安心して小さい子どもを預けて仕事を続けるには、やはり公立（区立）保育園でなければ安心できない。</p> <p>なぜかという、公立保育園は保育士さんが安心して働ける（労働条件やお給料面など）し、保育園の環境などがある程度保障されるので、子どもの成長に親としては安心できます。</p> <p>かなり前には、品川区の保育行政は全国一と言われ、私もその頃子どもを預けていたのですが、今成長した我が子に保育園へ行っていたころのことを聞くと”楽しかった”と言っています。それは子どもの事を第一に考えた保育だったからだと思います。</p> <p>最近の流れをみていると、民営化にするという方針が出されているので、これには反対です。</p> <p>昔のように全国一といわれていた品川区の保育行政に戻してほしいです。</p>
117	<p>公立保育園の削減について</p> <p>女性区長の誕生に、働く女性が生きやすくなると期待していました。公立保育園の削減を聞いて、びっくりしました。</p> <p>私は昭和32年に教員になり、32年間働いていました。江戸川の中学校に初めて勤務したとき主事室で主事さんの戦前の女教師の話を聞きました。産休制度がなく出産の4～5日目まで勤務し、出産後も4～5日でお勤して働いたのです。授業の合間に赤ちゃんを連れて来て授乳して頑張った先輩の女性教師がいたのです。</p> <p>戦後女性教師が立ち上がり、産前産後16週間の産休を要求し、都庁の廊下に座り込んで、やっと16週間の産休が取れたのです。これを機に自治体で働く女性から民間への女性と広がっていきました。</p> <p>産休が終わった時、子どもを預ける保育園が少なく、働く女性が立ち上がり「ポストの数ほど保育園」をつくる運動が全国に広がりました。</p>

	<p>地方に移転する工場の跡地を見つけると、地域ぐるみで署名を集め自治体に話し合いながら公立保育園を増やしていったのです。</p> <p>その後育休制度を作ることに取り組み（無給から始まる）今の子育て制度ができたのです。</p> <p>独身の私が保育所、保育所作りに取り組んだ時、男性教師から結婚もしてないのによく頑張るな！と言われたこともありました。</p> <p>結婚後子どもを授かったとき、保育園に申し込んだけれど保育園が足りないのも、もし入れない時は電柱に「子どもを見てもらえませんか」と張り紙をしようと夫と話していました。</p> <p>やっと入園できたのは私立保育園でした。1年間育児時間が取れたので、5時のお迎えを4時30分にしなければなりませんでした。</p> <p>その頃中学校は一番「荒れていた時代」で警察を導入した学校もありました。事件が起きると育児時間をとるどころか、夜8時ごろから職員会議ということもありました。タクシーで子どもを迎えに行き、そのまま学校に戻り、子どもを遊ばせながら仕事をしました。タクシー代が上がるのが一番大変でした。</p> <p>公立の保育園は私立保育園より1時間以上長く見てくれました。保母さんの数も多く、幼児教育もしっかりしていました。小学校に入学した時、私立保育園の子どもは全員「土踏まず」ができていませんでした。</p> <p>独身の時から保育所作りのために、働く女性のために頑張っている、公立どころか保育園に入れるかどうか心配するような現状、兄弟別々の保育園に入れられるなど、私立の作った保育園を民営化したり廃園にしたりして、岸田首相は「子ども政策」を最重点にしながらビルばかりの大井町にして保育園の民営化などとんでもないことです。</p> <p>「日本の未来は今の子どもたちの力による」「子育て・教育」は押し付けるのではなく自由にのびのびと育て、自由な発想を育てないと、品川、日本の未来はないと思う。品川では「いじめ」で自殺した子どももいます。学校現場、教育委員会は口止めして、ない事になっているのを周りは知っています。</p> <p>本当に幼児から中学生まで皆が楽しいといえるような教育をしてほしい。</p> <p>年老いて誤字がたくさんあり申し訳ありません。</p> <p>今主人の看取り介護中で85歳ともなると疲れてます。</p>
118	<ul style="list-style-type: none"> ・品川区内保育園等あり方基本方針素案について反対します。 ・品川区の内の保育施設を取り巻く社会情勢は、大きく変化しているとありますが、利用者側のニーズもありますが、地域広場を担当している立場で、保護者の声を聴くと、希望する保育園に入れない場合、転園希望を出し保育園の施設見学をして選んでいる状況があります。そういう点でもまだ十分とは言えません。 ・保育園の老朽化で建て替え民間委託していく考えですが、公立保育園の統廃合としか読み取れません。このような考えは住民に納得いくような説明が十分になされていません。パブリックコメントの期間も短くこのような重大な問題については、区民への周知が徹底されていません。説明会を開いて区の考えを明らかにする必要があります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・私立保育園の現状は、保育士不足で日々の保育運営もぎりぎりの状況で保育にあたっています。私立保育士の給与とはいえば、一般企業から見てもかなり低いものです。賃金の低さは今社会問題になっています。子どもの命を預かる責任ある仕事はやりがいはあります。しかしながらその責務と保護者支援等に悩み頑張っている方もいますが、限界を感じて諦めてしまう方もいます。長く働き続けて欲しいと願っていますが、保育園は大変というイメージがあり、担い手がない現状です。私立保育園は運営が滞ってしまえば閉園せざるを得ません。 ・新年早々に能登の地震がありました。東日本大震災でも区立保育園を提供した例もありました。災害時には大きな役割を發揮し地域に活用することができます。区民の財産として公立保育園のあり方を再度住民と共に考えて欲しいと切に願います。
119	<p>①基本方針（素案）は広く区民には知らせていないと思います。現在でも待機児童はいますが、まだまだ保育の需要は高くあります。あせらずじっくりと幅広い区民の意見を聞いてからでも十分間に合います。よって現状での基本方針には反対です。</p> <p>②かつて「子育てするなら品川で」と豊かな保育をしてきたのは品川区の行政と品川区立保育園の職員でした。今後定員に空きが出るようなら、ヨーロッパ並みの定数での保育で品川独自の新しい保育環境を望みます。</p> <p>①にも記入しましたが、基本方針には反対です。</p> <p>基本方針案にサポート園等の案がありますが、どこの保育園でも同じ保育が受けられるのが公立園の良さです。</p>
120	<p>「品川区内保育園等あり方基本方針素案」について反対します。</p> <p>短い期間で作成しなくてもいいのでは。区民にしっかり説明会を開いて欲しいです。</p> <p>区立保育園を再整備して民間へ委託することには反対です。</p>
121	<p>区の責任で保育士を配置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源だから保育園の園児が急激に減るなどは考えられないと思います。 ・保育園があるから安心して働ける親がいる中、保育園が空きが出るから保育園のあり方を考えるより現状維持及びさらなる環境改善をすすめて欲しい。充実する保育内容にしてください。 ・基本方針に反対します。
122 ※64の意見に 追記した内容	<p>区立保育園の民営化に反対します。</p> <p>古来「三つ子の魂、百まで」と言われるように、乳幼児の発達はその人の生涯にとって決定的要因となっています。私は、品川区における区立保育園の果たしてきた意義と役割が極めて大きいことと判断しております。</p> <p>私と妻が共働きという事情もあり、二人の子どもは1～5歳の間は区立保育園でお世話になりました（0歳期は当時の区保育課のアドバイスをえて、区内の共同保育所で育ちました）。区立の小・中学校～都立高校を経てその後の進路は分かれますが、一人は小児医療に携わり少子化問題に関与し、もう一人は福祉の現場と教育に携わり高齢化の問題に関与する等、お蔭様で社会人としての役割を果たせるまでに成熟してきました。</p> <p>私は区立保育園を企業による運営、民営化に転換することに反対します。新型コロナウイルス</p>

	<p>ィルス感染症の影響下、新生児の出生数が東京も地方も著しく低下する中、2022年1月15日付「エコノミスト」誌の論文では保育市場が減少することが予測されています。企業は子どもの発達・福祉よりも利潤の増を求める組織であり、営業が縮小すれば倒産する場合すら起こります（十数年前、都内N区で企業経営の保育所が突如閉鎖！子どもが行き場を失い親が失業状態へ）。企業経営の保育所では、初任給が僅かに高い場合があり引き寄せられる新人もいるが、僅か1～数年で勤務条件その他要因から転職してしまう状況が伝えられています（企業は大切な人材をムダづかい）。</p> <p>保育分野では「つたえあい保育」というキーワードがあると聞きます。保育士スタッフ間のコミュニケーション、保育士と子ども（達）のコミュニケーション、子どもの保護者～保育スタッフ間のコミュニケーション、など子どもを中心に置く保育を具体的に取り組まれることが大切です。歴史と実績のある品川区立保育園を持続することによって、今こそ、「児童の世紀」（エレン・ケイ）を具現することによって、品川区の未来の担い手を確保し、子育て施策・サービスの充実と少子化状況を打開していくことが求められているのです。</p> <p>（追記）日本社会には「子どもの貧困」が拡がり（全児童の16～17%）品川区も同様の傾向があり、保育園の社会的役割を考慮すれば企業任せの施策は必ずや『失政』との評価を受けることになりましょう。</p>
123	<p>保育の質は絶対に落とさないでほしい。</p> <p>公設民営化が増え、設置者を運営業者へ変更するのには反対である。</p> <p>常に日本の国を背負う子供達の成長を考慮し、子供に経費の掛かることは（充分に考えた保育園作りを当事者たちは考えたら）それを実現して行くように！！希望。経費の掛かるのはかけてください。品川の保育が如何にして作り上げられて来たのかも職員共々知ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が少なくなると言われている昨今、長い目で見て、より良い人材を育てる基本の部分に任されている事もあり、共々頑張ってください。 ・区立保育園に期待される役割と取り組み・・・その通り確実な実現を
124	<p>保育園の民営化は反対です。</p> <p>園庭もなくし、運営のみに注力し、子供達の環境が良くなる気がしない。</p> <p>限りある資源の中でどれだけ良い環境を子供達に与えられるか、区営または都営で地域一丸となり見守り、関わっていくべきと考えます。また、一般の区民には資料がわかり辛いと感じました。</p> <p>以上、よろしく願いいたします。</p>
125	<p>自分も区立認可保育所を出て、子どもも現在通っています。認可保育園のありがたさ実感しています。</p> <p>子どもの人数減少なら尚更保育所は、営利目的の民営化ではなく、品川区として運営していくべきと思います。</p> <p>民営化には反対です。</p>
126	<p>3歳の娘が、区立保育園に通っています。</p>

	<p>定員については、慎重に精査をお願いします。コロナで働き方に変化があったことは確たることとは思いますが、中長期的な視点で判断してほしいです。</p> <p>医療ケアの必要なお子さんや、障害をお持ちのお子さんの受け入れは大賛成です。その子の保護者だけでなく、地域で、みんなで見守る必要性を切に感じます。</p> <p>私立と区立を天秤にかけたとき、広い園庭や、偏りのない保育に魅力を感じました。通う予定の小学校は、校庭もアンツーカーですし、中学受験等電車での通学を鑑みると、伸び伸び土を触りながら成長を育むチャンスは保育園しかないかもしれないと感じたためです。また、多様性、いろいろな人がいて、それぞれが良いという価値観も、区立ならより育めるのではないかと考えています。</p> <p>区立保育園に求められることを精査しながら、進めていただきたいです。引き続きよろしくご依頼申し上げます。</p>
127	<p>NPOの認証保育園と区立保育園でお世話になったこともあり、現在子育てをしている一保護者です。</p> <p>区立保育園を減らす方針には反対です。</p> <p>知り合いに、広町保育園を廃園する際に職場復帰に苦労した医師がいました。</p> <p>また別の知り合いの保育士が出産して育休を経て復帰しようとしているのに、保育園の送り迎えの条件が悪い(職場の時短制度を利用すると延長保育が利用できない制度になっている)ため、復帰できずにいる方もいます。</p> <p>また、公立保育園で在宅子育て世帯の一時預かりの募集をしたら申し込みが殺到したとの報道もありました。</p> <p>行政が考えている以上に保育ニーズは今でもまだまだあると思います。</p> <p>したがって区立保育園を減らす状況ではありません。</p> <p>方針の撤回を求めます。</p>
128	<p>保育園の運営設置については、施設要件のほかに、職員の配置要件が重要になる。</p> <p>近年の不幸な事故を鑑みるに、職員数の不足は、事故の要因の重大な部分を占めていると思われる。公立、私立保育園とも、保育士の確保にはかなりの労力を割かれていると思われる。</p> <p>保育士が足りないという報道もある中で、保育士登録をしていない保育士資格者が潜在的にいるといわれている。</p> <p>一方で、保育児童の数の変動は、私立のみならず公立の保育園にも経営リスクとしてのしかかる。そこで保育園経営を行う場合、保育児童数の確保が経営上の最優先事項となることが考えられる。そんな中、保育児童数の変動を緩和するために、常任保育士の数での調整がなされていると思われる。</p> <p>そのため、保育園の経営環境では、常に、保育士が足りないという事態が起こりうる。保育園の民営化を進めている中で、このような保育園の抱える経営リスクを軽減するために、保育士数の調整が必要となる。</p> <p>また、保育士側としては、国家資格であり名称独占の資格にもかかわらず、保育園経営上のリスク負担を強いられ、常に、人員整理の対象とされてしまうことに不利益を感じ</p>

	<p>る人も多いのではないかと。さらに、保育士の資格を持ち、活躍できる人には、同時に子育て世代であったりする。そのような場合、自分の子育てを優先しているケースもあると思われる。</p> <p>このため、柔軟な働き方を希望されている場合もあり、その点、常任保育士として長時間の労働を避ける場合があるのではないかと。</p> <p>こういった課題を解決するために、常態的に保育士不足を抱える自治体としては、「日本保育協会（社会福祉法人）」などと連携し、保育士の登録と、勤務先のあっせんなど保育園と保育士のマッチングができれば、双方の負担が解決する可能性がある。</p> <p>保育士に対しては、保育士登録にあたっての手数料を助成した上、区登録保育士とすれば、月額で一定程度の登録料を区から登録保育士に支給し、一方で、区内保育園での欠員に対して勤務依頼をし、速やかな欠員補充ができるような体制を整えることができる。区登録保育士ではなく、各園個別の雇用関係の保育士も、当然に存在し、特に、区登録保育士で、区からの派遣となっている保育士の方は優先的に異動対象にするなど、働き方の選択の幅を広げることにつなげる。</p> <p>特に、この基本方針に掲げる必要はないかもしれないが、保育園の安定経営のために、検討願います。</p>
129	<p>登園バス置き去り事故に鑑み、安全対策のため、ICT 技術を活用し、セーフティーのようなクラウドカメラによる保育の現場の見守りを共有し、各園、区庁舎でのリアルタイムの情報共有を行い、「目が届かなかった」が原因での事故の低減を図れないものでしょうか。</p>